AIDEM
株式会社アイデム 人と仕事研究所
2017年11月8日発表

2018年3月卒業予定者の就職活動に関する「学生調査」

2017年10月1日状況

Pick Up

10/1時点で内定獲得率87.9%「就活終了」は78.3%

内定ブルー「あり」81.1%で年々増加傾向

お問い合わせ
▶広報担当／望月・栗木 ▶調査担当／岸川・古橋
03-5269-8780 kouhousitu@aidem.co.jp

結　果　概　要

2018 就職活動に関する学生調査（2017年10月1日状況）

進捗状況

▶現在のステータス

【主な活動】

「面接・試験段階」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7.2%

「内定獲得／就活継続段階」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8.9%

「内定獲得／就活終了段階」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・78.3%

【各活動ステータスに到達した学生の割合】

「内定獲得段階（内定獲得率）」・・・・・・・・87.9%（前年比−1.2ポイント）

▶内定獲得社数

平均2.3社（前年比±0社）

内定獲得者の64.1%が“2社以上”の内定を獲得

▶会社説明会参加回数

平均23.6回（前年27.3回から−3.7回）

▶応募企業数

平均22.2社（前年27.1社から−4.9社）

▶エントリーシート・履歴書提出企業数

平均15.9社（前年19.2社から−3.3社）

▶面接選考企業数

平均11.8社（前年13.5社から−1.7社）

▶1日の活動時間

「就職活動に費やす時間」は0.6時間で2018卒調査で最低

「学業に費やす時間」は3.8時間

就職活動継続者の動向

▶企業への新たな応募予定がある学生

73.3%　前回調査（9月1日時点：67.5%）から増加

▶内定を獲得できなかった場合の進路

「卒業してアルバイト等をしながら就職活動を継続」69.6%

内定企業・入社予定企業について

▶入社予定企業の業界

「ソフトウェア・通信」・・・・14.9%　　「金融・証券・保険」・・・・10.1%

▶最初の内定を獲得した時期

「6月」・・・・・・・・・・・・・・25.0%　　「5月」・・・・・・・・・・・・・24.7%

選考活動解禁の6月より前に内定を獲得した学生は54.2%

▶就職活動を終了した時期

「6月」・・・・・・・・・・・・・・35.5%　　「7月」・・・・・・・・・・・・・22.2%

選考活動解禁直後の6月末までに52.9%の学生が就職活動を終了

▶就職活動を終了した理由

「第一志望群の企業から内定を獲得したから」・・・・・・・・・・・・・・58.1%

「第一志望群ではないが、納得できる企業から内定を獲得したから」

・・・・・・・・・・・・・・33.3%

▶内定ブルーの実態

内定ブルーの経験「あり」81.1%

内容は「社会人としてやっていけるか」「同期や社員とうまくやれるか」

就職活動の振り返り

▶取り組んだ準備・対策

「就活ナビサイトへの登録」82.8%　　「自己分析」・・・・・・・・・61.6%

「個別企業の説明会」・・・・60.2%

取り組み時期は広報活動解禁の3月前後に集中

▶企業選びのこだわりの変化

「希望“業界”を変更した」49.8%　　「希望“職種”を変更した」46.9%

▶就職活動の反省・後悔

反省・後悔「あり」76.7%

具体的には、「面接対策」「自己分析」「企業・業界研究」が“不十分”

▶企業側のフィルターを感じたことがあるか

「ある」

1位「学歴・学校名」・・・・47.5%　　2位「学部・専攻」・・・・・37.0%

学生の意識・志向

▶ブラック／ホワイト業界のイメージ

【ブラック業界】のイメージ

1位「マスコミ」　　2位「レストラン・フード・ホテル・旅行」

【ホワイト業界】のイメージ

1位「官公庁・公社・団体」2位「メーカー（化学・食品・化粧品・医薬品）」

▶働く上で大切にしたいもの

「働きやすさ」・・・・・・・・・46.9%　　「仕事の内容」・・・・・・・・40.6%

「給与の高さ」・・・・・・・・・12.5%

▶働きやすさで重視するもの

1位「人間関係・風通しの良さ」　2位「年間休日数の多さ」

3位「経営の安定」

▶学生の志向

「早く帰れるなら出勤時間が早くてもよい」・・・・・・・・・・・・・・・・67.5%

「一生同じ会社で働きたい」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66.0%

「給与・ステイタスが低くても、残業が少ない・休日の取れる仕事がよい」

・・・・・・・・64.8%

I N D E X

調 査 概 要

調査目的	2017年10月1日時点における就職活動の準備・進捗状況等から、就職活動を行なう学生の実態を明らかにすること
調査対象	2018年3月卒業予定で、一般企業への就職を希望している大学4年生・大学院2年生の男女
調査方法	インターネット調査
調査期間	2017年10月1日～3日
有効回答	655名 「JOBRASS 新卒」登録学生（324名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（331名）

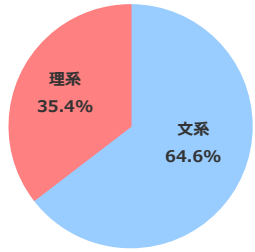
※本調査は回答割合の表示において小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合があります。
※「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示しています。
※本調査で言う「内定」には、「内々定」も含んでいます。

居住地域	回答数	(%)
北海道・東北地方	36	5.5
関東地方	268	40.9
北陸・甲信越地方	21	3.2
東海地方	33	5.0
近畿地方	233	35.6
中国地方	22	3.4
四国地方	6	0.9
九州地方	36	5.5
合 計	655	100.0

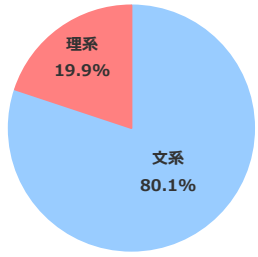
性 別	回答数	(%)
男性	288	44.0
女性	367	56.0
合 計	655	100.0

専 攻	回答数	(%)
文系	480	73.3
理系	175	26.7
合 計	655	100.0

男性



女性



所属サークル	回答数	(%)
文化系	217	33.1
体育会系	132	20.2
イベント系	47	7.2
無所属	259	39.5
合 計	655	100.0

学生の志向

＜企業規模に対する志向＞

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		大企業 (%)	どちらかと言えば大企業 (%)	どちらかと言えば中小企業 (%)	中小企業 (%)	企業の規模は全く意識していない (%)	大企業志向 (%)	中小企業志向 (%)
全体（n＝655）		**20.6**	**27.3**	**18.9**	**7.5**	**25.6**	**47.9**	**26.4**
男女別	男性（n＝288）	24.3	25.0	17.0	4.9	28.8	49.3	21.9
	女性（n＝367）	17.7	29.2	20.4	9.5	23.2	46.9	30.0
文理別	文系（n＝480）	18.1	28.1	20.2	8.1	25.4	46.3	28.3
	理系（n＝175）	27.4	25.1	15.4	5.7	26.3	52.6	21.1
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	22.0	27.8	18.4	7.8	24.0	49.8	26.2
	内定なし（n＝79）	10.1	24.1	22.8	5.1	38.0	34.2	27.8

＜自分のタイプⅠ：周りからの評価＞
A.周りからの評価は高い方だ
B.周りからの評価は低い方だ

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		Aに近い (%)	Aに近いどちらかと言えば (%)	Bに近いどちらかと言えば (%)	Bに近い (%)	評価が高い (%)	評価が低い (%)
全体（n＝655）		**19.4**	**54.8**	**20.5**	**5.3**	**74.2**	**25.8**
男女別	男性（n＝288）	21.9	45.1	25.7	7.3	67.0	33.0
	女性（n＝367）	17.4	62.4	16.3	3.8	79.8	20.2
文理別	文系（n＝480）	20.2	56.3	18.8	4.8	76.5	23.5
	理系（n＝175）	17.1	50.9	25.1	6.9	68.0	32.0
企業規模に対する志向別	大企業志向（n＝314）	23.6	55.4	16.2	4.8	79.0	21.0
	中小企業志向（n＝173）	12.7	58.4	22.5	6.4	71.1	28.9
	企業の規模は全く意識していない（n＝168）	18.5	50.0	26.2	5.4	68.5	31.5
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	19.8	56.1	20.0	4.2	75.9	24.1
	内定なし（n＝79）	16.5	45.6	24.1	13.9	62.0	38.0

＜自分のタイプⅡ：就活取組姿勢＞
A.積極的に就職活動をしている
B.あまり積極的に就職活動をしていない

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		Aに近い (%)	Aに近いどちらかと言えば (%)	Bに近いどちらかと言えば (%)	Bに近い (%)	積極的 (%)	消極的 (%)
全体（n＝655）		**21.1**	**36.9**	**26.4**	**15.6**	**58.0**	**42.0**
男女別	男性（n＝288）	18.4	36.8	27.8	17.0	55.2	44.8
	女性（n＝367）	23.2	37.1	25.3	14.4	60.2	39.8
文理別	文系（n＝480）	22.7	36.3	26.0	15.0	59.0	41.0
	理系（n＝175）	16.6	38.9	27.4	17.1	55.4	44.6
企業規模に対する志向別	大企業志向（n＝314）	27.4	38.9	21.7	12.1	66.2	33.8
	中小企業志向（n＝173）	15.0	35.8	30.6	18.5	50.9	49.1
	企業の規模は全く意識していない（n＝168）	15.5	34.5	31.0	19.0	50.0	50.0
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	22.9	39.1	25.5	12.5	62.0	38.0
	内定なし（n＝79）	7.6	21.5	32.9	38.0	29.1	70.9

1　就職活動の進捗状況

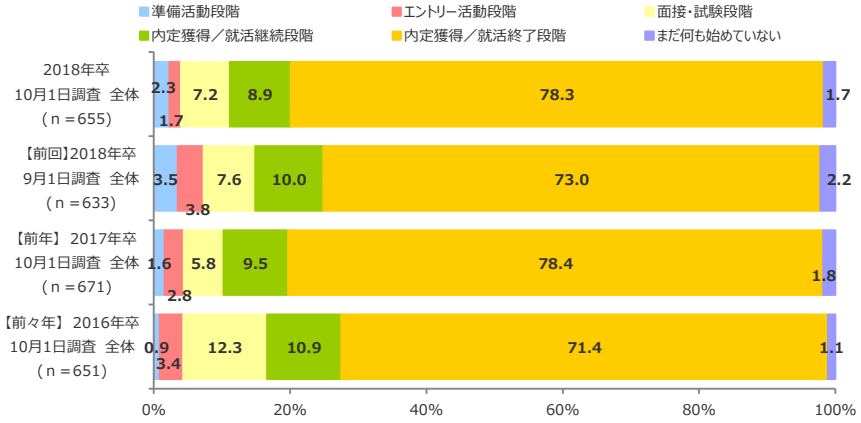
学生に、2017年10月1日時点の就職活動の＜主な活動＞について聞くと、「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生が最も多く78.3%に上った。前回調査（「2018年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査　2017年9月１日状況」、以下同）から5.3ポイントの増加となっている。前年調査（「2017年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査　2016年10月１日状況」、以下同）からは0.1ポイントの減少、前々年調査（「2016年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査　2015年10月１日状況」、以下同）からは6.9ポイントの増加となった（図1.1）。

また、＜主な活動＞と＜最も選考が進んでいる企業の状況（※）＞を合わせて、実際にどのくらいの学生が就職活動の各活動ステータスに到達しているかを見た。「準備活動段階」は、調査対象の全学生のうち98.3%、「エントリー活動段階」96.6%、「面接・試験段階」95.0%、「内定獲得段階（“内定獲得／就活継続段階”と“内定獲得／就活終了段階”の計。“内定獲得率”と同義）」87.9%となっている（図1.2）。

各活動ステータスに到達した学生の割合を属性別に見ると、就活取組姿勢が「積極的」な学生は、「内定獲得段階」に進んだ者が93.9%と高くなっている（表1）。

※　最も選考が進んでいる企業の状況：＜主な活動＞において、「内定獲得／就活終了段階」または「まだ何も始めていない」以外を回答した学生（ｎ＝73）に聴取。「準備活動段階」15.1%、「エントリー活動段階」15.1%、「面接・試験段階」63.0%、「内定獲得／就活継続段階」6.8%となっている。

【図1.1】現在の就職活動のステータス＜主な活動＞：過去調査との比較



◆準備活動段階
就職活動の情報収集や就活ナビサイトへの登録、自己分析や業界研究など企業にエントリーする前の準備をし始めた段階

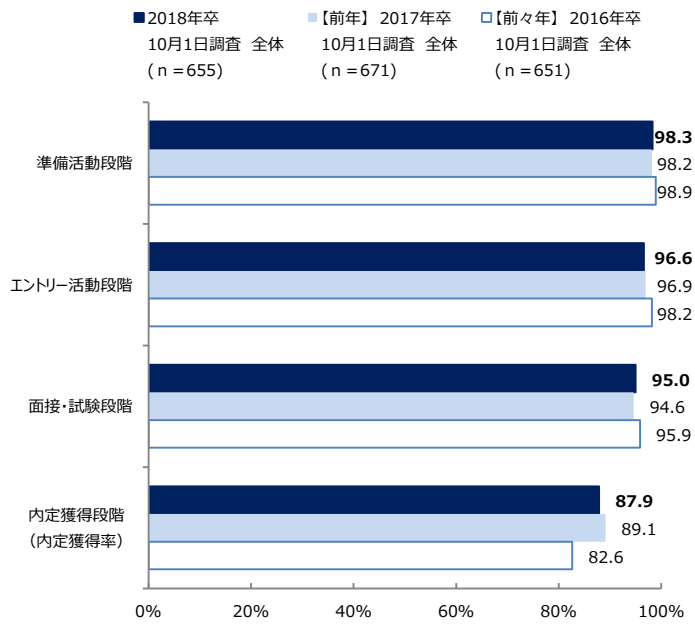
◆エントリー活動段階
説明会やエントリーシートの作成・提出など、企業にエントリー・応募し始めた段階

◆面接・試験段階
面接や試験など、主に企業の選考を受けている段階

◆内定獲得／就活継続段階
1社以上の内定を獲得したが、就活を継続している段階

◆内定獲得／就活終了段階
1社以上の内定を獲得し、就活を終了した段階

【図1.2】各活動ステータスに到達した学生の割合
：前年調査、前々年調査との比較



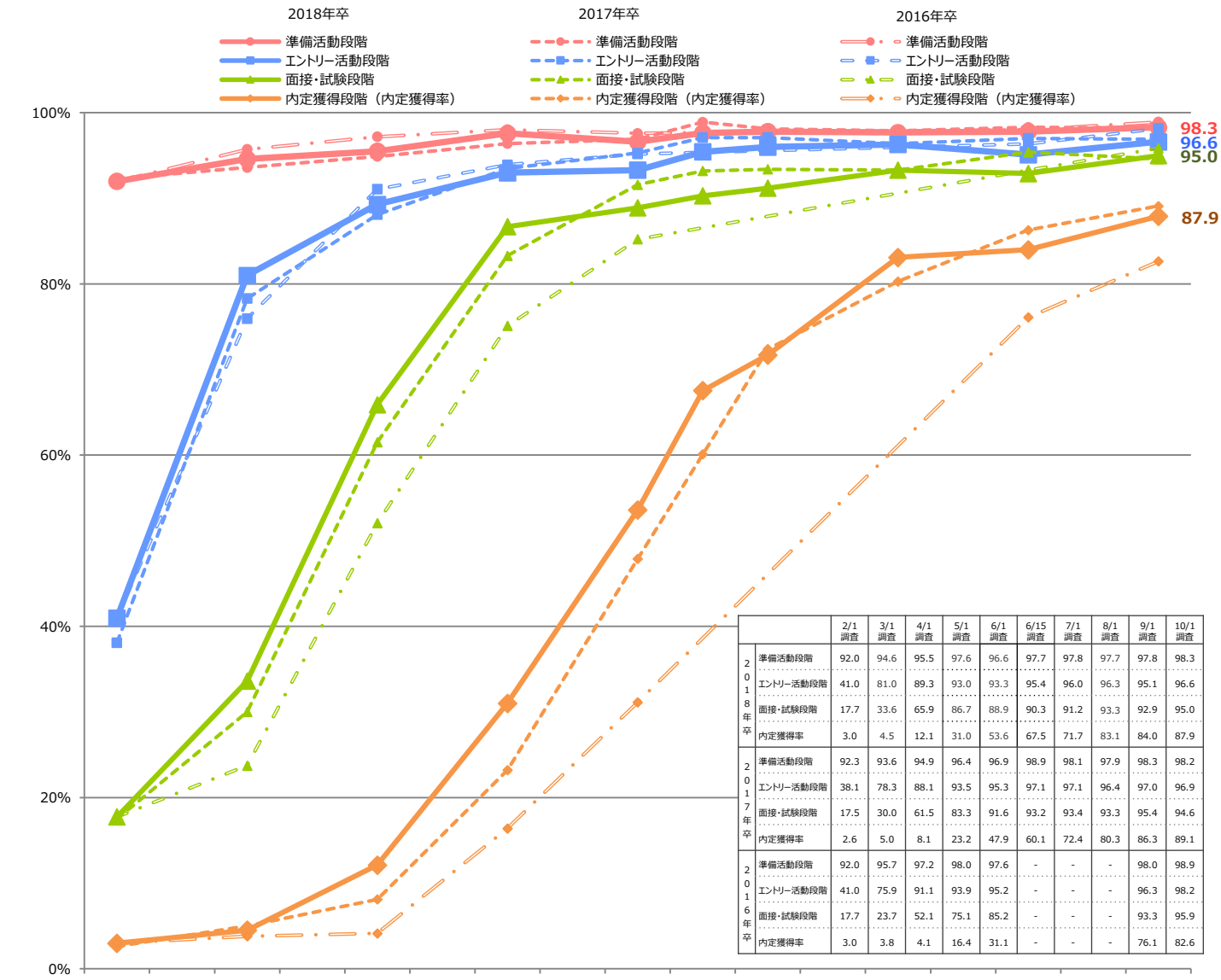
【表1】各活動ステータスに到達した学生の割合：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

		準備活動段階 (%)	エントリー活動段階 (%)	面接・試験段階 (%)	内定獲得段階（内定獲得率） (%)
2018年卒 10月1日調査 全体（ｎ＝655）		**98.3**	**96.6**	**95.0**	**87.9**
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（ｎ＝671）		98.2	96.9	94.6	89.1
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体（ｎ＝651）		98.9	98.2	95.9	82.6
男女別	男性（ｎ＝288）	97.2	95.1	94.1	86.1
	女性（ｎ＝367）	99.2	97.8	95.6	89.4
文理別	文系（ｎ＝480）	99.0	97.5	95.4	87.5
	理系（ｎ＝175）	96.6	94.3	93.7	89.1
企業規模に対する志向別	大企業志向（ｎ＝314）	99.0	97.5	96.2	91.4
	中小企業志向（ｎ＝173）	98.3	98.3	97.1	87.3
	企業の規模は全く意識していない（ｎ＝168）	97.0	93.5	90.5	82.1
就活取組姿勢別	積極的（ｎ＝380）	99.7	98.9	98.9	93.9
	消極的（ｎ＝275）	96.4	93.5	89.5	79.6

各活動ステータスに到達した学生の割合を、時系列で過去の調査と比較した。「面接・試験段階」到達者の割合は、6月1日以降落ち着き始め、9割を超えたところで安定している。「内定獲得段階」到達者の割合は、9月1日調査から伸びが緩やかになり、前年と同水準を維持している（図1.3）。

【図1.3】 各活動ステータスに到達した学生の割合：時系列、前年調査、前々年調査との比較



		2/1調査	3/1調査	4/1調査	5/1調査	6/1調査	6/15調査	7/1調査	8/1調査	9/1調査	10/1調査
2018年卒	準備活動段階	92.0	94.6	95.5	97.6	96.6	97.7	97.8	97.7	97.8	98.3
	エントリー活動段階	41.0	81.0	89.3	93.0	93.3	95.4	96.0	96.3	95.1	96.6
	面接・試験段階	17.7	33.6	65.9	86.7	88.9	90.3	91.2	93.3	92.9	95.0
	内定獲得率	3.0	4.5	12.1	31.0	53.6	67.5	71.7	83.1	84.0	87.9
2017年卒	準備活動段階	92.3	93.6	94.9	96.4	96.9	98.9	98.1	97.9	98.3	98.2
	エントリー活動段階	38.1	78.3	88.1	93.5	95.3	97.1	97.1	96.4	97.0	96.9
	面接・試験段階	17.5	30.0	61.5	83.3	91.6	93.2	93.4	93.3	95.4	94.6
	内定獲得率	2.6	5.0	8.1	23.2	47.9	60.1	72.4	80.3	86.3	89.1
2016年卒	準備活動段階	92.0	95.7	97.2	98.0	97.6	-	-	-	98.0	98.9
	エントリー活動段階	41.0	75.9	91.1	93.9	95.2	-	-	-	96.3	98.2
	面接・試験段階	17.7	23.7	52.1	75.1	85.2	-	-	-	93.3	95.9
	内定獲得率	3.0	3.8	4.1	16.4	31.1	-	-	-	76.1	82.6

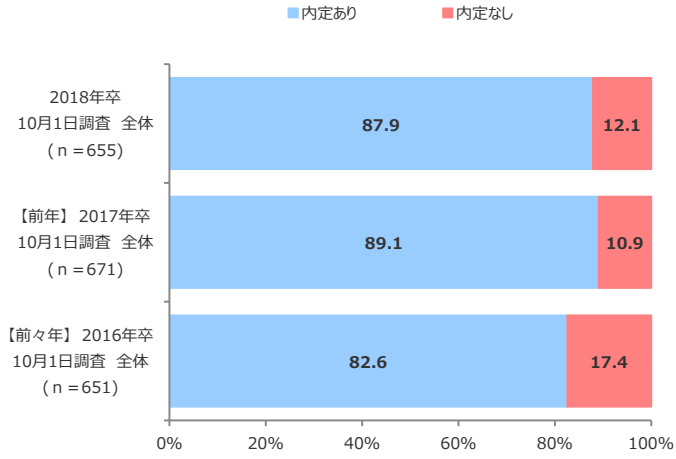
	2/1調査	3/1調査	4/1調査	5/1調査	6/1調査	6/15調査	7/1調査	8/1調査	9/1調査	10/1調査
2018年卒：	（n＝660）	（n＝685）	（n＝628）	（n＝668）	（n＝685）	（n＝681）	（n＝647）	（n＝644）	（n＝633）	（n＝655）
2017年卒：	（n＝646）	（n＝659）	（n＝631）	（n＝672）	（n＝701）	（n＝622）	（n＝693）	（n＝714）	（n＝710）	（n＝671）
2016年卒：	（n＝637）	（n＝632）	（n＝605）	（n＝659）	（n＝623）		-	-	（n＝657）	（n＝651）

2 内定獲得状況

学生の内定獲得状況を見ると、10月1日時点では、「内定あり」87.9%、「内定なし」12.1%となった。「内定あり」の学生の割合は前年から1.2ポイントの減少となっている（図2.1）。
属性別に見ると、「内定あり」の学生の割合は、就活取組姿勢別では「積極的」は学生で93.9%と高くなっていた（表2.1）。
内定獲得社数を見ると、平均2.3社となった。就活取組姿勢別に見ると、「積極的」な学生と「消極的」な学生で平均0.7社の差が生じている（表2.2）。

内定獲得者のうち、内定獲得社数が「2社」以上だった学生の割合を複数内定獲得率（以下同）として集計すると、64.1%となった（図2.2）。

【図2.1】内定獲得状況：前年調査、前々年調査との比較



【表2.1】内定獲得状況：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

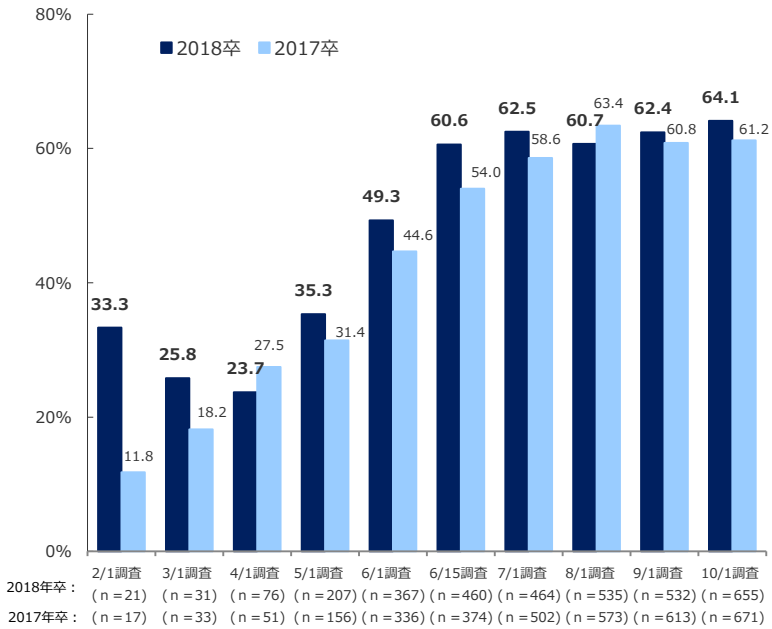
		内定あり (%)	内定なし (%)
2018年卒 10月1日調査 全体 （n＝655）		**87.9**	**12.1**
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体 （n＝671）		89.1	10.9
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体 （n＝651）		82.6	17.4
男女別	男性 （n＝288）	86.1	13.9
	女性 （n＝367）	89.4	10.6
文理別	文系 （n＝480）	87.5	12.5
	理系 （n＝175）	89.1	10.9
企業規模に対する志向別	大企業志向 （n＝314）	91.4	8.6
	中小企業志向 （n＝173）	87.3	12.7
	企業の規模は全く意識していない （n＝168）	82.1	17.9
就活取組姿勢別	積極的 （n＝380）	93.9	6.1
	消極的 （n＝275）	79.6	20.4

【表2.2】内定獲得社数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

		1社 (%)	2社 (%)	3社以上 (%)	平均 (社)
2018年卒 10月1日調査 全体 （n＝576）		**35.9**	**29.0**	**35.1**	***2.3***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体 （n＝598）		38.8	28.4	32.8	*2.3*
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体 （n＝538）		38.5	27.0	34.6	*2.3*
男女別	男性 （n＝248）	39.1	25.4	35.5	*2.4*
	女性 （n＝328）	33.5	31.7	34.8	*2.2*
文理別	文系 （n＝420）	33.8	29.3	36.9	*2.4*
	理系 （n＝156）	41.7	28.2	30.1	*2.2*
企業規模に対する志向別	大企業志向 （n＝287）	26.5	30.0	43.6	*2.6*
	中小企業志向 （n＝151）	46.4	28.5	25.2	*2.0*
	企業の規模は全く意識していない（n＝138）	44.2	27.5	28.3	*2.0*
就活取組姿勢別	積極的 （n＝357）	27.2	29.4	43.4	*2.6*
	消極的 （n＝219）	50.2	28.3	21.5	*1.9*

【図2.2】内定獲得者における複数内定獲得率：時系列、前年調査との比較

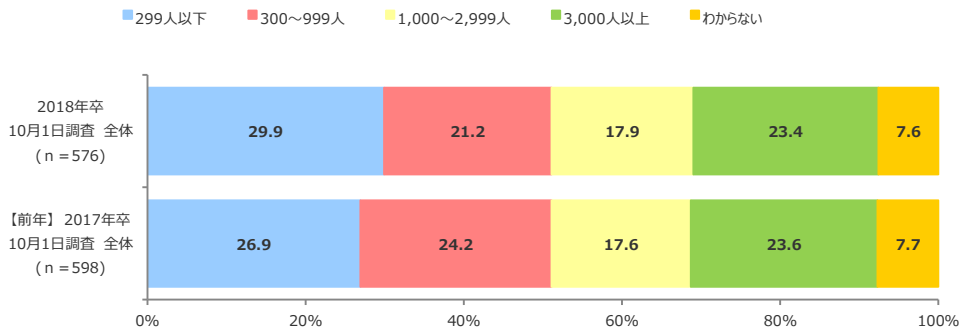


3　入社予定企業の従業員規模

「　2　内定獲得状況」において、10月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業（複数内定獲得者は、現時点で最も入社志望度が高い企業、以下同）の従業員規模を聞いた。「299人以下」と「3,000人以上」の規模の企業に入社予定の学生が多く、それぞれ29.9%、23.4%に上っている（図3）。

属性別では、文理別で見ると、理系は「3,000人以上」の規模の企業に入社予定の学生が30.8%と、文系学生よりも大規模企業に入社予定の学生の割合が高い。
企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生は、38.0%が「3,000人以上」の規模の企業に入社予定となっている。その反面、約3割は“999人以下”の規模の企業に入社予定であり、自身の志向と入社予定企業の規模が合致していない者も一定数いるようだ。一方、「中小企業志向」の学生の57.0%は、「299人以下」の規模の企業に入社予定となっている（表3）。

【図3】入社予定企業の従業員規模：前年調査との比較



【表3】入社予定企業の従業員規模：属性別

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		299人以下 (%)	300～999人 (%)	1,000～2,999人 (%)	3,000人以上 (%)	わからない (%)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝576）		**29.9**	**21.2**	**17.9**	**23.4**	**7.6**
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝598）		26.9	24.2	17.6	23.6	7.7
男女別	男性（n＝248）	30.2	20.2	16.1	26.6	6.9
	女性（n＝328）	29.6	22.0	19.2	21.0	8.2
文理別	文系（n＝420）	31.9	23.3	16.4	20.7	7.6
	理系（n＝156）	24.4	15.4	21.8	30.8	7.7
企業規模に対する志向別	大企業志向（n＝287）	12.2	20.2	24.4	38.0	5.2
	中小企業志向（n＝151）	57.0	23.2	11.3	4.0	4.6
	企業の規模は全く意識していない（n＝138）	37.0	21.0	11.6	14.5	15.9
就活取組姿勢別	積極的（n＝357）	30.0	22.7	15.4	24.9	7.0
	消極的（n＝219）	29.7	18.7	21.9	21.0	8.7

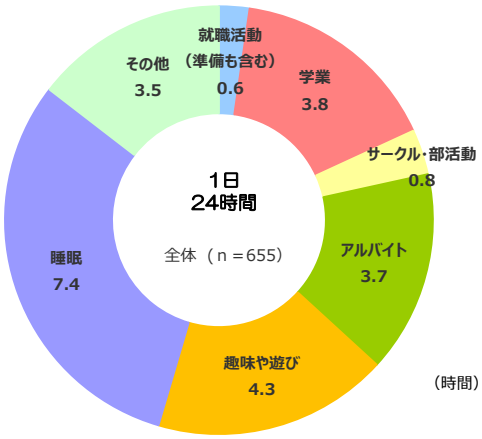
4 1日の活動時間

学生に、現在、1日のうち「就職活動（準備も含む）」「学業」「サークル・部活動」「アルバイト」「趣味や遊び」「睡眠」にどのくらいの時間を費やしているかを聞き、平均化した。結果は、「就職活動（準備も含む）」0.6時間、「学業」3.8時間、「サークル・部活動」0.8時間、「アルバイト」3.7時間、「趣味や遊び」4.3時間、「睡眠」7.4時間となった（図4.1）。

文理別に見ると、理系は「学業」に費やす時間が5.9時間で、文系の約2倍となっている。その分、文系は「アルバイト」「趣味や遊び」に費やす時間が理系よりも多くなっていた（表4）。

前回調査から、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間は0.2時間減少し、調査開始から最も少ない値となった。10月1日の正式な内定解禁を過ぎ、2018年卒学生の就職活動は収束に向かっている（図4.2）。

【図4.1】1日の活動時間／平均



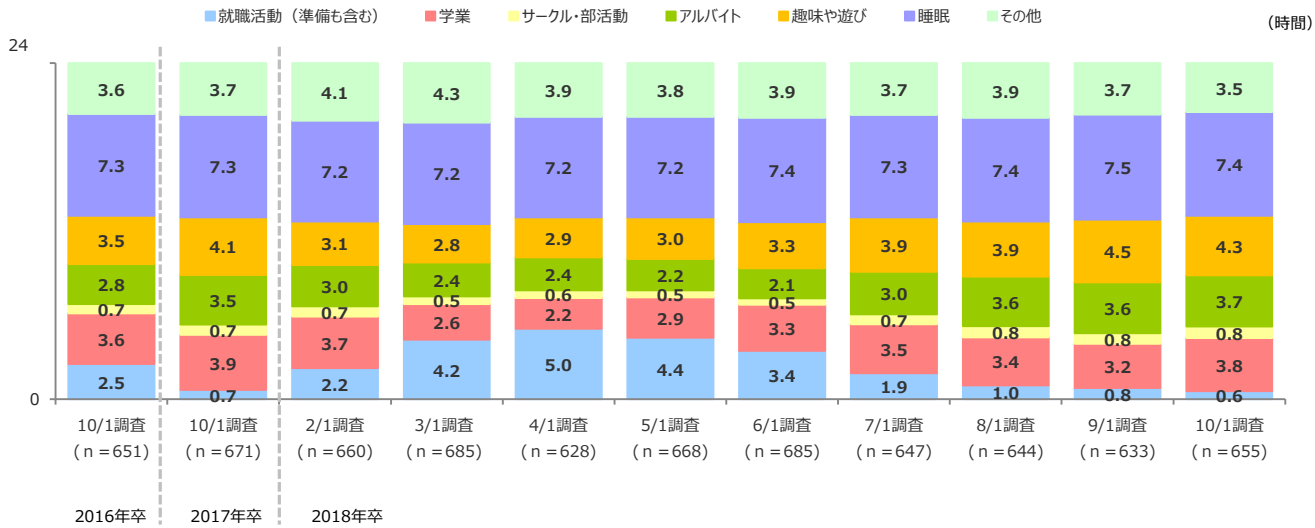
【表4】1日の活動時間／平均：属性別

（時間）

n=30以上で
- 全体＋1時間以上
- 全体＋0.5時間以上
- 全体－0.5時間以下
- 全体－1時間以下

		就職活動（準備も含む）	学業	サークル・部活動	アルバイト	趣味や遊び	睡眠	その他
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝655）		**0.6**	**3.8**	**0.8**	**3.7**	**4.3**	**7.4**	**3.5**
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝671）		0.7	3.9	0.7	3.5	4.1	7.3	3.7
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体（n＝651）		2.5	3.6	0.7	2.8	3.5	7.3	3.6
男女別	男性（n＝288）	0.8	4.2	0.9	3.1	4.3	7.5	3.3
	女性（n＝367）	0.4	3.5	0.8	4.1	4.3	7.4	3.6
文理別	文系（n＝480）	0.6	3.0	0.9	4.1	4.5	7.5	3.5
	理系（n＝175）	0.5	5.9	0.6	2.5	3.7	7.2	3.6
企業規模に対する志向別	大企業志向（n＝314）	0.5	3.8	0.9	3.7	4.3	7.4	3.3
	中小企業志向（n＝173）	0.6	3.3	0.8	4.1	4.0	7.5	3.6
	企業の規模は全く意識していない（n＝168）	0.6	4.2	0.6	3.1	4.4	7.4	3.7
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	0.3	3.8	0.9	3.9	4.3	7.4	3.4
	内定なし（n＝79）	2.3	3.6	0.5	2.1	4.3	7.3	3.9

【図4.2】1日の活動時間／平均：時系列、前年調査、前々年調査との比較



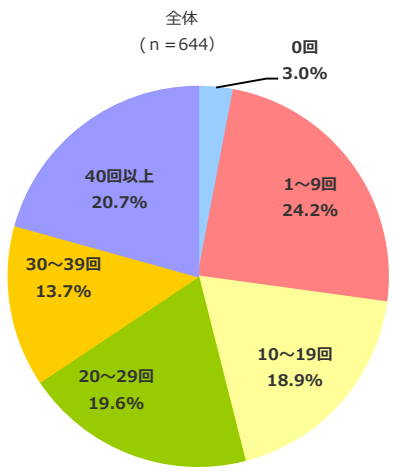
5　会社説明会参加回数

「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、10月1日までに参加した会社説明会の回数を聞いた。結果は、多い順に「1～9回」24.2%、「40回以上」20.7%、「20～29回」19.6%となっている（図5.1）。

平均参加回数は23.6回となっており、前年調査よりも3.7回少ない。
属性別に見ると、内定獲得状況別では「内定あり」の学生、就活取組姿勢別では「積極的」な学生で参加回数が多く、それぞれ「内定なし」の学生、「消極的」な学生と約10回の差が生じていた（表5）。

時系列で見ると、前回調査の平均24.7回から1.1回の減少となった。7月1日調査から横ばいとなっており、この時期以降は会社説明会等に足を運ばなくなるようだ（図5.2）。

【図5.1】会社説明会参加回数

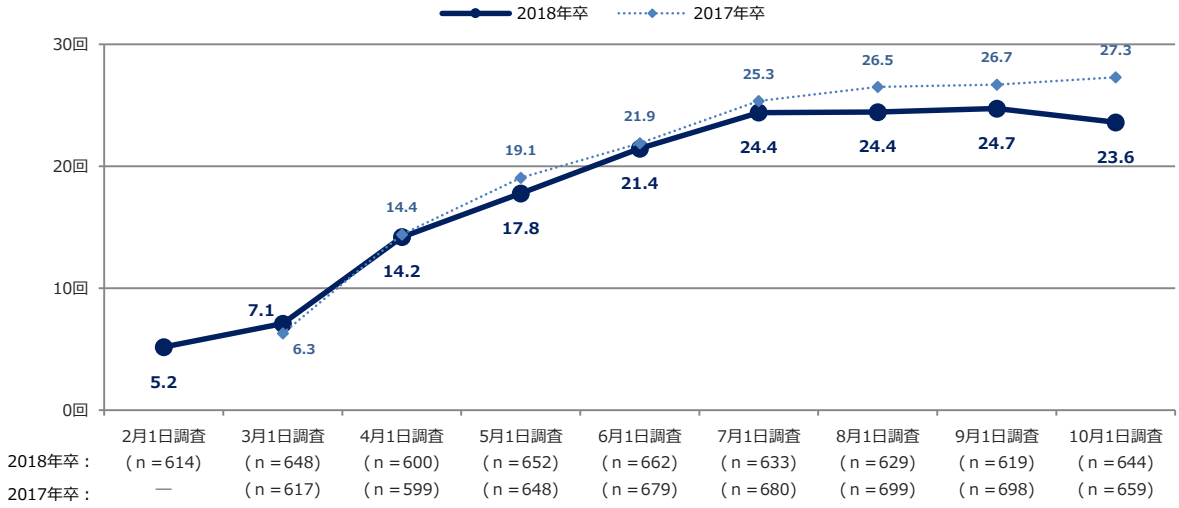


【表5】会社説明会参加回数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

		0回 (%)	1～9回 (%)	10～19回 (%)	20～29回 (%)	30～39回 (%)	40回以上 (%)	平均 (回)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝644）		**3.0**	**24.2**	**18.9**	**19.6**	**13.7**	**20.7**	***23.6***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝659）		2.7	15.2	17.9	22.2	16.1	25.9	*27.3*
男女別	男性（n＝280）	2.5	27.9	21.1	16.1	11.4	21.1	*23.8*
	女性（n＝364）	3.3	21.4	17.3	22.3	15.4	20.3	*23.5*
文理別	文系（n＝475）	2.7	20.0	17.3	20.6	14.5	24.8	*26.0*
	理系（n＝169）	3.6	36.1	23.7	16.6	11.2	8.9	*17.0*
企業規模に対する志向別	大企業志向（n＝311）	1.9	21.2	19.6	20.6	17.0	19.6	*24.4*
	中小企業志向（n＝170）	5.3	25.9	19.4	20.0	8.8	20.6	*22.0*
	企業の規模は全く意識していない（n＝163）	2.5	28.2	17.2	17.2	12.3	22.7	*23.7*
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	2.4	21.7	19.4	20.0	14.9	21.5	*24.8*
	内定なし（n＝68）	7.4	45.6	14.7	16.2	2.9	13.2	*13.6*
就活取組姿勢別	積極的（n＝379）	2.4	14.8	16.9	22.2	16.9	26.9	*28.4*
	消極的（n＝265）	3.8	37.7	21.9	15.8	9.1	11.7	*16.7*

【図5.2】会社説明会参加回数／平均：時系列、前年調査との比較



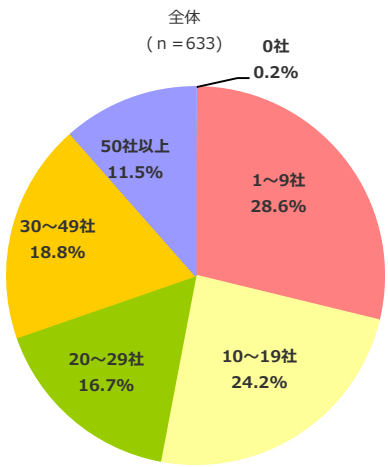
6 応募企業数

「　1　就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、10月1日までに選考に応募した企業数を聞いた。多かった順に、「1～9社」28.6%、「10～19社」24.2%、「30～49社」18.8%となっている（図6.1）。

応募企業数の平均は22.2社で、前年よりも4.9社、前々年からは12.9社減少している。
属性別で見ると、内定獲得状況別では「内定なし」の学生は平均15.2社と「内定あり」の学生に比べて応募活動が少ない（表6）。

時系列で見ると、前回調査の平均23.5社から1.3社の減少となった。前年を下回る状況が4月1日調査から続いており、その差も広がっている（図6.2）。

【図6.1】選考に応募した企業数

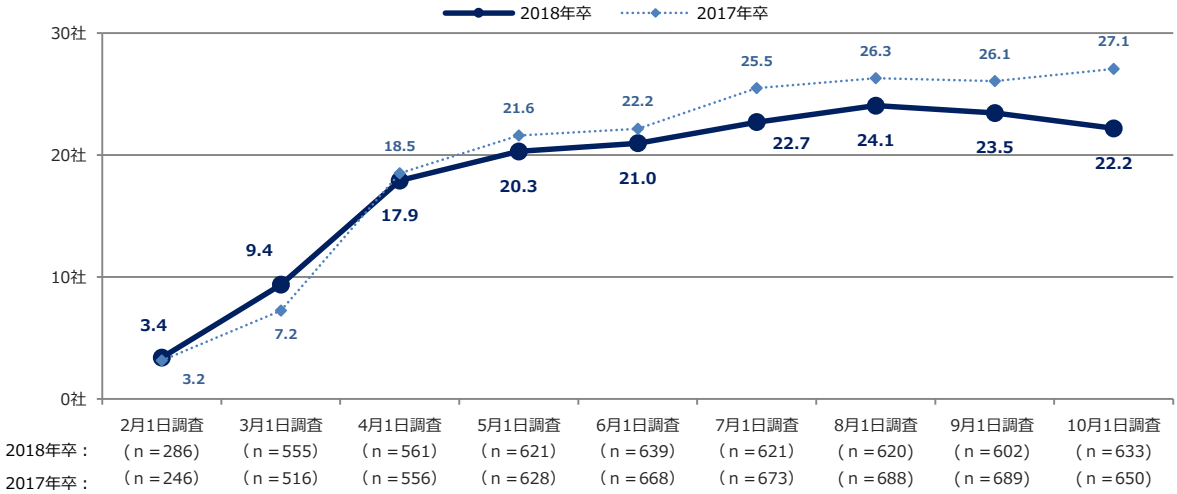


【表6】選考に応募した企業数：属性別

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		0社 (%)	1～9社 (%)	10～19社 (%)	20～29社 (%)	30～49社 (%)	50社以上 (%)	平均 (社)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝633）		**0.2**	**28.6**	**24.2**	**16.7**	**18.8**	**11.5**	***22.2***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝650）		0.2	19.8	24.2	18.0	22.8	15.1	*27.1*
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体（n＝639）		0.5	18.6	16.6	16.4	21.8	26.1	*35.1*
男女別	男性（n＝274）	0.0	33.9	24.5	14.6	17.5	9.5	*20.0*
	女性（n＝359）	0.3	24.5	24.0	18.4	19.8	13.1	*23.8*
文理別	文系（n＝468）	0.2	23.3	25.0	17.7	20.7	13.0	*24.0*
	理系（n＝165）	0.0	43.6	21.8	13.9	13.3	7.3	*17.0*
企業規模に対する志向別	大企業志向（n＝306）	0.0	21.9	25.2	17.6	21.9	13.4	*24.6*
	中小企業志向（n＝170）	0.0	35.3	24.7	14.7	17.6	7.6	*19.0*
	企業の規模は全く意識していない（n＝157）	0.6	34.4	21.7	17.2	14.0	12.1	*20.8*
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	0.0	26.6	24.3	17.4	19.8	12.0	*22.9*
	内定なし（n＝57）	1.8	49.1	22.8	10.5	8.8	7.0	*15.2*
就活取組姿勢別	積極的（n＝376）	0.0	18.1	22.9	19.9	24.7	14.4	*26.7*
	消極的（n＝257）	0.4	44.0	26.1	12.1	10.1	7.4	*15.5*

【図6.2】選考に応募した企業数／平均：時系列、前年調査との比較



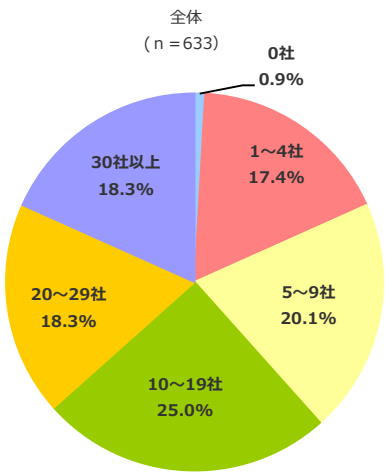
7　エントリーシート・履歴書提出企業数

「　1　就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、10月1日までにエントリーシートや履歴書を提出した企業数を聞いた。結果は、「10～19社」と回答した学生が最も多く、25.0%だった。以降は「5～9社」20.1%、「20～29社」と「30社以上」がそれぞれ18.3%となっている（図7.1）。

エントリーシート・履歴書提出企業数の平均は15.9社で、前年調査から3.3社減少した。
属性別に見ると、就活取組姿勢別では、「積極的」な学生は提出企業数が19.0社と20社に迫る勢いで、「消極的」な学生よりも多くなっていた（表7）。

時系列で見ると、前回調査の平均16.5社から0.6社の減少となった（図7.2）。

【図7.1】エントリーシート・履歴書提出企業数

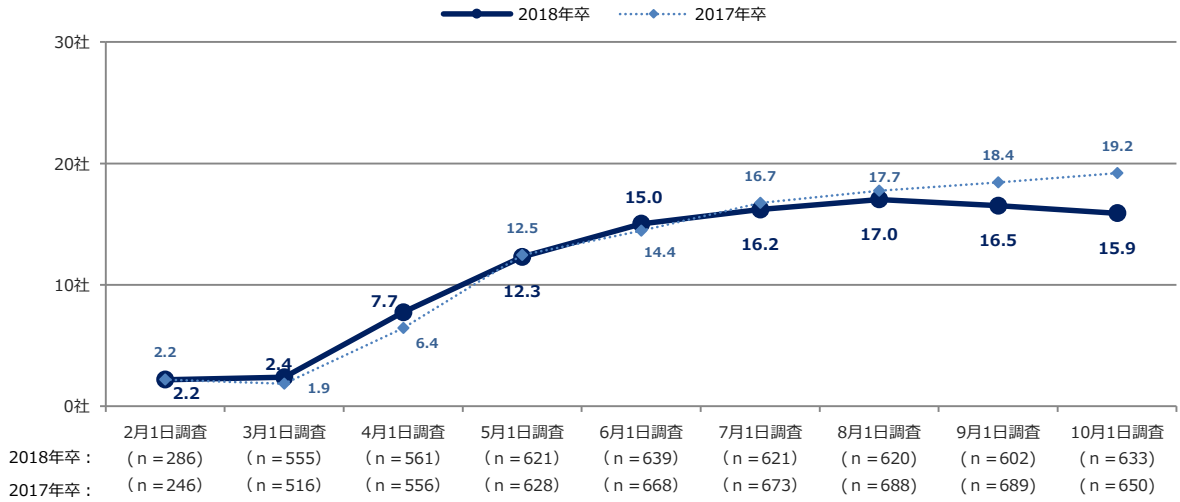


【表7】エントリーシート・履歴書提出企業数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

		0社 (%)	1～4社 (%)	5～9社 (%)	10～19社 (%)	20～29社 (%)	30社以上 (%)	平均 (社)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝633）		**0.9**	**17.4**	**20.1**	**25.0**	**18.3**	**18.3**	***15.9***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝650）		0.3	11.4	14.3	28.8	20.5	24.8	*19.2*
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体（n＝639）		0.5	14.1	14.1	24.4	20.7	26.3	*20.1*
男女別	男性（n＝274）	1.1	20.1	20.1	27.4	14.2	17.2	*14.9*
	女性（n＝359）	0.8	15.3	20.1	23.1	21.4	19.2	*16.6*
文理別	文系（n＝468）	1.3	13.9	17.9	26.7	19.7	20.5	*17.0*
	理系（n＝165）	0.0	27.3	26.1	20.0	14.5	12.1	*12.6*
企業規模に対する志向別	大企業志向（n＝306）	0.7	13.7	17.6	27.1	20.6	20.3	*17.3*
	中小企業志向（n＝170）	0.6	22.4	24.7	24.7	14.7	12.9	*13.1*
	企業の規模は全く意識していない（n＝157）	1.9	19.1	19.7	21.0	17.8	20.4	*16.0*
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	0.7	15.6	20.1	25.3	18.8	19.4	*16.4*
	内定なし（n＝57）	3.5	35.1	19.3	21.1	14.0	7.0	*10.7*
就活取組姿勢別	積極的（n＝376）	0.3	10.1	15.4	26.9	22.6	24.7	*19.0*
	消極的（n＝257）	1.9	28.0	26.8	22.2	12.1	8.9	*11.3*

【図7.2】エントリーシート・履歴書提出企業数／平均：時系列、前年調査との比較



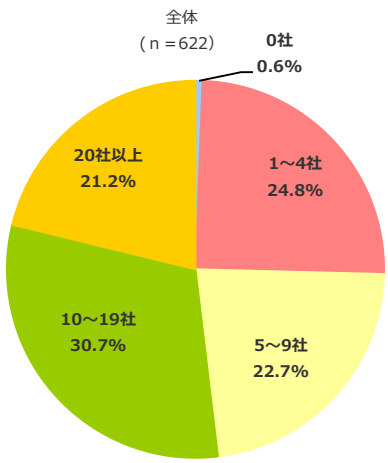
8　面接選考企業数

「　1　就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、10月1日までに面接の選考（グループワークやグループディスカッションも含む）を受けた企業数を聞いた。結果は、「10～19社」と回答した学生が最も多く、30.7%だった（図8.1）。

平均社数は11.8社だった。前年調査に比べ、応募企業数は減少しているにもかかわらず（表6　参照）、面接選考企業数は1.7社減と微減に留まり、前年よりも面接選考に進みやすい状況があるようだ。属性別に見ると、文理別では理系より文系、内定獲得状況別では「内定あり」の学生、就活取組姿勢別では「積極的」な学生で平均社数が多くなっている（表8）。

時系列で見ると、前回調査の平均12.2社から0.4社の減少となり、ほぼ横ばいとなっている（図8.2）。

【図8.1】面接選考企業数

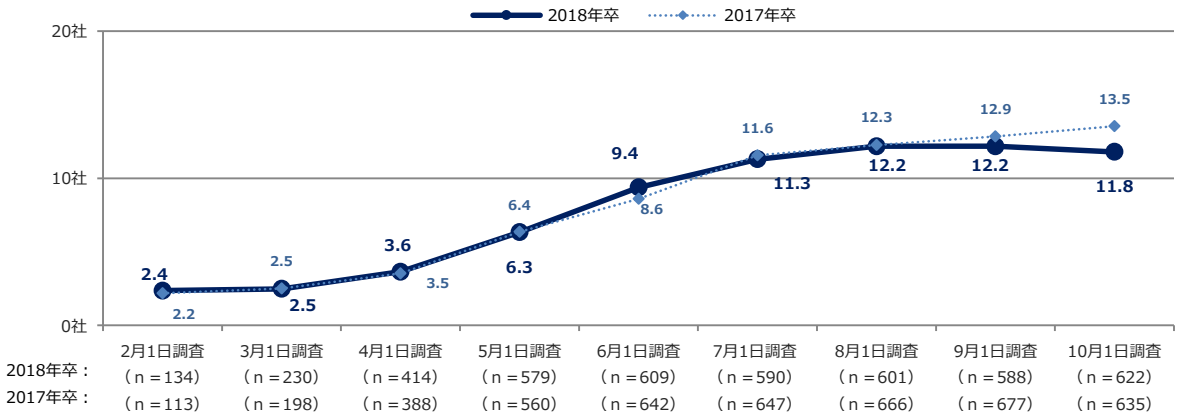


【表8】面接選考企業数：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

		0社 (%)	1～4社 (%)	5～9社 (%)	10～19社 (%)	20社以上 (%)	平均 (社)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝622）		**0.6**	**24.8**	**22.7**	**30.7**	**21.2**	***11.8***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝635）		0.2	16.7	20.8	35.0	27.4	*13.5*
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体（n＝624）		0.3	21.2	20.2	32.2	26.1	*13.3*
男女別	男性（n＝271）	0.4	26.6	23.6	29.9	19.6	*11.5*
	女性（n＝351）	0.9	23.4	21.9	31.3	22.5	*11.9*
文理別	文系（n＝458）	0.2	20.5	22.1	32.3	24.9	*12.8*
	理系（n＝164）	1.8	36.6	24.4	26.2	11.0	*8.8*
企業規模に対する志向別	大企業志向（n＝302）	0.3	19.9	20.5	37.1	22.2	*12.4*
	中小企業志向（n＝168）	1.2	33.9	23.2	25.6	16.1	*10.2*
	企業の規模は全く意識していない（n＝152）	0.7	24.3	26.3	23.7	25.0	*12.1*
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	0.0	23.3	23.1	32.1	21.5	*12.1*
	内定なし（n＝46）	8.7	43.5	17.4	13.0	17.4	*7.9*
就活取組姿勢別	積極的（n＝376）	0.0	15.7	20.5	35.6	28.2	*14.0*
	消極的（n＝246）	1.6	38.6	26.0	23.2	10.6	*8.3*

【図8.2】面接選考企業数／平均：時系列、前年調査との比較



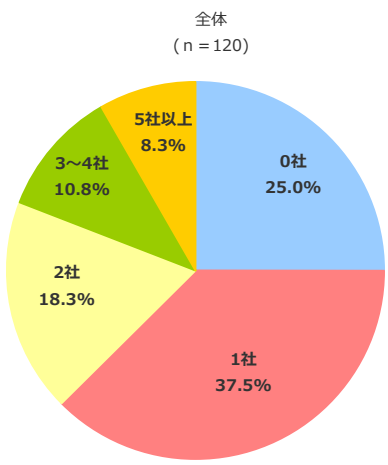
9　現在選考中の企業数

「　1　就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでおり、就職活動を継続している学生に対し、 10月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中であり最終的な結果が出ていない状態）の企業数を聞いた。結果は、「1社」37.5%、「0社」25.0%となっている（図9.1）。

平均は1.6社で、前年調査から0.3社減少した。10月1日の内定解禁を経て、学生も活動量は少なくなってきているようだ（表9）。

時系列で見ると、前回調査の平均1.6社から増減なしの横ばいとなっている（図9.2）。

【図9.1】現在選考中の企業数

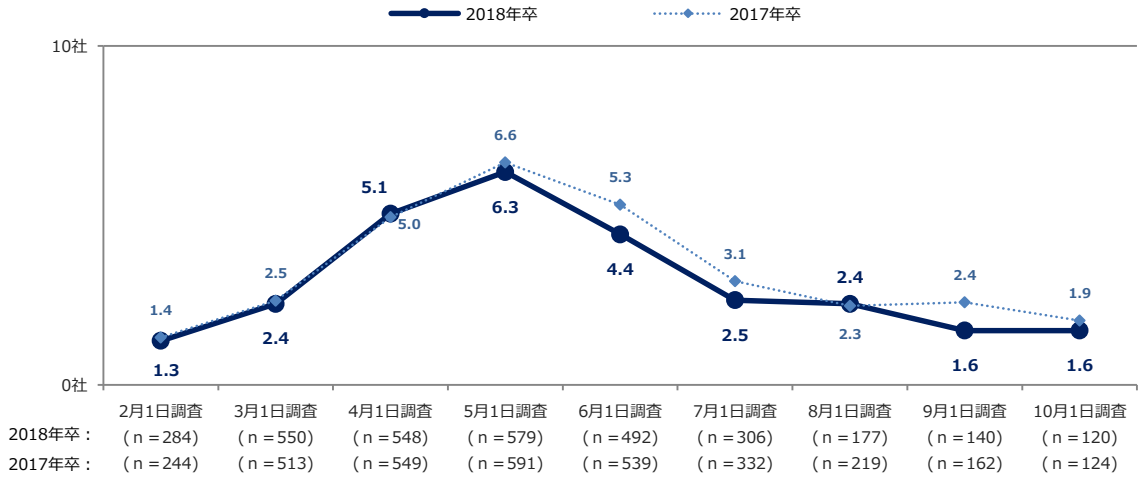


【表9】現在選考中の企業数：属性別

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		0社 (%)	1社 (%)	2社 (%)	3～4社 (%)	5社以上 (%)	平均 (社)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝120）		**25.0**	**37.5**	**18.3**	**10.8**	**8.3**	***1.6***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝124）		28.2	23.4	15.3	19.4	13.7	*1.9*
男女別	男性（n＝61）	23.0	39.3	14.8	13.1	9.8	*1.8*
	女性（n＝59）	27.1	35.6	22.0	8.5	6.8	*1.4*
文理別	文系（n＝100）	25.0	34.0	21.0	11.0	9.0	*1.7*
	理系（n＝20）	25.0	55.0	5.0	10.0	5.0	*1.2*
企業規模に対する志向別	大企業志向（n＝43）	23.3	32.6	30.2	11.6	2.3	*1.4*
	中小企業志向（n＝43）	25.6	46.5	11.6	4.7	11.6	*1.5*
	企業の規模は全く意識していない（n＝34）	26.5	32.4	11.8	17.6	11.8	*2.0*
内定獲得状況別	内定あり（n＝63）	28.6	39.7	22.2	4.8	4.8	*1.4*
	内定なし（n＝57）	21.1	35.1	14.0	17.5	12.3	*1.8*
就活取組姿勢別	積極的（n＝54）	16.7	31.5	22.2	14.8	14.8	*2.2*
	消極的（n＝66）	31.8	42.4	15.2	7.6	3.0	*1.1*

【図9.2】現在選考中の企業数／平均：時系列、前年調査との比較

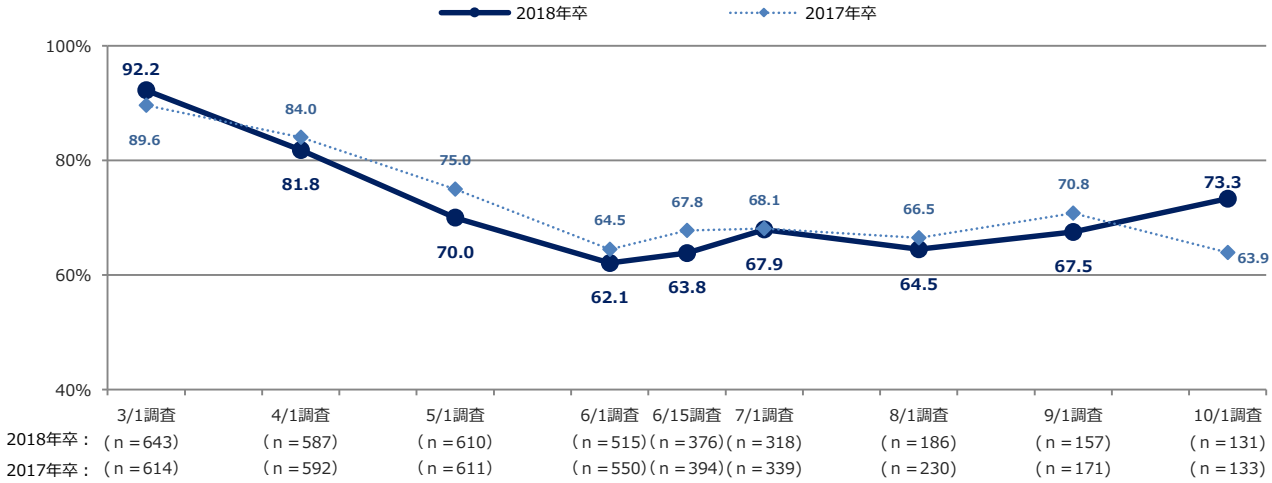


10　企業への新たな応募予定（10月）

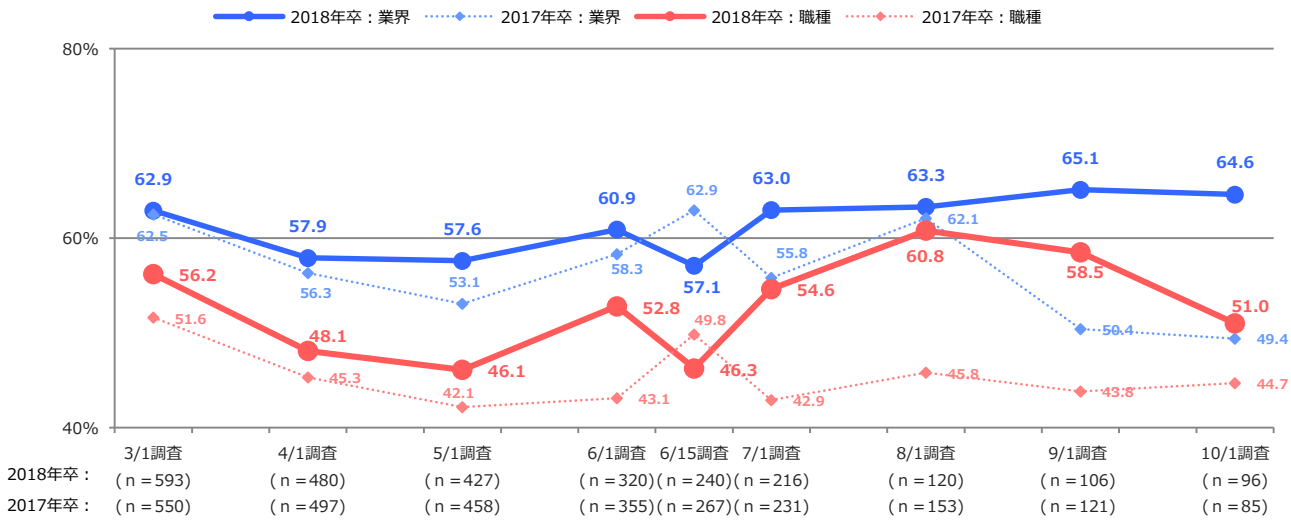
「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」または「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生を除いて 、10月1日時点の就職活動において新たに企業に応募する予定があるかを聞いた。「ある」と回答した学生は73.3%で、前回調査から増加した。前年調査と比較しても、9.4ポイント高くなっている（図10.1）。

また、新たに企業に応募する予定が「ある」と回答した学生に対し、今まで“興味がなかった業界”や“興味がなかった職種”にも応募するかを聞いた。
今まで“興味がなかった業界”にも応募する予定が「ある」学生は64.6%に上り、前回調査からほぼ横ばいとなった。
今まで“興味がなかった職種”にも応募する予定が「ある」学生は51.0%で、“業界”の動きとは異なり、前月から減少した。
時系列で見ると、“興味がなかった業界または職種”に応募予定が「ある」と回答した学生の割合は、7月1日以降、前年調査の数値よりも高く推移している（図10.2）。

【図10.1】今月、新たに企業に応募する予定がある学生の割合：時系列、前年調査との比較



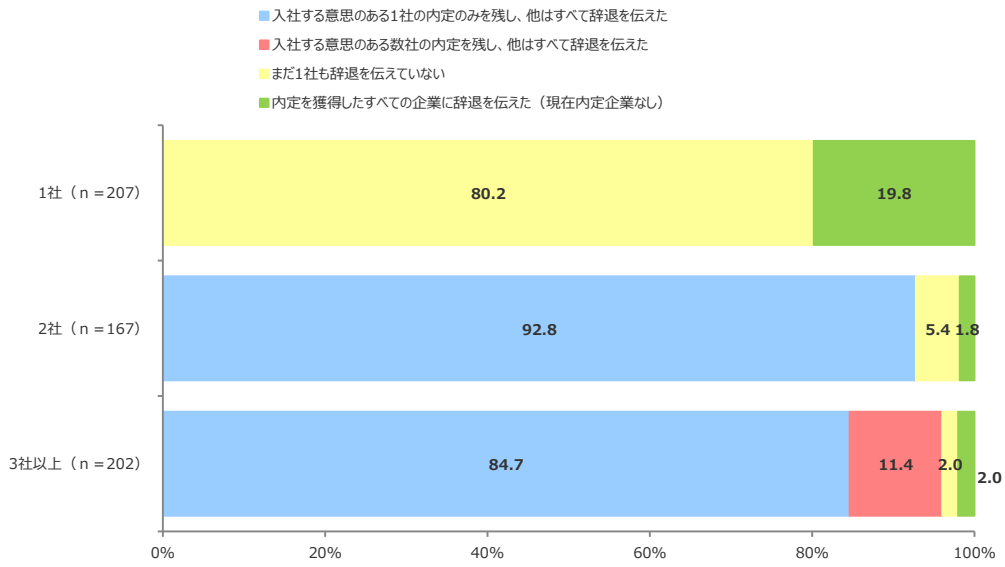
【図10.2】興味がなかった業界や職種にも応募する予定があるか：時系列、前年調査との比較



11　内定辞退の状況

「　2　内定獲得状況」において、10月1日時点で内定を獲得している学生に対し、内定辞退の状況を聞いた。内定獲得社数が「1社」の学生では、19.8%の学生が「内定を獲得したすべての企業に辞退を伝えた（現在内定企業なし）」と回答した。就職活動は行なったものの、民間企業への就職以外の選択肢を選んだ学生が、一定数いるようだ。内定獲得社数が「2社」の学生では、92.8%が「入社する意思のある1社の内定のみを残し、他はすべて辞退を伝えた」と回答している。内定獲得社数が「3社以上」の学生は、84.7%が「入社する意思のある1社の内定のみを残し、他はすべて辞退を伝えた」 と回答した。一方、正式な内定の解禁となった10月1日時点でも、“数社の内定を残している”もしくは“1社も辞退していない”学生が13.4%存在している（図11）。

【図11】内定辞退の状況

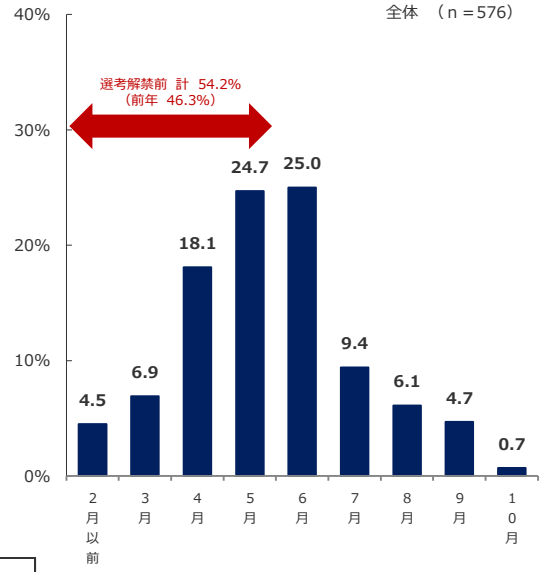


12 内定獲得時期・就活終了時期

「 2 内定獲得状況」において、10月1日時点で内定を獲得している学生に、「最初の内定」を獲得した時期を聞いた。最も多かった時期は「6月」で25.0%だったが、次点の「5月」も24.7%で拮抗している。「2月以前」から「5月」の回答を合わせると54.2%（前年46.3%）となり、半数以上の学生が選考活動解禁の6月より前に最初の内定を獲得していたようだ（図12.1）。

また、同様の学生に「入社予定企業から内定を獲得した時期」を聞くと、選考活動解禁時期である「6月」が36.8%で突出していた。次いで、「5月」15.6%、「7月」14.9%と、6月前後に回答が集中している。入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模が大きくなるほど、内定を出されたのが「6月」だったという学生の割合が概ね高くなる。「3,000人以上」の規模の企業では56.3%にも上り、大企業が「6月」の選考活動解禁を目安に内定を出し始めていたことがうかがえる（図12.2）。

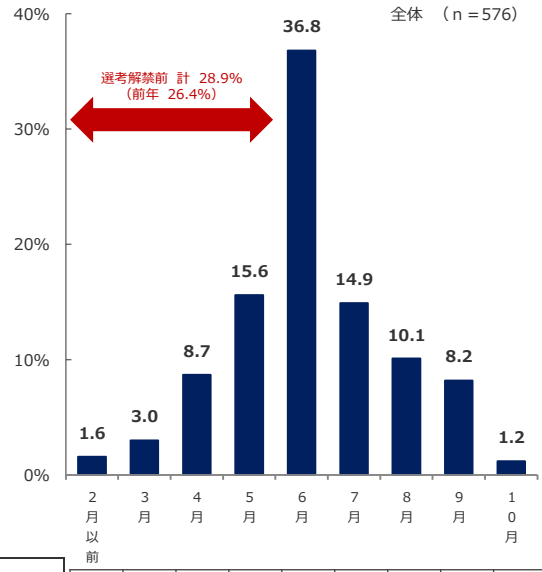
【図12.1】最初の内定を獲得した月：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		2月以前 (%)	3月 (%)	4月 (%)	5月 (%)	6月 (%)	7月 (%)	8月 (%)	9月 (%)	10月 (%)
2018年卒 10月1日調査 全体 (n＝576)		**4.5**	**6.9**	**18.1**	**24.7**	**25.0**	**9.4**	**6.1**	**4.7**	**0.7**
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体 (n＝598)		3.3	7.2	13.2	22.6	27.3	12.5	7.5	5.7	0.7
男女別	男性 (n＝248)	4.0	8.9	19.4	22.2	23.0	10.9	6.9	3.6	1.2
	女性 (n＝328)	4.9	5.5	17.1	26.5	26.5	8.2	5.5	5.5	0.3
文理別	文系 (n＝420)	3.8	7.1	18.3	23.1	24.8	10.5	6.0	5.5	1.0
	理系 (n＝156)	6.4	6.4	17.3	28.8	25.6	6.4	6.4	2.6	0.0
入社予定企業の従業員規模別	299人以下 (n＝172)	6.4	8.1	14.5	23.3	20.9	14.0	5.8	7.0	0.0
	300～999人 (n＝122)	1.6	3.3	18.0	25.4	29.5	12.3	5.7	4.1	0.0
	1,000～2,999人 (n＝103)	4.9	8.7	20.4	27.2	22.3	5.8	7.8	2.9	0.0
	3,000人以上 (n＝135)	3.7	7.4	21.5	25.9	30.4	4.4	4.4	0.7	1.5

【図12.2】入社予定企業から内定を獲得した月：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

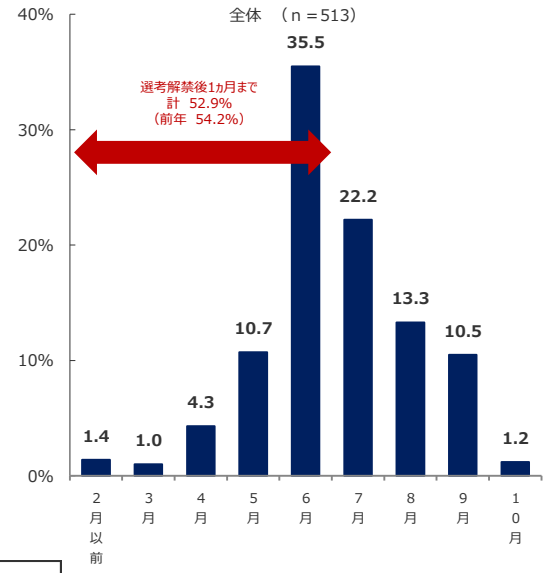
		2月以前 (%)	3月 (%)	4月 (%)	5月 (%)	6月 (%)	7月 (%)	8月 (%)	9月 (%)	10月 (%)
2018年卒 10月1日調査 全体 (n＝576)		**1.6**	**3.0**	**8.7**	**15.6**	**36.8**	**14.9**	**10.1**	**8.2**	**1.2**
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体 (n＝526)		0.8	1.5	7.2	16.9	39.2	18.4	8.7	7.2	0.0
男女別	男性 (n＝248)	1.2	3.6	11.3	14.5	36.3	13.7	10.5	6.9	2.0
	女性 (n＝328)	1.8	2.4	6.7	16.5	37.2	15.9	9.8	9.1	0.6
文理別	文系 (n＝420)	1.2	3.1	7.4	14.8	34.5	16.9	11.2	9.3	1.7
	理系 (n＝156)	2.6	2.6	12.2	17.9	42.9	9.6	7.1	5.1	0.0
入社予定企業の従業員規模別	299人以下 (n＝172)	1.7	5.8	7.6	17.4	26.7	16.3	11.0	12.8	0.6
	300～999人 (n＝122)	0.8	1.6	5.7	15.6	36.9	23.0	9.8	6.6	0.0
	1,000～2,999人 (n＝103)	1.9	1.0	13.6	17.5	35.0	12.6	10.7	6.8	1.0
	3,000人以上 (n＝135)	0.7	1.5	8.9	11.9	56.3	9.6	6.7	3.0	1.5

さらに、「　1　就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生に、「就職活動を終了した時期」を聞いた。結果は、「6月」が35.5%で回答が集中していた。それ以前の時期も合わせると、52.9%の学生が選考活動解禁後1ヵ月の6月末までに就職活動を終了していたことが見て取れる。入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模が大きくなるほど、就職活動を「6月」に終了させたという学生の割合が概ね高い傾向があり、特に「3,000人以上」の企業に入社予定の学生では54.8%と高い（図12.3）。

入社予定企業から内定を獲得した月と就職活動を終了した月は、ともに「6月」がピークとなっている。大企業ほど選考解禁時期の6月を意識して内定出しをしている傾向があることや、6割以上の学生が複数内定を獲得している状況を踏まえると（P8　参照）、学生が早期から内定を保持しつつ大企業の選考結果を受けて就職活動の終了を判断している様子がうかがえる。

また、選考活動解禁前に最初の内定を獲得していた学生の割合は前年よりも高くなっている。一方、就職活動を終了した月を見ると、選考活動解禁1ヵ月までに就職活動を終了させた学生の割合は前年から微減となっていた。2017年卒学生に比べて、比較的順調な進捗だった2018年卒学生は、内定を獲得した後も、“もっと良い企業があるのではないか”と、就職活動を続けていたようだ。

【図12.3】就職活動を終了した月：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

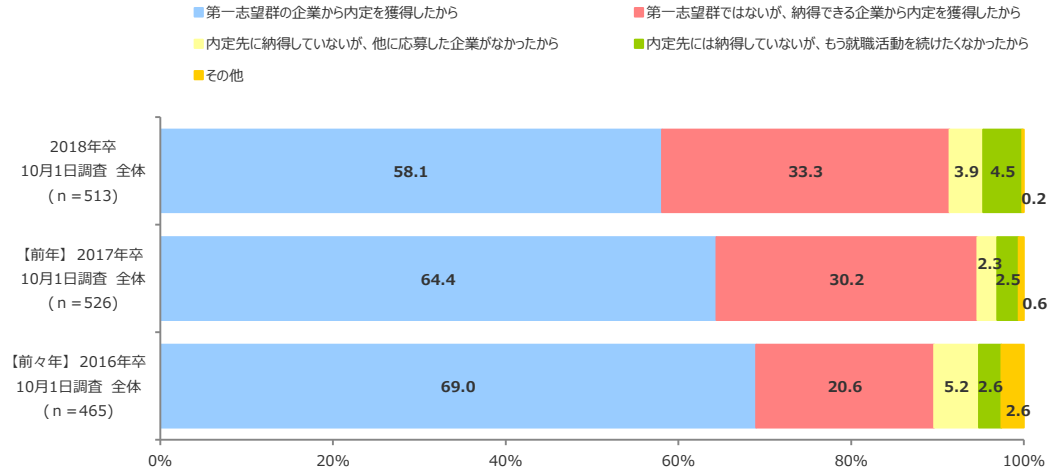
		2月以前 (%)	3月 (%)	4月 (%)	5月 (%)	6月 (%)	7月 (%)	8月 (%)	9月 (%)	10月 (%)
2018年卒 10月1日調査　全体 (n＝513)		**1.4**	**1.0**	**4.3**	**10.7**	**35.5**	**22.2**	**13.3**	**10.5**	**1.2**
【前年】2017年卒 10月1日調査　全体 (n＝526)		0.2	0.8	3.4	10.3	39.5	20.5	12.7	11.0	1.5
男女別	男性 (n＝213)	0.9	1.4	6.1	10.3	36.2	22.5	12.7	8.5	1.4
	女性 (n＝300)	1.7	0.7	3.0	11.0	35.0	22.0	13.7	12.0	1.0
文理別	文系 (n＝368)	1.1	0.8	2.7	10.3	32.6	23.4	14.4	13.3	1.4
	理系 (n＝145)	2.1	1.4	8.3	11.7	42.8	19.3	10.3	3.4	0.7
入社予定企業の従業員規模別	299人以下 (n＝145)	2.1	1.4	4.1	11.7	26.2	20.0	16.6	15.9	2.1
	300～999人 (n＝113)	0.9	1.8	1.8	10.6	34.5	26.5	16.8	7.1	0.0
	1,000～2,999人 (n＝95)	1.1	0.0	5.3	10.5	31.6	26.3	9.5	14.7	1.1
	3,000人以上 (n＝126)	0.0	0.0	6.3	7.9	54.8	16.7	9.5	4.0	0.8

13　就職活動終了理由

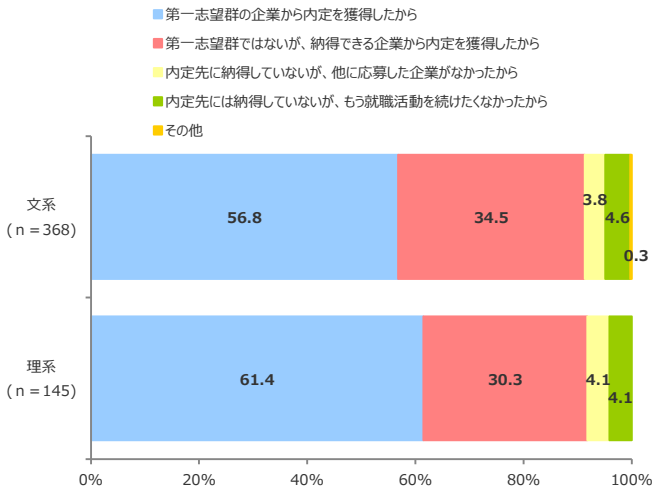
「　1　就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生に、就職活動を終了した理由を聞いた。最も多かった理由は、「第一志望群の企業から内定を獲得したから」で58.1%となった。前々年調査では69.0%、前年調査では64.4%と、最多回答ではあるもののその割合は年々低下している。次点は「第一志望群ではないが、納得できる企業から内定を獲得したから」が33.3%で、こちらは年々増加していた。2018年卒学生は、合わせると91.4%の学生が納得して就職活動を終了している。第一志望群ではなくても納得できたとする学生の割合は増えており、納得感のレベルは以前とは若干異なっているようだ（図13.1）。

属性別に見ると、文理別では理系の方が「第一志望群の企業から内定を獲得したから」の割合が高い（図13.2）。また、入社予定企業の従業員規模別に見ると、「3,000人以上」の規模の企業に入社予定の学生は、「第一志望群の企業から内定を獲得したから」が71.4%となり、他の規模の企業に入社予定の学生よりも大幅に高くなっている（図13.3）。

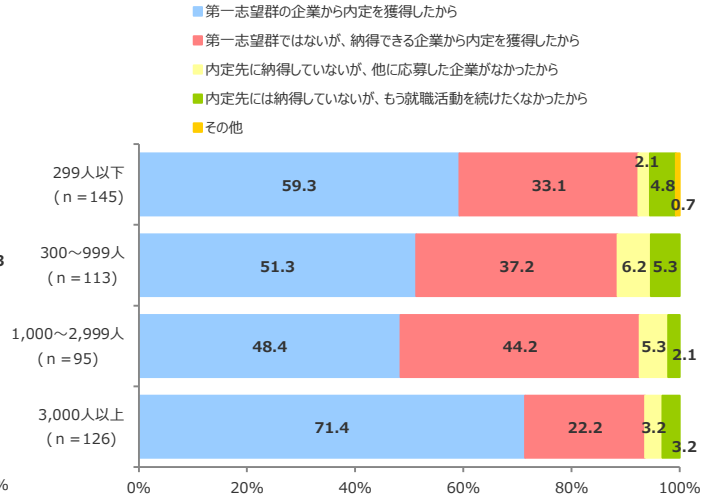
【図13.1】就職活動を終了した理由：前年調査、前々年調査との比較



【図13.2】就職活動を終了した理由：文理別



【図13.3】就職活動を終了した理由：入社予定企業の従業員規模別

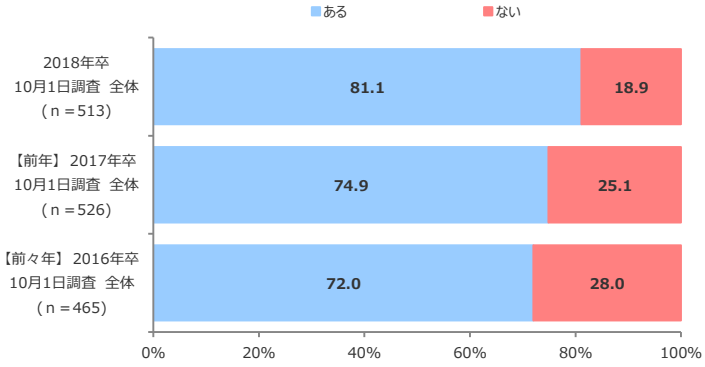


内定ブルーの実態

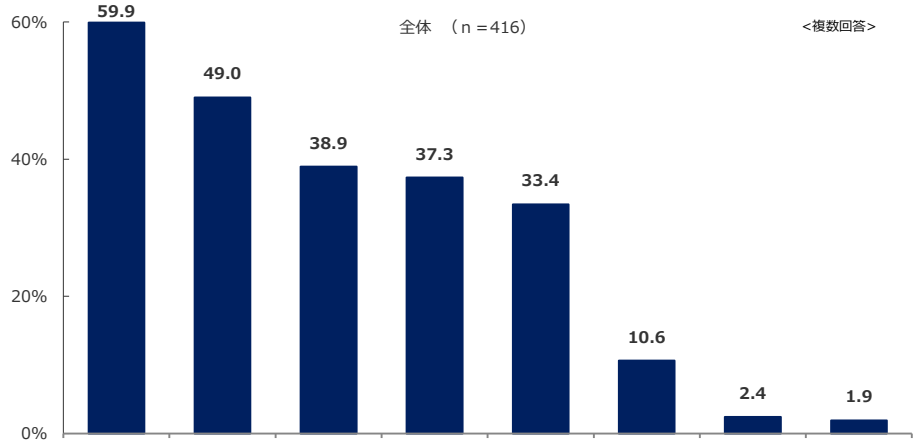
「　1　就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生に、入社予定企業を決定した後に不安や憂鬱な気分（内定ブルー）になったことはあるか聞いた。「ある」と回答した学生は81.1%に上り、年々増加している（図14.1）。

「ある」と回答した学生の具体的な内容を見ると、「自分は社会人としてやっていけるのか」が59.9%で突出して高くなっていた。「入社予定企業の同期や社員とうまくやっていけるのか」（49.0%）、「社会人にはなりたくない」（37.3%）は、前々年と比較すると大幅に増加しており、就職活動が順調だったためか、自身の未熟さや能力について不安に感じる面もあるようだ（図14.2）。

【図14.1】入社予定企業を決定した後に不安や憂鬱な気分になったことはあるか：前年調査、前々年調査との比較



【図14.2】内定ブルーの内容：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

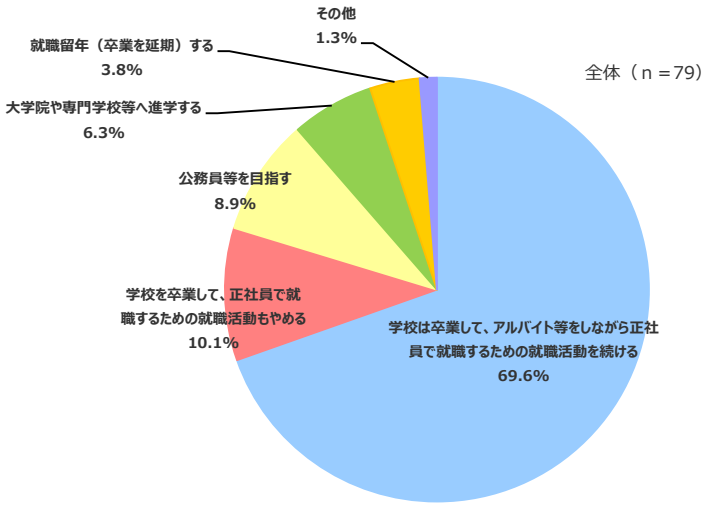
		自分は社会人としてやっていけるのか (%)	入社予定企業の同期や社員とうまくやっていけるのか (%)	入社予定企業の求める力が本当に自分にあるのか (%)	社会人にはなりたくない (%)	もっと他によい企業があるのではないか (%)	入社予定企業に対する家族や周囲の評価・評判が悪かった (%)	志望企業ではなかったので、入社したくない (%)	その他 (%)	平均回答個数 (個)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝416）		**59.9**	**49.0**	**38.9**	**37.3**	**33.4**	**10.6**	**2.4**	**1.9**	***2.3***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝394）		53.8	48.7	37.3	29.9	33.2	9.6	3.8	2.0	*2.2*
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体（n＝335）		46.6	34.6	36.4	15.2	46.6	9.9	9.0	1.8	*2.0*
男女別	男性 (n＝161)	59.0	42.9	42.2	30.4	29.8	6.8	2.5	1.9	*2.2*
	女性 (n＝255)	60.4	52.9	36.9	41.6	35.7	12.9	2.4	2.0	*2.5*
文理別	文系 (n＝306)	57.2	48.0	37.6	39.9	35.6	12.1	2.9	1.3	*2.4*
	理系 (n＝110)	67.3	51.8	42.7	30.0	27.3	6.4	0.9	3.6	*2.3*
入社予定企業の従業員規模別	299人以下 (n＝112)	55.4	51.8	36.6	33.9	38.4	7.1	0.9	3.6	*2.3*
	300～999人 (n＝99)	64.6	50.5	41.4	37.4	33.3	10.1	2.0	1.0	*2.4*
	1,000～2,999人 (n＝82)	59.8	47.6	39.0	43.9	40.2	12.2	1.2	1.2	*2.5*
	3,000人以上 (n＝98)	59.2	49.0	40.8	31.6	25.5	14.3	5.1	1.0	*2.3*

15　内定を獲得できなかった場合の進路

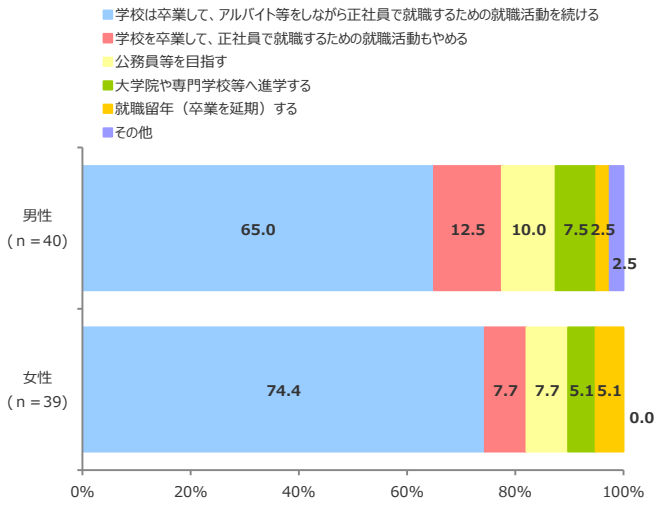
内定未獲得学生に対して、内定が獲得できなかった場合の進路をどのように考えているか聞いた。結果は、「学校は卒業して、アルバイト等をしながら正社員で就職するための就職活動を続ける」が69.6%を占めた（図15.1）。

男女別に見ると、男性は女性よりも「学校は卒業して、アルバイト等をしながら正社員で就職するための就職活動を続ける」の割合が9.4ポイント低かった。その分、「学校を卒業して、正社員で就職するための就職活動もやめる」「公務員等を目指す」「大学院や専門学校等へ進学する」 の回答割合が高くなっている（図15.2）。
文理別に見ると、理系は文系に比べて「学校は卒業して、アルバイト等をしながら正社員で就職するための就職活動を続ける」の割合が大幅に低く、22.4ポイント差となっている。反面、「学校を卒業して、正社員で就職するための就職活動もやめる」「大学院や専門学校等へ進学する」 「就職留年（卒業を延期）する」の回答割合は文系よりも高く、進路選択にも幅が見られる（図15.3）。

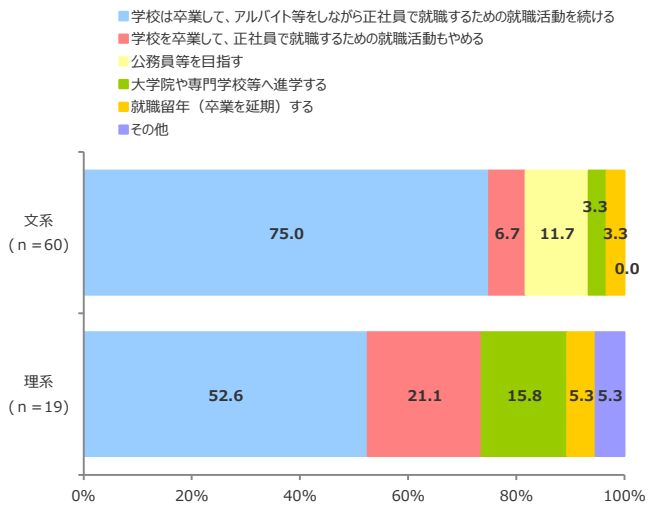
【図15.1】内定が獲得できなかった場合の進路をどのように考えているか



【図15.2】内定が獲得できなかった場合の進路をどのように考えているか
：男女別



【図15.3】内定が獲得できなかった場合の進路をどのように考えているか
：文理別

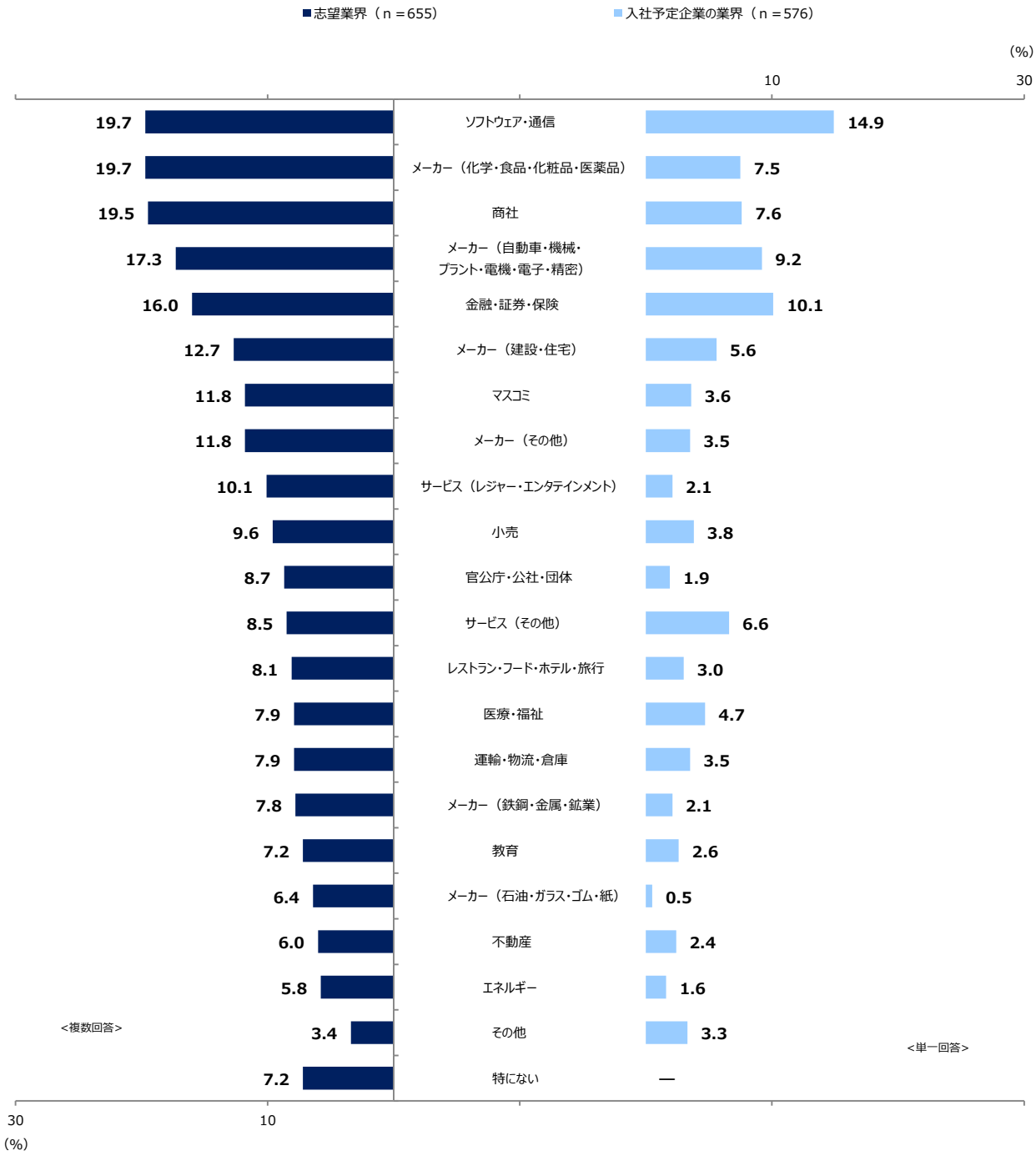


志望業界・入社予定企業の業界

学生に、10月1日時点の志望業界について聞くと、「ソフトウェア・通信」と「メーカー（化学・食品・化粧品・医薬品）」がともに19.7%で最多となった。次いで、「商社」19.5%、「メーカー（自動車・機械・プラント・電機・電子・精密）」17.3%、「金融・証券・保険」16.0%となっている。

また、「 2 内定獲得状況」において、10月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業の業界を聞いた。結果は、「ソフトウェア・通信」14.9%、「金融・証券・保険」10.1% 、「メーカー（自動車・機械・プラント・電機・電子・精密）」9.2%の順だった。志望業界で上位に挙がっていた「メーカー（化学・食品・化粧品・医薬品）」「商社」 は、競争率が高いのか回答割合は落ちている（図16）。

【図16】志望している業界はどこか／入社予定企業の業界はどこか

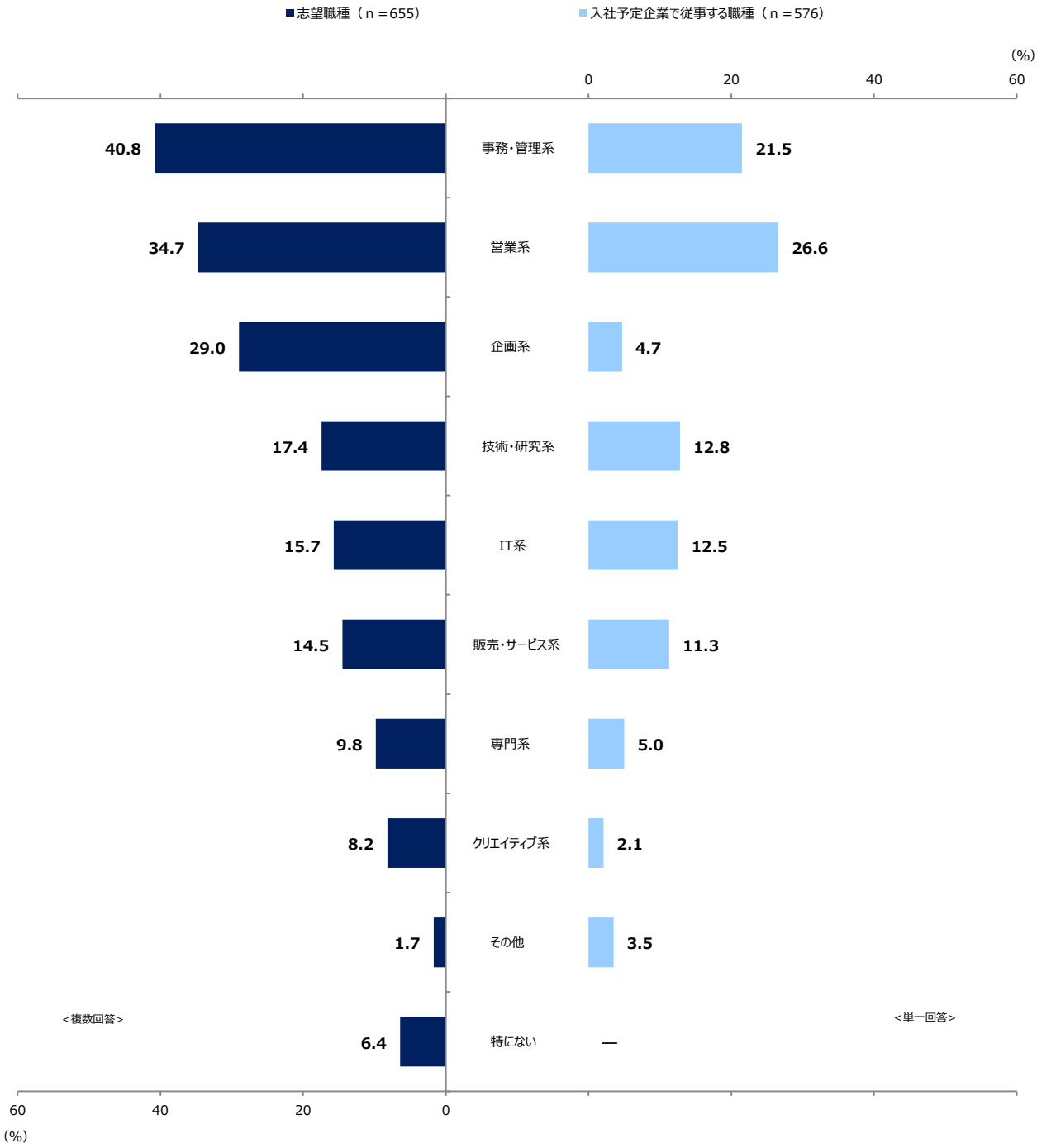


17

志望職種・入社予定企業の職種

学生に、10月1日時点の志望職種について聞くと、「事務・管理系」が40.8%と最も多く、続いて「営業系」34.7%、「企画系」29.0%、「技術・研究系」17.4%の順となった。
また、「　2　内定獲得状況」において、10月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業で従事する職種を聞いた。結果は、「営業系」が最多となり26.6%、「事務・管理系」21.5% 、「技術・研究系」12.8%となっている（図17）。

【図17】志望している職種は何か／入社予定企業で従事する職種は何か

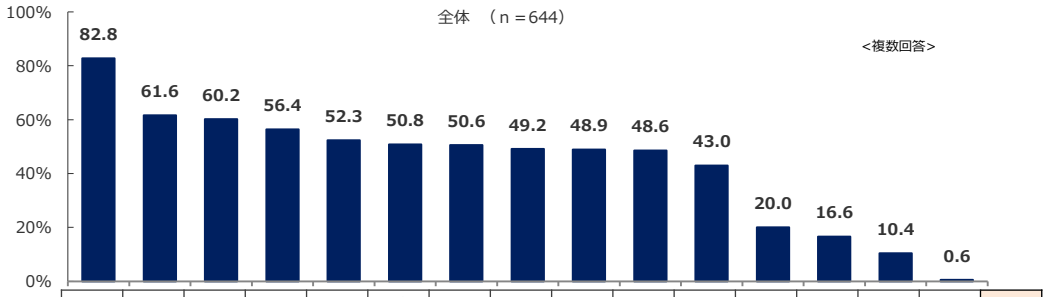


就職活動の準備・対策

「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、就職活動にあたって準備・対策に取り組んだものを聞いた。「就活ナビサイトへの登録」が82.8%で突出して高い。次いで「自己分析」61.6%、「個別企業の説明会・セミナーへの参加」60.2%の順となっている。前年調査と比較すると、平均回答個数は少なくなり、準備・対策にかける活動量はやや少ないようだ。

属性別に見ると、男性よりも女性、理系よりも文系、「内定なし」の学生よりも「内定あり」の学生、また複数内定を獲得している学生の方が平均回答個数が多く、様々な準備・対策を行なっていたことがわかる。
「インターンシップ」に参加した学生の割合は、入社予定企業の従業員規模が1,000人以上の学生で6割超と高くなる。選考活動解禁より前（5月以前）に最初の内定を獲得していた学生や、選考解禁の6月末までに就職活動を終了した学生など、比較的順調に活動を行なっていたと思われる学生は、「インターンシップ」に取り組んだ割合が高くなっていた（図18）。

【図18】就職活動の準備・対策：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		就活ナビサイトへの登録 (%)	自己分析 (%)	個別企業の説明会・セミナーへの参加 (%)	企業・業界研究 (%)	インターンシップ (%)	面接（グループワークやグループディスカッションも含む）対策 (%)	学校・キャリアセンターの就職ガイダンス・セミナーへの参加 (%)	エントリーシート対策 (%)	複数企業合同の説明会・セミナーへの参加 (%)	SPI等の適性検査対策 (%)	筆記試験（学力や一般常識を問うもの）対策 (%)	OB・OG訪問 (%)	ビジネスマナー (%)	英語・その他語学対策 (%)	その他 (%)	平均回答個数 (個)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝644）		**82.8**	**61.6**	**60.2**	**56.4**	**52.3**	**50.8**	**50.6**	**49.2**	**48.9**	**48.6**	**43.0**	**20.0**	**16.6**	**10.4**	**0.6**	***6.5***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝659）		83.3	66.2	61.5	58.6	54.5	51.6	50.5	53.7	52.7	65.6	53.0	15.8	20.8	10.8	0.3	*7.0*
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体（n＝364）		85.6	68.9	62.0	58.9	49.7	53.3	55.7	51.4	51.6	52.6	48.1	18.2	18.9	8.4	—	*6.8*
男女別	男性（n＝280）	82.1	54.3	50.4	51.4	47.9	42.5	40.4	45.0	39.6	36.1	31.8	19.6	13.9	10.4	0.7	*5.7*
	女性（n＝364）	83.2	67.3	67.9	60.2	55.8	57.1	58.5	52.5	56.0	58.2	51.6	20.3	18.7	10.4	0.5	*7.2*
文理別	文系（n＝475）	84.0	64.2	61.3	56.4	53.3	52.0	55.4	50.9	51.6	49.7	45.5	20.8	19.6	10.1	0.6	*6.8*
	理系（n＝169）	79.3	54.4	57.4	56.2	49.7	47.3	37.3	44.4	41.4	45.6	36.1	17.8	8.3	11.2	0.6	*5.9*
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	83.2	63.0	61.1	58.2	54.5	53.0	51.0	51.4	49.5	51.0	44.3	21.4	16.5	10.9	0.5	*6.7*
	内定なし（n＝68）	79.4	50.0	52.9	41.2	33.8	32.4	47.1	30.9	44.1	27.9	32.4	8.8	17.6	5.9	1.5	*5.1*
内定獲得社数別	1社（n＝207）	81.2	55.6	55.1	47.8	41.1	49.3	48.3	45.4	44.9	43.5	37.7	15.5	17.9	8.2	1.4	*5.9*
	2社（n＝167）	85.0	71.3	64.7	68.3	56.9	57.5	57.5	53.3	52.1	56.3	49.1	19.8	15.6	12.6	0.0	*7.2*
	3社以上（n＝202）	83.7	63.9	64.4	60.4	66.3	53.0	48.5	55.9	52.0	54.5	47.0	28.7	15.8	12.4	0.0	*7.1*
入社予定企業の従業員規模別	299人以下（n＝172）	82.0	62.8	54.7	54.1	51.7	52.9	47.7	52.3	46.5	47.7	42.4	16.9	19.2	8.7	0.6	*6.4*
	300～999人（n＝122）	83.6	63.1	62.3	60.7	50.0	54.1	58.2	57.4	53.3	57.4	53.3	19.7	18.0	13.1	0.0	*7.0*
	1,000～2,999人（n＝103）	81.6	69.9	67.0	59.2	61.2	56.3	50.5	50.5	50.5	51.5	47.6	18.4	14.6	12.6	0.0	*6.9*
	3,000人以上（n＝135）	88.1	64.4	68.1	66.7	63.0	54.1	50.4	51.9	52.6	56.3	43.0	35.6	15.6	12.6	0.7	*7.2*
最初の内定を獲得した月別	解禁日前（5月以前）（n＝312）	81.1	64.4	59.3	58.0	59.0	51.6	45.5	50.3	46.2	50.0	43.3	21.2	16.3	12.5	1.0	*6.6*
	解禁日後（6月以降）（n＝264）	85.6	61.4	63.3	58.3	49.2	54.5	57.6	52.7	53.4	52.3	45.5	21.6	16.7	9.1	0.0	*6.8*
就職活動を終了した月別	6月以前（n＝271）	83.8	62.4	57.6	57.2	57.9	47.2	46.5	46.5	45.4	49.4	39.5	21.8	13.3	12.9	0.7	*6.4*
	7月以降（n＝242）	84.3	65.7	66.5	64.5	52.9	59.5	57.4	57.4	54.1	54.5	51.2	21.9	18.6	8.7	0.4	*7.2*

19

就職活動の準備・対策を始めた時期

「　18　就職活動の準備・対策」で回答したものについて、取り組み始めた時期を聞いた。概ね、広報活動解禁の「2017年3月」やその前月の「2017年2月」に取り組み始めた学生が多い。「就活ナビサイトへの登録」は、インターンシップ情報などを盛り込んだ就活ナビサイトがあるためか「2016年6月」が最多となっている。また、「インターンシップ」は「2016年8月」が最も多くなっている（表19）。

【表19】就職活動の準備・対策を始めた時期：前年調査との比較

n=30以上で
項目内で1位
項目内で2位
項目内で3位

（%）

		前年											当年									
		3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12月以前	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
就活ナビサイトへの登録	**2018年卒（n＝533）**	**16.7**	**4.7**	**4.1**	**23.6**	**3.9**	**3.2**	**3.0**	**6.2**	**5.3**	**4.7**	**75.4**	**2.1**	**5.8**	**15.0**	**0.8**	**0.4**	**0.4**	**0.0**	**0.0**	**0.0**	**0.2**
	2017年卒（n＝549）	16.2	2.9	5.1	22.8	4.4	4.4	4.9	6.4	2.7	6.9	76.7	3.1	5.8	12.0	1.5	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	—
自己分析	**2018年卒（n＝397）**	**9.1**	**3.8**	**2.3**	**4.3**	**3.5**	**4.3**	**3.0**	**5.3**	**6.0**	**10.1**	**51.6**	**11.6**	**12.6**	**15.4**	**4.8**	**2.3**	**1.0**	**0.5**	**0.3**	**0.0**	**0.0**
	2017年卒（n＝436）	11.9	1.6	1.4	2.8	1.6	3.0	4.6	6.9	6.7	11.5	52.0	9.4	12.8	18.1	4.4	2.3	0.5	0.5	0.0	0.2	—
個別企業の説明会・セミナーへの参加	**2018年卒（n＝388）**	**6.2**	**3.6**	**1.3**	**2.3**	**0.5**	**2.6**	**2.1**	**4.1**	**2.8**	**4.1**	**29.6**	**4.4**	**10.8**	**44.8**	**5.2**	**2.8**	**0.3**	**0.8**	**0.5**	**0.5**	**0.3**
	2017年卒（n＝405）	8.9	2.5	0.5	0.5	0.2	1.2	0.5	3.0	1.0	4.9	23.2	7.9	10.6	47.2	7.7	2.0	0.5	0.7	0.0	0.2	—
企業・業界研究	**2018年卒（n＝363）**	**8.8**	**3.9**	**0.3**	**4.1**	**3.3**	**4.7**	**5.0**	**7.4**	**6.1**	**7.7**	**51.2**	**9.4**	**14.6**	**20.1**	**1.9**	**1.4**	**0.3**	**0.3**	**0.6**	**0.3**	**0.0**
	2017年卒（n＝386）	10.6	1.8	1.3	2.6	1.3	2.8	3.4	6.5	4.1	9.8	44.2	10.1	15.0	23.1	3.9	2.1	0.3	0.8	0.3	0.3	—
インターンシップ	**2018年卒（n＝337）**	**10.1**	**0.6**	**1.5**	**10.4**	**8.3**	**31.5**	**6.2**	**5.9**	**3.9**	**5.9**	**84.3**	**3.6**	**8.6**	**2.7**	**0.0**	**0.3**	**0.6**	**0.0**	**0.0**	**0.0**	**0.0**
	2017年卒（n＝359）	12.9	1.4	0.8	5.8	7.5	27.6	9.2	4.5	3.3	7.5	80.5	3.1	11.7	2.5	0.6	0.6	0.6	0.3	0.3	0.0	—
面接（グループワークやグループディスカッションも含む）対策	**2018年卒（n＝327）**	**6.1**	**3.7**	**1.2**	**2.4**	**2.1**	**2.1**	**1.8**	**3.7**	**3.4**	**7.0**	**33.6**	**8.0**	**16.8**	**22.0**	**11.3**	**5.5**	**1.8**	**0.9**	**0.0**	**0.0**	**0.0**
	2017年卒（n＝340）	7.0	2.4	0.9	2.9	1.2	2.6	1.8	4.4	3.2	6.8	33.2	8.8	14.1	21.8	11.5	6.5	2.1	1.2	0.3	0.6	—
学校・キャリアセンターの就職ガイダンス・セミナーへの参加	**2018年卒（n＝326）**	**14.7**	**8.3**	**4.0**	**9.8**	**2.5**	**2.5**	**4.9**	**10.1**	**6.1**	**7.4**	**70.2**	**3.1**	**9.2**	**12.3**	**3.1**	**1.2**	**0.3**	**0.3**	**0.3**	**0.0**	**0.0**
	2017年卒（n＝333）	12.6	5.1	4.8	10.8	3.0	2.4	4.2	11.4	5.7	6.3	66.3	3.3	6.6	18.6	2.1	0.9	0.3	0.9	0.3	0.6	—
エントリーシート対策	**2018年卒（n＝317）**	**6.9**	**4.1**	**2.2**	**2.5**	**2.2**	**1.3**	**1.9**	**7.9**	**6.0**	**7.6**	**42.6**	**10.1**	**20.5**	**18.6**	**4.1**	**1.9**	**0.9**	**0.3**	**0.6**	**0.3**	**0.0**
	2017年卒（n＝354）	9.1	2.3	0.8	2.0	1.4	1.1	2.3	4.8	5.4	9.6	38.8	9.9	17.8	23.4	5.4	2.0	1.1	0.8	0.0	0.8	—
複数企業合同の説明会・セミナーへの参加	**2018年卒（n＝315）**	**8.9**	**1.6**	**2.5**	**4.4**	**2.9**	**2.9**	**1.6**	**6.0**	**5.4**	**4.4**	**40.6**	**4.1**	**13.7**	**37.1**	**2.9**	**1.0**	**0.3**	**0.0**	**0.0**	**0.3**	**0.0**
	2017年卒（n＝347）	10.6	0.6	0.6	3.5	1.7	1.4	1.2	5.2	4.9	8.9	38.6	4.3	8.9	41.5	3.2	2.9	0.0	0.3	0.3	0.0	—
SPI等の適性検査対策	**2018年卒（n＝313）**	**8.3**	**5.1**	**1.9**	**4.2**	**1.3**	**5.1**	**2.9**	**8.3**	**5.4**	**9.9**	**52.4**	**9.6**	**13.7**	**16.3**	**5.1**	**1.6**	**0.6**	**0.3**	**0.3**	**0.0**	**0.0**
	2017年卒（n＝432）	11.1	2.1	1.2	1.6	2.3	4.2	5.1	6.3	5.6	10.6	50.1	10.0	13.2	19.4	4.6	1.9	0.7	0.2	0.0	0.0	—
筆記試験（学力や一般常識を問うもの）対策	**2018年卒（n＝277）**	**6.5**	**4.7**	**2.2**	**3.6**	**3.6**	**3.6**	**3.2**	**7.9**	**6.1**	**10.5**	**52.0**	**8.7**	**12.3**	**18.1**	**4.0**	**2.2**	**1.1**	**0.0**	**0.7**	**0.7**	**0.4**
	2017年卒（n＝349）	10.1	3.2	2.0	3.2	2.0	4.0	4.6	5.2	4.9	11.5	50.7	8.6	12.0	18.6	6.3	2.3	1.1	0.6	0.0	0.0	—
OB・OG訪問	**2018年卒（n＝129）**	**6.2**	**0.8**	**3.1**	**1.6**	**2.3**	**1.6**	**3.9**	**7.0**	**3.1**	**3.9**	**33.3**	**3.9**	**17.1**	**24.0**	**11.6**	**7.8**	**0.8**	**0.8**	**0.0**	**0.0**	**0.8**
	2017年卒（n＝104）	7.7	2.9	1.9	1.0	1.9	3.8	1.9	2.9	1.9	11.5	37.4	5.8	13.5	22.1	11.5	4.8	2.9	0.0	1.9	0.0	—
ビジネスマナー	**2018年卒（n＝107）**	**15.0**	**1.9**	**1.9**	**6.5**	**4.7**	**9.3**	**1.9**	**10.3**	**4.7**	**12.1**	**68.2**	**4.7**	**11.2**	**12.1**	**3.7**	**0.0**	**0.0**	**0.0**	**0.0**	**0.0**	**0.0**
	2017年卒（n＝137）	10.2	2.9	2.9	2.9	2.9	4.4	1.5	7.3	2.9	13.9	51.8	6.6	12.4	16.8	6.6	4.4	0.7	0.0	0.7	0.0	—
英語・その他語学対策	**2018年卒（n＝67）**	**26.9**	**3.0**	**3.0**	**3.0**	**6.0**	**6.0**	**6.0**	**6.0**	**7.5**	**6.0**	**73.1**	**11.9**	**7.5**	**3.0**	**1.5**	**0.0**	**0.0**	**0.0**	**3.0**	**0.0**	**0.0**
	2017年卒（n＝74）	33.8	2.8	1.4	2.8	1.4	7.0	4.2	4.2	4.2	9.9	71.7	5.6	4.2	15.5	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—

※2018年卒は「2016年3月以前」～「2017年10月」まで、
2017年卒は「2015年3月以前」～「2016年9月」までを聴取

20 働く上で大切にしたいもの

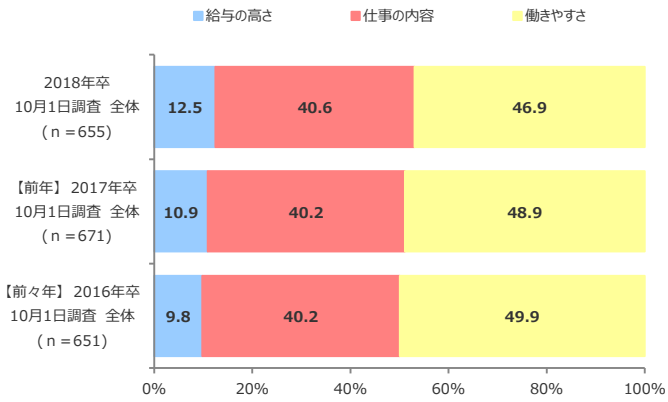
学生に、「給与の高さ」「仕事の内容」「働きやすさ」の3つのうち、働く上で大切にしたいと思うものを1つ挙げてもらった。結果は、「給与の高さ」12.5%、「仕事の内容」40.6%、「働きやすさ」46.9%となり、「働きやすさ」に重きを置きたいと考えている学生が最も多かった。過去調査と比較しても、大きな変化は見られなかった（図20.1）。

男女別に見ると、女性は「働きやすさ」と回答した者の割合が52.6%と高く、男性とは13.0ポイントの差が開いている。一方、男性は、「給与の高さ」が16.3%、「仕事の内容」が44.1%となり、それぞれ女性よりも約6ポイント高くなっていた（図20.2）。

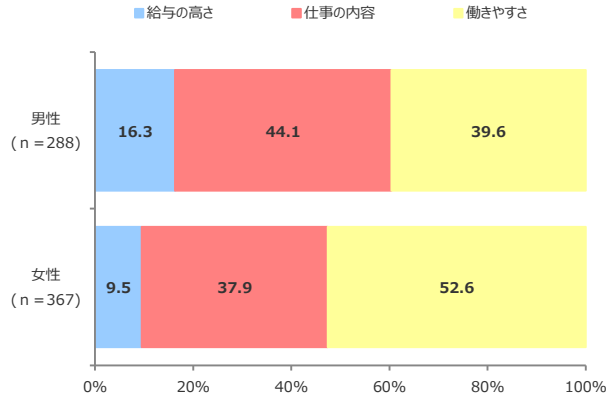
内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生のうち「働きやすさ」に重きを置きたいと考えている学生は45.5%だった。一方、「内定なし」の学生では57.0%と「内定あり」の学生より11.5ポイントも高く、その分、「仕事の内容」に重きを置きたいと考える学生の割合は低くなっている（図20.3）。

企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生は「仕事の内容」が最多となっており、その他の学生に比べて回答割合も高い。また、「給与」の回答割合も、他の学生よりも高くなっていた。一方、「企業の規模は全く意識していない」学生は、「働きやすさ」に重きを置きたいと考えている学生の割合が高く、60.7%を占めていた（図20.4）。

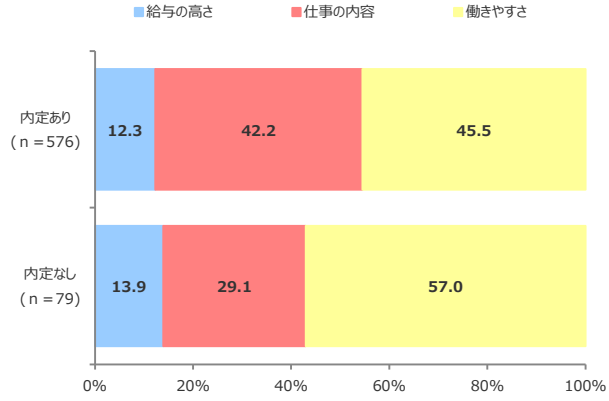
【図20.1】働く上で大切にしたいもの：過去調査との比較



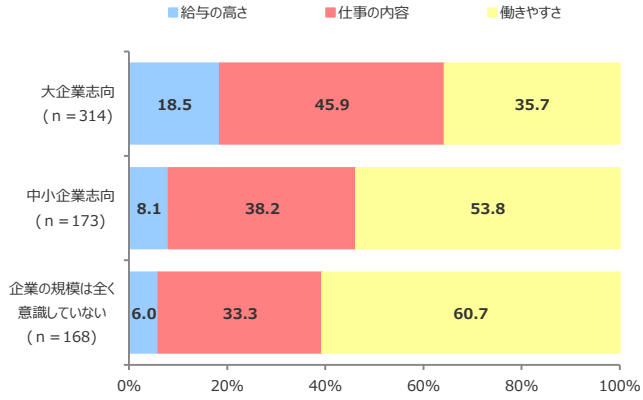
【図20.2】働く上で大切にしたいもの：男女別



【図20.3】働く上で大切にしたいもの：内定獲得状況別



【図20.4】働く上で大切にしたいもの：企業規模に対する志向別

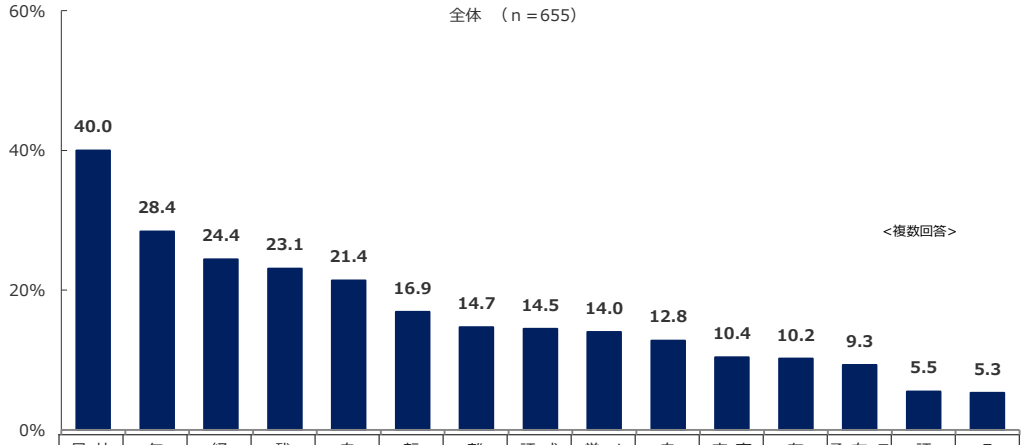


21 “働きやすさ”で重視するもの

学生に、就職活動を行なうにあたり、以下の“働きやすさ”に関する内容についてどれを重視したか、上位3つを回答してもらった。最も回答を集めたのは、「社内の人間関係や風通しが良いこと」で40.0%だった。次いで「年間休日数が多いこと」28.4%、「経営が安定していること」24.4%、「残業時間が少ないこと」23.1%が挙がっている。

男女別に見ると、女性は「育児・介護支援制度が充実していること」「転居を伴う転勤がないこと」において、男性と約10ポイントの差が生じていた。
内定獲得状況別に見ると、「内定なし」の学生は、「残業時間が少ないこと」「年間休日数が多いこと」「ノルマや営業目標等が厳しく課されないこと」の回答割合が「内定あり」学生よりも高くなっており、視点が異なっているようだ。
入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模が大きくなるほど「経営が安定していること」の回答割合が高くなっていた（図21）。

【図21】“働きやすさ”で重視するもの：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

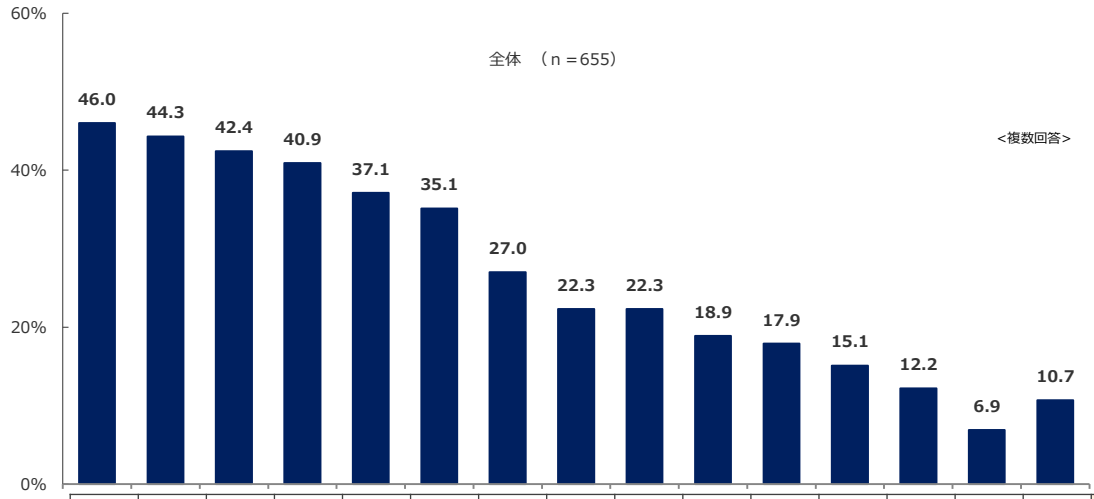
		社内の人間関係や風通しが良いこと (%)	年間休日数が多いこと (%)	経営が安定していること (%)	残業時間が少ないこと (%)	自分の能力が高められること (%)	転居を伴う転勤がないこと (%)	離職率が低いこと (%)	成果が出たら評価してくれること (%)	ノルマや営業目標等が厳しく課されないこと (%)	自宅と勤務先が近いこと (%)	育児・介護支援制度が充実していること (%)	有給休暇取得率が高いこと (%)	フレックスタイム制度や在宅勤務制度など、柔軟な労働時間で働けること (%)	評価の基準が明確なこと (%)	その他 (%)
全体（n＝655）		**40.0**	**28.4**	**24.4**	**23.1**	**21.4**	**16.9**	**14.7**	**14.5**	**14.0**	**12.8**	**10.4**	**10.2**	**9.3**	**5.5**	**5.3**
男女別	男性（n＝288）	35.1	28.5	24.7	22.6	24.3	11.5	18.4	17.4	14.2	9.4	2.8	8.3	8.7	8.3	6.6
	女性（n＝367）	43.9	28.3	24.3	23.4	19.1	21.3	11.7	12.3	13.9	15.5	16.3	11.7	9.8	3.3	4.4
文理別	文系（n＝480）	41.7	30.8	23.3	22.7	21.5	16.9	13.5	14.2	16.5	13.1	11.3	10.8	8.5	5.8	4.2
	理系（n＝175）	35.4	21.7	27.4	24.0	21.1	17.1	17.7	15.4	7.4	12.0	8.0	8.6	11.4	4.6	8.6
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	41.0	27.4	26.0	21.2	22.4	17.4	14.4	14.9	13.4	12.5	10.9	9.9	8.7	5.9	5.4
	内定なし（n＝79）	32.9	35.4	12.7	36.7	13.9	13.9	16.5	11.4	19.0	15.2	6.3	12.7	13.9	2.5	5.1
入社予定企業の従業員規模別	299人以下（n＝172）	36.6	30.2	20.9	23.8	21.5	23.3	9.9	14.5	16.9	15.7	10.5	12.2	7.6	4.7	4.7
	300～999人（n＝122）	45.1	24.6	25.4	15.6	26.2	11.5	15.6	15.6	14.8	15.6	9.8	4.9	9.0	5.7	7.4
	1,000～2,999人（n＝103）	41.7	28.2	30.1	19.4	24.3	23.3	14.6	15.5	14.6	12.6	8.7	5.8	9.7	5.8	1.0
	3,000人以上（n＝135）	42.2	25.9	32.6	24.4	21.5	12.6	20.0	16.3	9.6	4.4	15.6	16.3	10.4	8.9	2.2

22 働きやすい企業だと感じる制度

学生に、以下のどの制度・取り組みがあると“働きやすい企業だ”と思うかを聞いた。最も回答が多かったのは「残業削減の取り組み（残業禁止、ノー残業デイの設定、等）」で46.0%に上った。次いで「有給休暇以外の独自・特別休暇の設定（バースデー休暇、ボランティア休暇、リフレッシュ休暇、等）」44.3%、「女性の育児休業取得率・復帰率が高い」42.4%、「年次有給休暇等の取得推進や柔軟に取得できる制度」40.9%となっており、残業削減や休暇についての制度に“働きやすさ”を感じやすいようだ。

属性別に見ると、男女別では女性の平均回答個数が男性よりも多く、より多くの制度・取り組みを回答している。また「女性の育児休業取得率・復帰率が高い」「女性管理職の有無・登用」「女性の積極採用」など、女性に関する制度・取り組みに敏感である。入社予定企業の従業員規模別に見ると、「3,000人以上」の規模の企業に入社予定の学生は「男性の育休取得など育児参加の推進」の回答割合が49. 6%と高くなっているのが特徴である（図22）。

【図22】働きやすい企業だと感じる制度：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

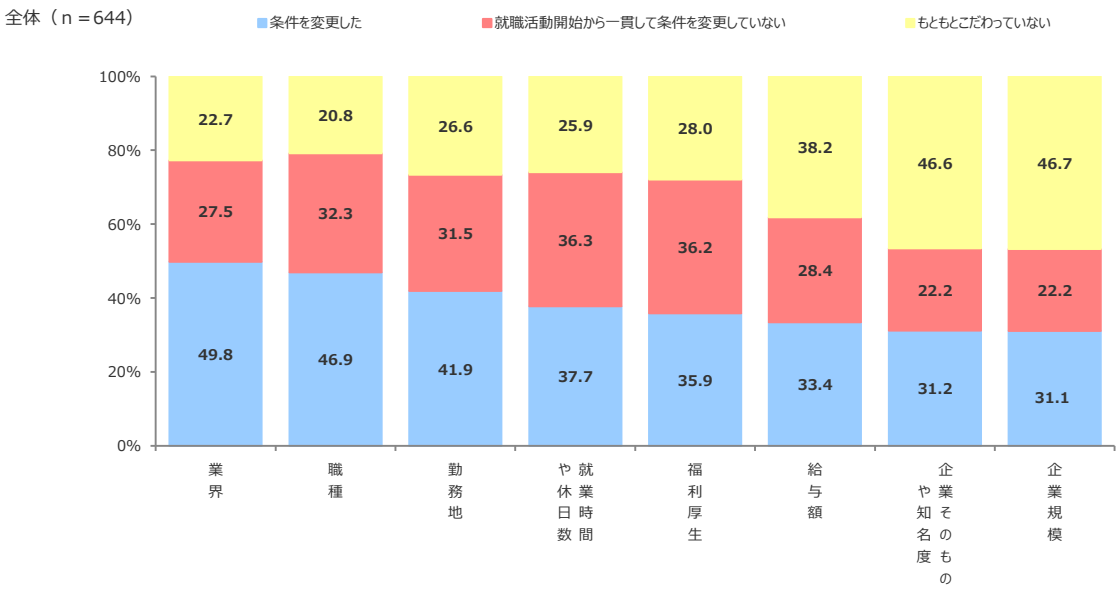
		残業削減の取り組み（残業禁止、ノー残業デイの設定、等）(%)	有給休暇以外の独自・特別休暇の設定（バースデー休暇、ボランティア休暇、リフレッシュ休暇、等）(%)	女性の育児休業取得率・復帰率が高い (%)	年次有給休暇等の取得推進や柔軟に取得できる制度 (%)	男性の育休取得など育児参加の推進 (%)	フレックスタイム制 (%)	退職者（結婚・出産・育児・介護・病気等）の再雇用 (%)	女性管理職の有無・登用 (%)	女性の積極採用 (%)	テレワークや在宅勤務、サテライトオフィスの導入 (%)	勤務間インターバル制度（終業から次の始業までの休息時間（インターバル）を確保することを定める、等）(%)	朝型勤務（始業時間を早くし、その分退社時間を早くするよう促す、等）(%)	女性活躍推進のための部署・チームがある (%)	外国人の積極採用 (%)	あてはまるものはない (%)	平均回答個数 (個)
全体（n＝655）		**46.0**	**44.3**	**42.4**	**40.9**	**37.1**	**35.1**	**27.0**	**22.3**	**22.3**	**18.9**	**17.9**	**15.1**	**12.2**	**6.9**	**10.7**	***3.9***
男女別	男性（n＝288）	41.0	37.5	16.7	34.0	36.5	35.1	22.9	9.0	9.0	17.4	21.2	14.9	8.0	6.3	13.5	*3.1*
	女性（n＝367）	49.9	49.6	62.7	46.3	37.6	35.1	30.2	32.7	32.7	20.2	15.3	15.3	15.5	7.4	8.4	*4.5*
文理別	文系（n＝480）	47.9	45.2	44.4	41.7	36.9	33.8	27.1	23.3	23.1	18.3	17.7	14.0	12.7	7.7	9.8	*3.9*
	理系（n＝175）	40.6	41.7	37.1	38.9	37.7	38.9	26.9	19.4	20.0	20.6	18.3	18.3	10.9	4.6	13.1	*3.7*
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	46.0	45.0	43.9	39.8	37.5	35.2	27.3	22.9	22.7	18.8	16.7	14.4	12.8	6.8	10.6	*3.9*
	内定なし（n＝79）	45.6	39.2	31.6	49.4	34.2	34.2	25.3	17.7	19.0	20.3	26.6	20.3	7.6	7.6	11.4	*3.8*
入社予定企業の従業員規模別	299人以下（n＝172）	43.0	38.4	39.0	37.8	33.1	30.2	25.0	21.5	17.4	13.4	15.7	16.3	13.4	7.6	12.2	*3.5*
	300～999人（n＝122）	48.4	50.0	45.1	41.0	38.5	37.7	29.5	23.8	33.6	20.5	15.6	15.6	15.6	9.0	9.8	*4.2*
	1,000～2,999人（n＝103）	45.6	46.6	47.6	43.7	35.0	39.8	24.3	27.2	26.2	23.3	16.5	20.4	12.6	7.8	2.9	*4.2*
	3,000人以上（n＝135）	50.4	52.6	49.6	41.5	49.6	40.7	31.9	25.2	21.5	23.0	21.5	8.1	13.3	5.2	6.7	*4.3*

23　企業選びのこだわりは変化したか

「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、就職活動を進めていく中で、それまでの希望やこだわっていた条件を広げた、もしくは変更したことはあったか聞いた。結果を見ると、「業界」と「職種」に対する希望やこだわりを変更した学生が多く、それぞれ49.8%、46.9%となった。反対に、「就職活動開始から一貫して条件を変更していない」の回答割合が高かったのは「就業時間や休日数」「福利厚生」となっており、学生のこだわりがうかがえる（図23）。

また、それぞれの項目に対する希望やこだわりを変更した学生に、変更した時期を聞くと、広報活動が解禁される直前の「2月以前」が多い傾向があった。比較的早期から就職活動を行なっている学生がいるためか、希望やこだわりも早くから変化しているようだ。その後は、「4月」「5月」に回答が集中しており、自身の就職活動の進捗具合によって条件を変更していった様子がうかがえる（表23）。

【図23】就職活動を進めていく中で、当初の希望やこだわりを変更した条件



【表23】就職活動を進めていく中で、当初の希望やこだわりを変更した時期

n=30以上で
項目内で1位
項目内で2位
項目内で3位

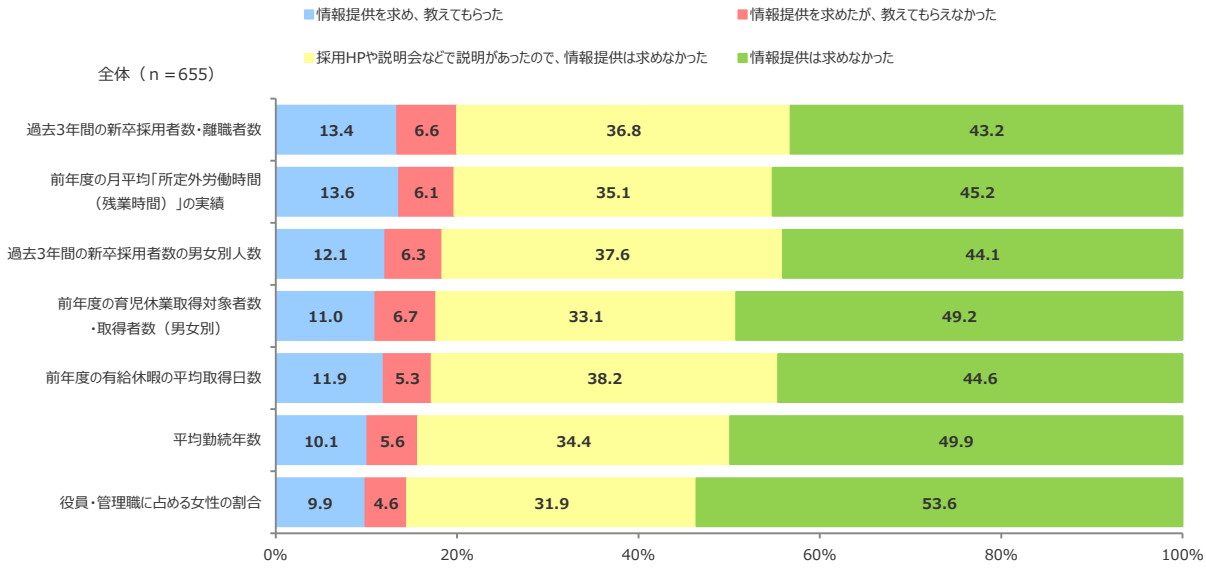
	2月以前 (%)	3月 (%)	4月 (%)	5月 (%)	6月 (%)	7月 (%)	8月 (%)	9月 (%)	10月 (%)
業界（n＝321）	21.2	21.8	17.4	14.0	12.5	5.9	4.4	2.5	0.3
職種（n＝302）	22.2	18.5	14.2	14.6	14.9	8.6	4.6	2.0	0.3
勤務地（n＝270）	23.7	14.1	18.1	16.3	14.1	7.8	3.0	1.9	1.1
就業時間や休日数（n＝243）	20.2	11.9	13.6	18.9	13.6	11.5	5.3	2.9	2.1
福利厚生（n＝231）	21.6	12.6	11.3	19.9	14.7	8.7	7.4	2.2	1.7
給与額（n＝215）	19.1	13.0	16.7	17.7	15.3	9.8	3.3	3.3	1.9
企業そのものや知名度（n＝201）	19.4	13.9	17.4	17.4	13.9	9.0	5.5	2.0	1.5
企業規模（n＝200）	18.5	17.0	19.0	17.0	14.5	6.5	5.0	2.0	0.5

24

若者雇用促進法の影響

2016年に若者雇用促進法が改正されたのを受け、学生に企業側に以下の情報の提供を求めたかを聞いた。「情報提供を求め、教えてもらった」「情報提供を求めたが、教えてもらえなかった」を合わせて、学生が“情報提供を求めた”ものは、多い順に「過去3年間の新卒採用者数・離職者数」「前年度の月平均『所定外労働時間（残業時間）』の実績」「過去3年間の新卒採用者数の男女別人数」となっている。また、「採用HPや説明会などで説明があったので、情報提供は求めなかった」がどの項目も3～4割程度あり、企業側もある程度情報を開示している様子もうかがえた（図24）。

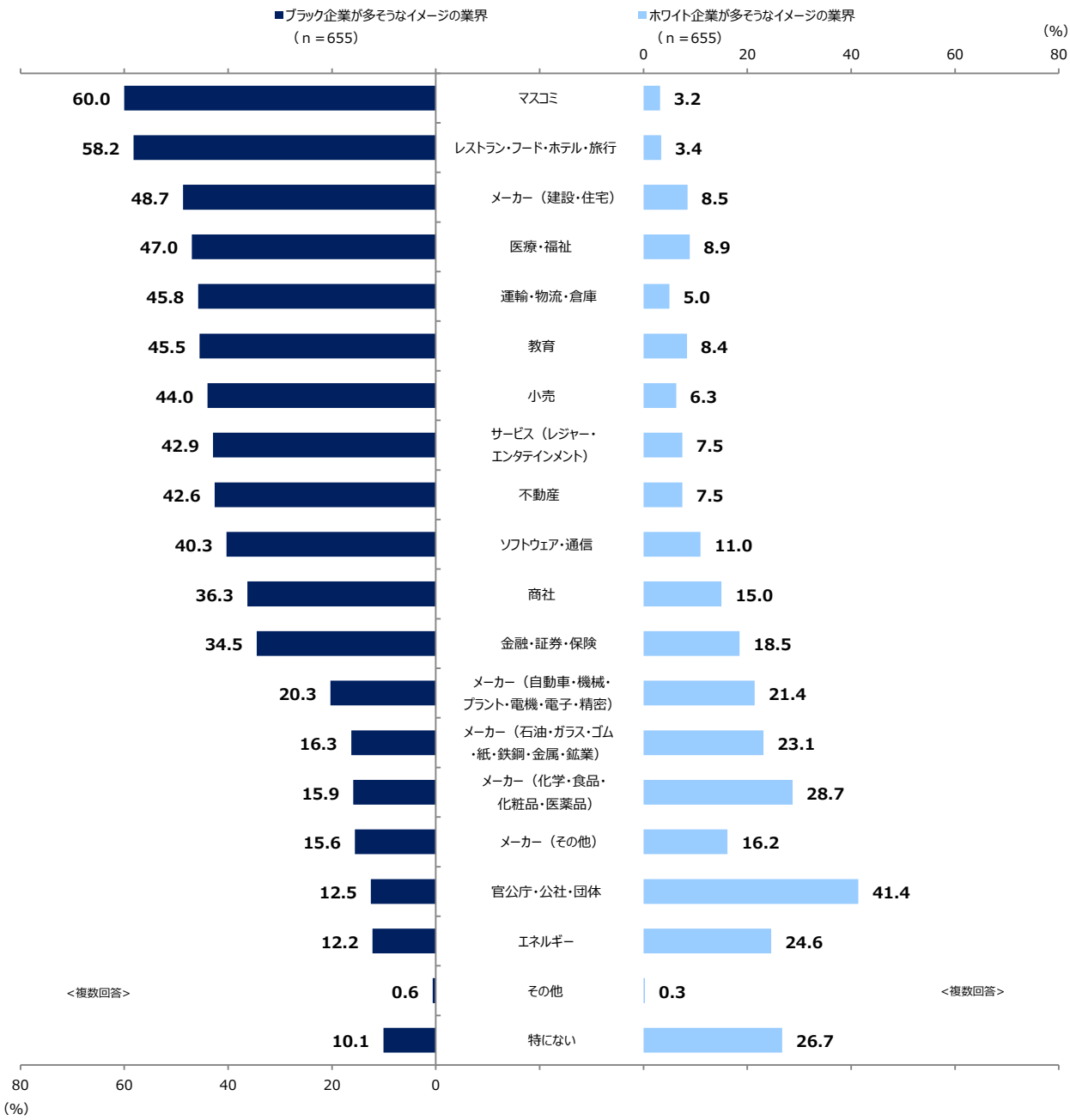
【図24】若者雇用促進法の影響



25 ブラック／ホワイト業界イメージ

学生に、ブラック／ホワイト企業が多そうなイメージの業界について聞いた。
ブラック企業が多そうなイメージの業界は、「マスコミ」60.0%、「レストラン・フード・ホテル・旅行」58.2%が約6割と回答を集めている。
一方、ホワイト企業が多そうなイメージの業界は、「特にない」を除いて回答が多かった順に「官公庁・公社・団体」が41.4%、「メーカー（化学・食品・化粧品・医薬品）」28.7%、「エネルギー」24.6%となっている（図25）。

【図25】ブラック／ホワイト業界のイメージ



26

ブラック／ホワイト業界のイメージのきっかけ

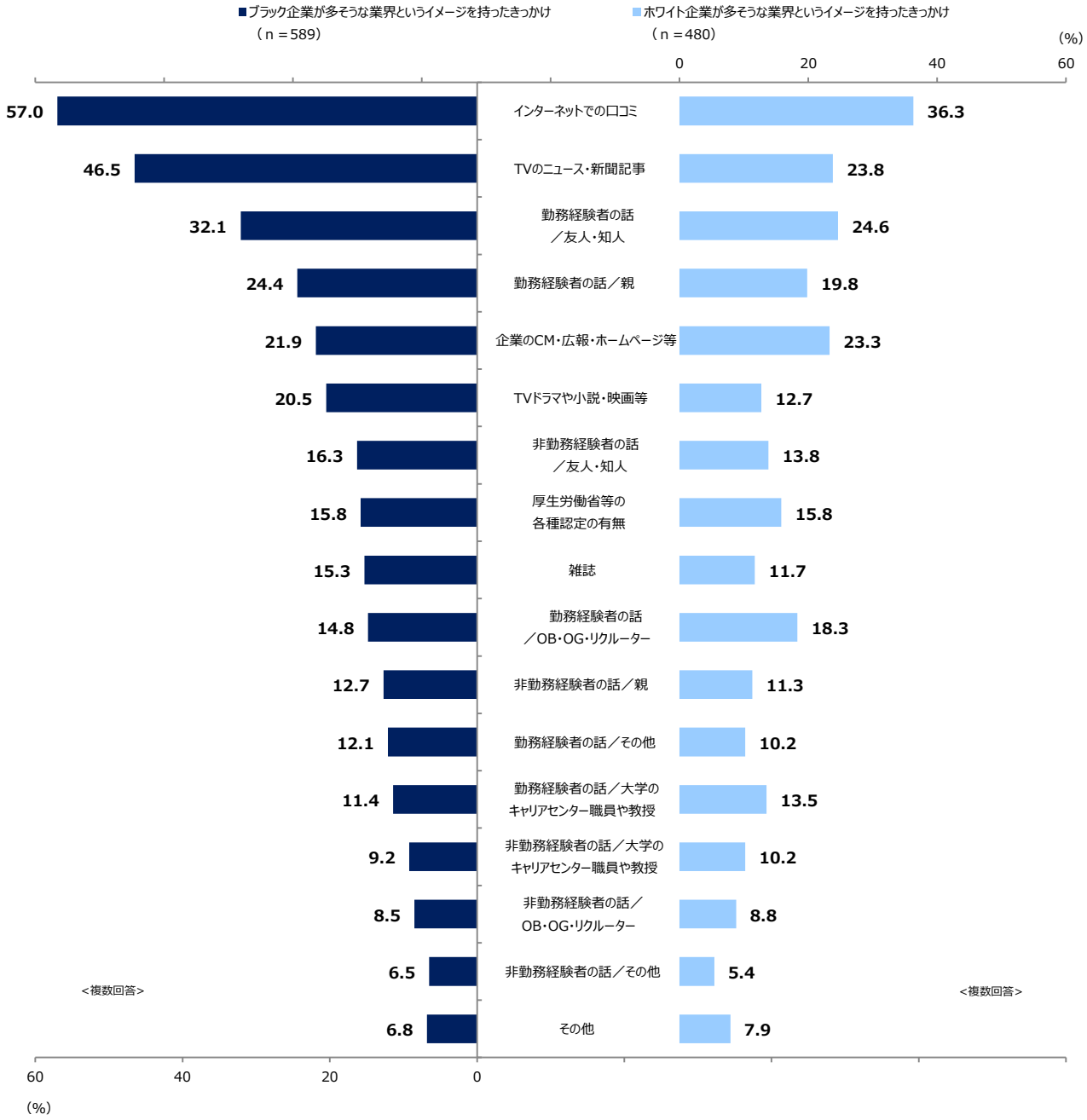
「　25　ブラック／ホワイト業界イメージ」で「特にない」を回答した学生を除いて、それぞれどのようなきっかけでブラック／ホワイト企業が多そうな業界というイメージを持ったのかを聞いた。

ブラック企業が多そうな業界というイメージを持ったきっかけは、「インターネットでの口コミ」が最多で57.0%に上る。以降は、「ＴＶのニュース・新聞記事」46.5%、「勤務経験者の話／友人・知人」32.1%、「勤務経験者の話／親」24.4%となっている。

一方、ホワイト企業が多そうな業界というイメージを持ったきっかけも、「インターネットでの口コミ」が最多で、36.3%だった。次いで「勤務経験者の話／友人・知人」24.6%、「ＴＶのニュース・新聞記事」23.8%、「企業のＣＭ・広報・ホームページ等」23.3%となった。

ブラック企業が多そうな業界というイメージを持ったきっかけは、ホワイト業界のものに比べて、上位項目の回答割合が高い。特に、「インターネットでの口コミ」は突出しており、ネガティブな情報は一気に拡散しやすいことが改めて見て取れる（図26）。

【図26】ブラック／ホワイト業界のイメージのきっかけ

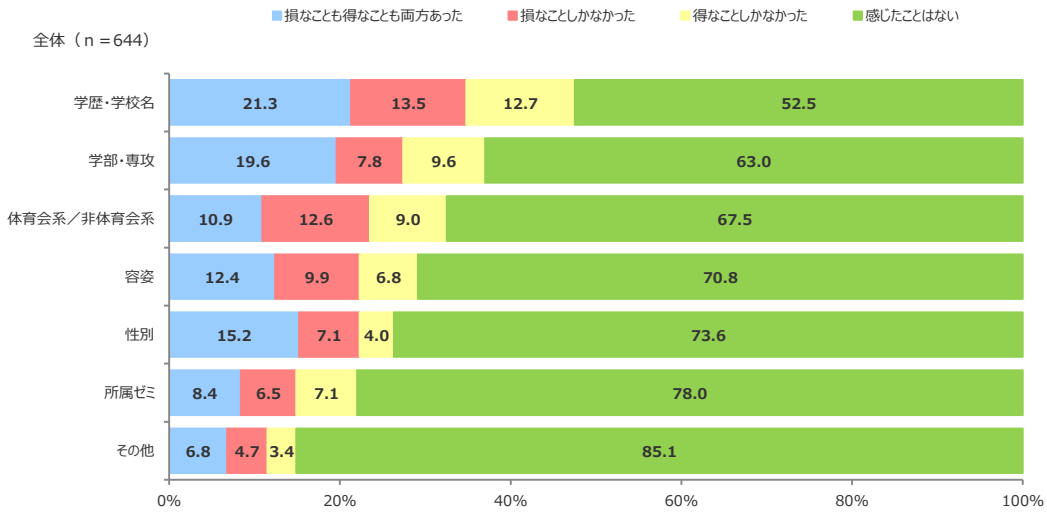


27　就職活動で感じた“フィルター”

「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、企業への応募や選考にあたって、企業側から何かしらの差別を受けたり、企業が何かしらの“フィルター”を設けていると感じたことはあるか聞いた。「損なことも得なことも両方あった」「損なことしかなかった」「得なことしかなかった」を合わせた回答を見ると、上位から「学歴・学校名」47.5%、「学部・専攻」37.0%、「体育会系／非体育会系」32.5%となっている（図27）。

「学歴・学校名」フィルターは、文系では「損なことがあった（「損なことも得なことも両方あった」と「損なことしかなかった」の計、以下同）」が、「得なことがあった（「損なことも得なことも両方あった」と「得なことしかなかった」の計、以下同）」のよりも高く、理系はその反対となっている（表27.1）。
「学部・専攻」フィルターは、「感じたことがある」の割合が理系で高い。「得なことがあった」も、理系の方が高くなっており、自身の専攻が就職活動で強みになっていたと感じる学生もいるようだ（表27.2）。

【図27】就職活動で企業側のフィルターを感じたことがあるか



【表27.1】就職活動で感じた「学歴・学校名」フィルター：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

(%)

		感じたことがある	両方あった（☆）も損なこと（★）も得なこと	損なこと（★）しかなかった	得なこと（☆）しかなかった	感じたことはない	★損なことがあった	☆得なことがあった
全体（n＝644）		47.5	21.3	13.5	12.7	52.5	34.8	34.0
男女別	男性（n＝280）	46.1	22.1	13.9	10.0	53.9	36.1	32.1
	女性（n＝364）	48.6	20.6	13.2	14.8	51.4	33.8	35.4
文理別	文系（n＝475）	47.6	21.7	14.3	11.6	52.4	36.0	33.3
	理系（n＝169）	47.3	20.1	11.2	16.0	52.7	31.4	36.1
状況別 内定獲得	内定あり（n＝576）	48.6	21.9	13.2	13.5	51.4	35.1	35.4
	内定なし（n＝68）	38.2	16.2	16.2	5.9	61.8	32.4	22.1

【表27.2】就職活動で感じた「学部・専攻」フィルター：属性別

n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

(%)

		感じたことがある	両方あった（☆）も損なこと（★）も得なこと	損なこと（★）しかなかった	得なこと（☆）しかなかった	感じたことはない	★損なことがあった	☆得なことがあった
全体（n＝644）		37.0	19.6	7.8	9.6	63.0	27.3	29.2
男女別	男性（n＝280）	35.7	20.0	7.1	8.6	64.3	27.1	28.6
	女性（n＝364）	37.9	19.2	8.2	10.4	62.1	27.5	29.7
文理別	文系（n＝475）	35.2	20.0	8.0	7.2	64.8	28.0	27.2
	理系（n＝169）	42.0	18.3	7.1	16.6	58.0	25.4	34.9
状況別 内定獲得	内定あり（n＝576）	37.8	20.1	7.3	10.4	62.2	27.4	30.6
	内定なし（n＝68）	29.4	14.7	11.8	2.9	70.6	26.5	17.6

「体育会系／非体育会系」フィルターは、理系は「感じたことはない」の割合が高く、あまり影響がなかったようだ。一方、「内定なし」の学生では「損なことがあった」の割合が高く、不利に感じる場面があったことがうかがえる（表27.3）。

「容姿」フィルターは、「内定なし」の学生で「感じたことがある」や「損なことがあった」の割合が高くなっており、容姿へのコンプレックスが垣間見える（表27.4）。

「性別」フィルターは、女性では「感じたことがある」が29.9%に上る。「損なことがあった」「得なことがあった」はそれぞれ男性より回答割合が高く、良くも悪くも性別を意識する場面が男性よりも多かったようだ（表27.5）。

「所属ゼミ」フィルターは、「内定なし」の学生で「損なことしかなかった」「損なことがあった」の割合が高くなっている（表27.6）。

【表27.3】就職活動で感じた「体育会系／非体育会系」フィルター：属性別

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

(%)

		感じたことがある	両方あった	損なこと（★）も得なこと（☆）も	損なこと（★）しかなかった	得なこと（☆）しかなかった	感じたことはない	★損なことがあった	☆得なことがあった
全体（n＝644）		32.5	10.9	12.6	9.0	67.5	23.4	19.9
男女別	男性（n＝280）	35.7	13.9	13.6	8.2	64.3	27.5	22.1
	女性（n＝364）	29.9	8.5	11.8	9.6	70.1	20.3	18.1
文理別	文系（n＝475）	34.9	11.4	14.1	9.5	65.1	25.5	20.8
	理系（n＝169）	25.4	9.5	8.3	7.7	74.6	17.8	17.2
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	31.9	10.8	11.5	9.7	68.1	22.2	20.5
	内定なし（n＝68）	36.8	11.8	22.1	2.9	63.2	33.8	14.7

【表27.4】就職活動で感じた「容姿」フィルター：属性別

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

(%)

		感じたことがある	両方あった	損なこと（★）も得なこと（☆）も	損なこと（★）しかなかった	得なこと（☆）しかなかった	感じたことはない	★損なことがあった	☆得なことがあった
全体（n＝644）		29.2	12.4	9.9	6.8	70.8	22.4	19.3
男女別	男性（n＝280）	27.9	12.1	10.4	5.4	72.1	22.5	17.5
	女性（n＝364）	30.2	12.6	9.6	8.0	69.8	22.3	20.6
文理別	文系（n＝475）	32.4	14.5	10.3	7.6	67.6	24.8	22.1
	理系（n＝169）	20.1	6.5	8.9	4.7	79.9	15.4	11.2
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	28.3	12.2	9.0	7.1	71.7	21.2	19.3
	内定なし（n＝68）	36.8	14.7	17.6	4.4	63.2	32.4	19.1

【表27.5】就職活動で感じた「性別」フィルター：属性別

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

(%)

		感じたことがある	両方あった	損なこと（★）も得なこと（☆）も	損なこと（★）しかなかった	得なこと（☆）しかなかった	感じたことはない	★損なことがあった	☆得なことがあった
全体（n＝644）		26.4	15.2	7.1	4.0	73.6	22.4	19.3
男女別	男性（n＝280）	21.8	12.9	6.8	2.1	78.2	19.6	15.0
	女性（n＝364）	29.9	17.0	7.4	5.5	70.1	24.5	22.5
文理別	文系（n＝475）	26.9	15.8	7.2	4.0	73.1	22.9	19.8
	理系（n＝169）	24.9	13.6	7.1	4.1	75.1	20.7	17.8
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	26.6	15.6	6.8	4.2	73.4	22.4	19.8
	内定なし（n＝68）	25.0	11.8	10.3	2.9	75.0	22.1	14.7

【表27.6】就職活動で感じた「所属ゼミ」フィルター：属性別

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

(%)

		感じたことがある	両方あった	損なこと（★）も得なこと（☆）も	損なこと（★）しかなかった	得なこと（☆）しかなかった	感じたことはない	★損なことがあった	☆得なことがあった
全体（n＝644）		22.0	8.4	6.5	7.1	78.0	14.9	15.5
男女別	男性（n＝280）	23.2	8.6	7.5	7.1	76.8	16.1	15.7
	女性（n＝364）	21.2	8.2	5.8	7.1	78.8	14.0	15.4
文理別	文系（n＝475）	22.1	8.8	6.5	6.7	77.9	15.4	15.6
	理系（n＝169）	21.9	7.1	6.5	8.3	78.1	13.6	15.4
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	21.9	8.5	5.7	7.6	78.1	14.2	16.1
	内定なし（n＝68）	23.5	7.4	13.2	2.9	76.5	20.6	10.3

企業のネガティブなフィルターを感じた場面

「　27　就職活動で感じた“フィルター”」において「損なことも得なことも両方あった」または「損なことしかなかった」と回答した学生に、どのような場面で企業側のネガティブなフィルターを感じたのかを聞いた。

「学歴・学校名」は、「書類選考時」に感じた学生が42.4%で最も多い。次点は「面接選考時」となっている。理系では、「採用選考へのエントリー・応募時」にも感じた学生の割合が高い。

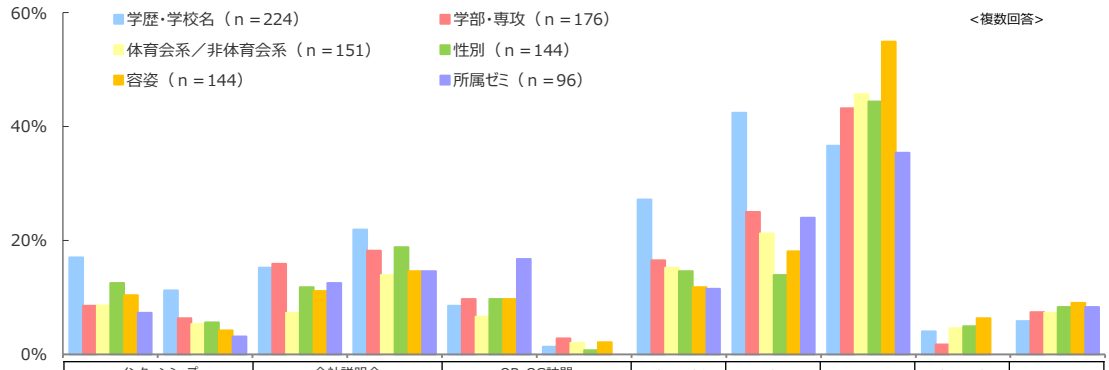
「学部・専攻」フィルターと「体育会系／非体育会系」フィルターは、「面接選考時」に感じた学生が多い。特に、女性ではその割合は高くなっている。

「性別」フィルターも、「面接選考時」が最多回答となっている。また、男性は「会社説明会応募時」にフィルターを感じている割合が、女性よりも大幅に高くなっていた。

「容姿」フィルターは、やはり企業側と対面する「面接選考時」に感じた学生が最も多く、特に女性では64.2%に上っている。

「所属ゼミ」フィルターは、「面接選考時」に感じた学生の割合が高い。男性は「会社説明会応募時」「会社説明会参加時」「ＯＢ・ＯＧ訪問申込時」にも感じた学生の割合が高くなっている（図28）。

【図28】企業のネガティブなフィルターを感じた場面：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

			インターンシップ 応募時 (%)	インターンシップ 参加時 (%)	会社説明会 応募時 (%)	会社説明会 参加時 (%)	OB・OG訪問 申込時 (%)	OB・OG訪問 訪問時 (%)	採用選考へのエントリー・応募時 (%)	書類選考時 (%)	面接選考時 (%)	内定者フォロー・内定式時 (%)	その他 (%)
学歴・学校名	全体（n＝224）		**17.0**	**11.2**	**15.2**	**21.9**	**8.5**	**1.3**	**27.2**	**42.4**	**36.6**	**4.0**	**5.8**
	男女別	男性（n＝101）	17.8	10.9	19.8	23.8	10.9	3.0	23.8	40.6	30.7	5.9	5.0
		女性（n＝123）	16.3	11.4	11.4	20.3	6.5	0.0	30.1	43.9	41.5	2.4	6.5
	文理別	文系（n＝171）	17.0	11.7	12.9	23.4	8.8	0.6	25.1	43.3	38.6	3.5	5.8
		理系（n＝53）	17.0	9.4	22.6	17.0	7.5	3.8	34.0	39.6	30.2	5.7	5.7
	内定獲得状況別	内定あり（n＝202）	16.8	11.9	15.8	19.8	8.4	1.5	28.2	43.1	38.1	4.5	5.0
		内定なし（n＝22）	18.2	4.5	9.1	40.9	9.1	0.0	18.2	36.4	22.7	0.0	13.6
学部・専攻	全体（n＝176）		**8.5**	**6.3**	**15.9**	**18.2**	**9.7**	**2.8**	**16.5**	**25.0**	**43.2**	**1.7**	**7.4**
	男女別	男性（n＝76）	10.5	5.3	18.4	18.4	11.8	6.6	11.8	22.4	30.3	3.9	5.3
		女性（n＝100）	7.0	7.0	14.0	18.0	8.0	0.0	20.0	27.0	53.0	0.0	9.0
	文理別	文系（n＝133）	5.3	6.0	12.8	17.3	9.8	3.0	18.0	25.6	44.4	0.8	8.3
		理系（n＝43）	18.6	7.0	25.6	20.9	9.3	2.3	11.6	23.3	39.5	4.7	4.7
	内定獲得状況別	内定あり（n＝158）	8.2	6.3	14.6	17.7	9.5	1.9	16.5	25.9	44.9	1.9	7.6
		内定なし（n＝18）	11.1	5.6	27.8	22.2	11.1	11.1	16.7	16.7	27.8	0.0	5.6
体育会系／非体育会系	全体（n＝151）		**8.6**	**5.3**	**7.3**	**13.9**	**6.6**	**2.0**	**15.2**	**21.2**	**45.7**	**4.6**	**7.3**
	男女別	男性（n＝77）	13.0	5.2	7.8	14.3	10.4	2.6	13.0	15.6	40.3	2.6	6.5
		女性（n＝74）	4.1	5.4	6.8	13.5	2.7	1.4	17.6	27.0	51.4	6.8	8.1
	文理別	文系（n＝121）	8.3	5.8	6.6	15.7	6.6	1.7	14.9	24.8	46.3	5.8	7.4
		理系（n＝30）	10.0	3.3	10.0	6.7	6.7	3.3	16.7	6.7	43.3	0.0	6.7
	内定獲得状況別	内定あり（n＝128）	7.8	4.7	6.3	13.3	5.5	1.6	14.8	18.8	47.7	5.5	8.6
		内定なし（n＝23）	13.0	8.7	13.0	17.4	13.0	4.3	17.4	34.8	34.8	0.0	0.0
性別	全体（n＝144）		**12.5**	**5.6**	**11.8**	**18.8**	**9.7**	**0.7**	**14.6**	**13.9**	**44.4**	**4.9**	**8.3**
	男女別	男性（n＝55）	10.9	3.6	21.8	18.2	12.7	1.8	12.7	12.7	27.3	7.3	9.1
		女性（n＝89）	13.5	6.7	5.6	19.1	7.9	0.0	15.7	14.6	55.1	3.4	7.9
	文理別	文系（n＝109）	11.9	7.3	12.8	15.6	8.3	0.9	17.4	15.6	48.6	4.6	8.3
		理系（n＝35）	14.3	0.0	8.6	28.6	14.3	0.0	5.7	8.6	31.4	5.7	8.6
	内定獲得状況別	内定あり（n＝129）	10.9	6.2	11.6	17.1	6.2	0.8	14.7	14.7	48.1	5.4	9.3
		内定なし（n＝15）	26.7	0.0	13.3	33.3	40.0	0.0	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0
容姿	全体（n＝144）		**10.4**	**4.2**	**11.1**	**14.6**	**9.7**	**2.1**	**11.8**	**18.1**	**54.9**	**6.3**	**9.0**
	男女別	男性（n＝63）	12.7	6.3	14.3	17.5	12.7	3.2	9.5	19.0	42.9	6.3	7.9
		女性（n＝81）	8.6	2.5	8.6	12.3	7.4	1.2	13.6	17.3	64.2	6.2	9.9
	文理別	文系（n＝118）	10.2	4.2	9.3	14.4	9.3	2.5	11.9	18.6	58.5	5.1	8.5
		理系（n＝26）	11.5	3.8	19.2	15.4	11.5	0.0	11.5	15.4	38.5	11.5	11.5
	内定獲得状況別	内定あり（n＝122）	9.8	3.3	8.2	11.5	9.0	2.5	11.5	18.0	59.0	7.4	9.8
		内定なし（n＝22）	13.6	9.1	27.3	31.8	13.6	0.0	13.6	18.2	31.8	0.0	4.5
所属ゼミ	全体（n＝96）		**7.3**	**3.1**	**12.5**	**14.6**	**16.7**	**0.0**	**11.5**	**24.0**	**35.4**	**0.0**	**8.3**
	男女別	男性（n＝45）	11.1	2.2	20.0	20.0	20.0	0.0	6.7	17.8	26.7	0.0	6.7
		女性（n＝51）	3.9	3.9	5.9	9.8	13.7	0.0	15.7	29.4	43.1	0.0	9.8
	文理別	文系（n＝73）	4.1	4.1	12.3	13.7	15.1	0.0	9.6	24.7	39.7	0.0	8.2
		理系（n＝23）	17.4	0.0	13.0	17.4	21.7	0.0	17.4	21.7	21.7	0.0	8.7
	内定獲得状況別	内定あり（n＝82）	8.5	3.7	12.2	8.5	13.4	0.0	11.0	26.8	36.6	0.0	9.8
		内定なし（n＝14）	0.0	0.0	14.3	50.0	35.7	0.0	14.3	7.1	28.6	0.0	0.0

企業のポジティブなフィルターを感じた場面

「　27　就職活動で感じた“フィルター”」において「損なことも得なことも両方あった」または「得なことしかなかった」と回答した学生に、どのような場面で企業側のポジティブなフィルターを感じたのかを聞いた。

「学歴・学校名」は、「面接選考時」44.7%、「書類選考時」42.5%と、選考の場面で感じた学生の割合が高い。

「学部・専攻」フィルターは、「面接選考時」に感じた学生が47.9%と多く、特に女性でその傾向が強い。また、理系は「採用選考へのエントリー・応募時」「書類選考時」など選考の初期段階でも感じる場面があったようだ。

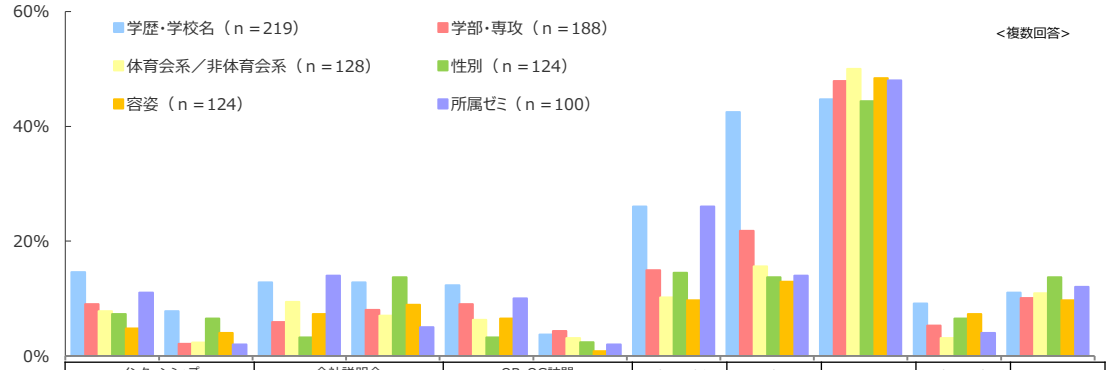
「体育会系／非体育会系」フィルターは、「面接選考時」に感じた学生の割合が高く、50.0%に上る。男性は、「会社説明会応募時」に感じた割合が、女性よりも高くなっていた。

「性別」フィルターも、「面接選考時」が44.4%で最多回答となっている。特に、女性は「面接選考時」「採用選考へのエントリー・応募時」にフィルターを感じている割合が、男性よりも大幅に高くなっていた。

「容姿」フィルターは、「面接選考時」に感じた学生が最も多く48.4%となり、特に女性では56.0%に上っている。

「所属ゼミ」フィルターは、「面接選考時」に感じた学生の割合が48.0%と高い。男性は、「採用選考へのエントリー・応募時」や「会社説明会応募時」も回答割合が高くなっている（図29）。

【図29】企業のポジティブなフィルターを感じた場面：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

			インターンシップ 応募時 (%)	インターンシップ 参加時 (%)	会社説明会 応募時 (%)	会社説明会 参加時 (%)	OB・OG訪問 申込時 (%)	OB・OG訪問 訪問時 (%)	採用選考へのエントリー・応募時 (%)	書類選考時 (%)	面接選考時 (%)	内定者フォロー・内定式時 (%)	その他 (%)
学歴・学校名	全体（n＝219）		**14.6**	**7.8**	**12.8**	**12.8**	**12.3**	**3.7**	**26.0**	**42.5**	**44.7**	**9.1**	**11.0**
	男女別	男性（n＝90）	16.7	7.8	13.3	14.4	18.9	4.4	24.4	33.3	30.0	8.9	12.2
		女性（n＝129）	13.2	7.8	12.4	11.6	7.8	3.1	27.1	48.8	55.0	9.3	10.1
	文理別	文系（n＝158）	15.2	8.9	14.6	13.9	13.9	3.2	25.3	44.3	45.6	9.5	10.8
		理系（n＝61）	13.1	4.9	8.2	9.8	8.2	4.9	27.9	37.7	42.6	8.2	11.5
	内定獲得状況別	内定あり（n＝204）	14.2	8.3	13.2	13.7	12.3	3.4	26.5	43.6	47.1	9.8	10.3
		内定なし（n＝15）	20.0	0.0	6.7	0.0	13.3	6.7	20.0	26.7	13.3	0.0	20.0
学部・専攻	全体（n＝188）		**9.0**	**2.1**	**5.9**	**8.0**	**9.0**	**4.3**	**14.9**	**21.8**	**47.9**	**5.3**	**10.1**
	男女別	男性（n＝80）	12.5	2.5	8.8	12.5	13.8	5.0	13.8	17.5	37.5	5.0	10.0
		女性（n＝108）	6.5	1.9	3.7	4.6	5.6	3.7	15.7	25.0	55.6	5.6	10.2
	文理別	文系（n＝129）	7.8	2.3	6.2	7.0	10.9	4.7	11.6	17.8	45.7	4.7	12.4
		理系（n＝59）	11.9	1.7	5.1	10.2	5.1	3.4	22.0	30.5	52.5	6.8	5.1
	内定獲得状況別	内定あり（n＝176）	8.5	2.3	5.7	6.8	8.5	4.0	15.9	22.7	50.0	5.7	10.2
		内定なし（n＝12）	16.7	0.0	8.3	25.0	16.7	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3
体育会系／非体育会系	全体（n＝128）		**7.8**	**2.3**	**9.4**	**7.0**	**6.3**	**3.1**	**10.2**	**15.6**	**50.0**	**3.1**	**10.9**
	男女別	男性（n＝62）	11.3	1.6	14.5	6.5	8.1	3.2	4.8	11.3	41.9	6.5	11.3
		女性（n＝66）	4.5	3.0	4.5	7.6	4.5	3.0	15.2	19.7	57.6	0.0	10.6
	文理別	文系（n＝99）	9.1	2.0	6.1	9.1	7.1	4.0	8.1	17.2	49.5	4.0	12.1
		理系（n＝29）	3.4	3.4	20.7	0.0	3.4	0.0	17.2	10.3	51.7	0.0	6.9
	内定獲得状況別	内定あり（n＝118）	8.5	1.7	8.5	6.8	5.1	3.4	11.0	15.3	52.5	3.4	11.0
		内定なし（n＝10）	0.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0
性別	全体（n＝124）		**7.3**	**6.5**	**3.2**	**13.7**	**3.2**	**2.4**	**14.5**	**13.7**	**44.4**	**6.5**	**13.7**
	男女別	男性（n＝42）	11.9	4.8	4.8	14.3	4.8	2.4	4.8	11.9	26.2	7.1	14.3
		女性（n＝82）	4.9	7.3	2.4	13.4	2.4	2.4	19.5	14.6	53.7	6.1	13.4
	文理別	文系（n＝94）	4.3	7.4	1.1	13.8	4.3	2.1	13.8	13.8	43.6	6.4	13.8
		理系（n＝30）	16.7	3.3	10.0	13.3	0.0	3.3	16.7	13.3	46.7	6.7	13.3
	内定獲得状況別	内定あり（n＝114）	6.1	6.1	2.6	14.0	2.6	2.6	14.0	12.3	47.4	7.0	14.9
		内定なし（n＝10）	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0
容姿	全体（n＝124）		**4.8**	**4.0**	**7.3**	**8.9**	**6.5**	**0.8**	**9.7**	**12.9**	**48.4**	**7.3**	**9.7**
	男女別	男性（n＝49）	8.2	4.1	12.2	12.2	8.2	2.0	8.2	6.1	36.7	6.1	14.3
		女性（n＝75）	2.7	4.0	4.0	6.7	5.3	0.0	10.7	17.3	56.0	8.0	6.7
	文理別	文系（n＝105）	4.8	3.8	4.8	7.6	6.7	0.0	8.6	13.3	50.5	8.6	9.5
		理系（n＝19）	5.3	5.3	21.1	15.8	5.3	5.3	15.8	10.5	36.8	0.0	10.5
	内定獲得状況別	内定あり（n＝111）	4.5	3.6	7.2	7.2	5.4	0.9	9.9	13.5	51.4	8.1	9.0
		内定なし（n＝13）	7.7	7.7	7.7	23.1	15.4	0.0	7.7	7.7	23.1	0.0	15.4
所属ゼミ	全体（n＝100）		**11.0**	**2.0**	**14.0**	**5.0**	**10.0**	**2.0**	**26.0**	**14.0**	**48.0**	**4.0**	**12.0**
	男女別	男性（n＝44）	13.6	2.3	20.5	9.1	11.4	2.3	31.8	18.2	38.6	2.3	20.5
		女性（n＝56）	8.9	1.8	8.9	1.8	8.9	1.8	21.4	10.7	55.4	5.4	5.4
	文理別	文系（n＝74）	10.8	2.7	10.8	6.8	8.1	2.7	23.0	13.5	50.0	4.1	14.9
		理系（n＝26）	11.5	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	34.6	15.4	42.3	3.8	3.8
	内定獲得状況別	内定あり（n＝93）	11.8	2.2	14.0	5.4	10.8	2.2	25.8	15.1	49.5	4.3	10.8
		内定なし（n＝7）	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6

30 企業に評価されたと思うもの

「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に企業に評価されたと思うものについて聞いた。最も回答を集めたのは、「人柄・性格」で47.2%に上る。次いで、「身だしなみ・立居振る舞い」26.7%、「学生時代に行なった課外活動（サークル・部活動等）」25.5%、「アルバイト経験」25.0%となった。

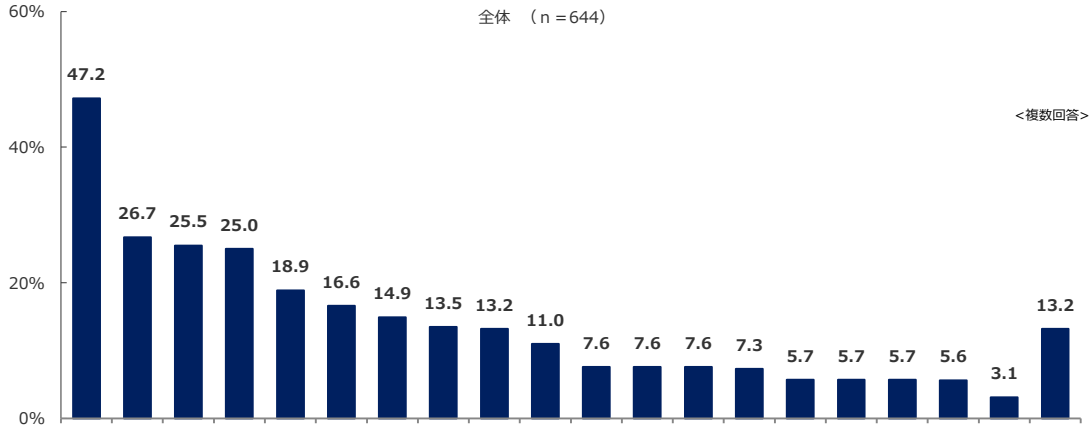
男女別に見ると、女性は男性よりも平均回答個数が多く、評価されたと自信があることがうかがえる。特に、「人柄・性格」については、男性と10ポイント以上の差がついている。

文理別に見ると、理系は文系に比べて「アルバイト経験」「学生時代に行なった課外活動（サークル・部活動等）」は特に回答割合が低くなった。反面、「学生時代に勉強していた内容」「志望動機」は、文系よりも自信を持っている学生の割合が高い。

内定獲得状況別に見ると、「内定なし」の学生は、「わからない」が30.9%と「内定あり」の学生よりも大幅に高い。平均回答個数も少なく、内定を得られない苦悩が滲み出ている。

入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模の大きい企業に入社予定の学生ほど、評価されたと感じるものが多い傾向があった（図30）。

【図30】企業に評価されたと思うもの：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

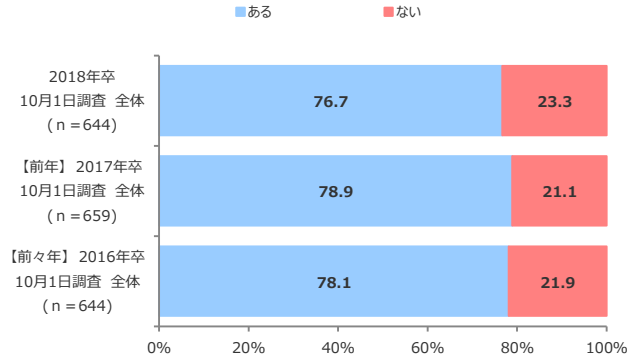
		人柄・性格 (%)	身だしなみ・立居振る舞い (%)	学生時代に行なった課外活動（サークル・部活動等） (%)	アルバイト経験 (%)	学生時代に勉強していた内容 (%)	志望動機 (%)	エントリーシートの内容 (%)	学業成績 (%)	学歴／学校名 (%)	性格検査の結果 (%)	TOEIC・TOEFLの点数 (%)	筆記試験・WEBテストの結果 (%)	留学経験 (%)	SPI等の適性検査の結果 (%)	企業研究の度合 (%)	インターンシップの参加 (%)	業務に必要な資格の取得 (%)	業界研究の度合 (%)	英語以外の語学の習得状況 (%)	わからない (%)	平均回答個数 (個)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝644）		**47.2**	**26.7**	**25.5**	**25.0**	**18.9**	**16.6**	**14.9**	**13.5**	**13.2**	**11.0**	**7.6**	**7.6**	**7.6**	**7.3**	**5.7**	**5.7**	**5.7**	**5.6**	**3.1**	**13.2**	***2.7***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝659）		54.6	26.4	30.8	25.6	20.6	19.6	16.2	14.1	12.9	10.3	8.0	8.2	6.5	5.6	8.6	10.0	5.0	4.9	4.1	11.5	*2.9*
男女別	男性（n＝280）	40.7	24.3	25.7	22.5	19.6	21.4	15.4	12.5	10.7	10.4	7.5	6.4	5.7	6.1	6.1	6.8	7.5	7.5	2.1	15.0	*2.6*
	女性（n＝364）	52.2	28.6	25.3	26.9	18.4	12.9	14.6	14.3	15.1	11.5	7.7	8.5	9.1	8.2	5.5	4.9	4.4	4.1	3.8	11.8	*2.8*
文理別	文系（n＝475）	49.7	28.4	27.4	27.4	15.8	14.7	15.2	13.9	11.6	11.2	8.0	7.6	9.1	7.2	5.3	6.1	4.0	5.9	3.8	12.4	*2.7*
	理系（n＝169）	40.2	21.9	20.1	18.3	27.8	21.9	14.2	12.4	17.8	10.7	6.5	7.7	3.6	7.7	7.1	4.7	10.7	4.7	1.2	15.4	*2.6*
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	50.9	27.8	26.6	25.7	20.1	17.9	15.8	13.7	13.4	11.5	7.6	7.3	7.8	7.8	6.3	5.9	5.7	5.7	2.8	11.1	*2.8*
	内定なし（n＝68）	16.2	17.6	16.2	19.1	8.8	5.9	7.4	11.8	11.8	7.4	7.4	10.3	5.9	2.9	1.5	4.4	5.9	4.4	5.9	30.9	*1.7*
入社予定企業の従業員規模別	299人以下（n＝172）	53.5	28.5	22.7	25.6	18.6	19.8	12.8	14.5	9.9	11.0	4.7	7.0	8.7	4.7	4.7	2.9	5.2	5.2	2.3	12.2	*2.6*
	300～999人（n＝122）	50.8	27.0	32.8	23.8	21.3	14.8	14.8	13.9	11.5	9.8	9.0	6.6	9.0	10.7	4.1	6.6	5.7	5.7	4.1	9.0	*2.8*
	1,000～2,999人（n＝103）	47.6	22.3	25.2	25.2	22.3	17.5	15.5	11.7	11.7	12.6	9.7	6.8	7.8	11.7	7.8	5.8	6.8	5.8	0.0	8.7	*2.7*
	3,000人以上（n＝135）	54.1	32.6	31.1	29.6	22.2	21.5	23.7	14.8	20.7	14.8	10.4	10.4	6.7	7.4	10.4	11.1	5.9	7.4	4.4	5.9	*3.4*

31 就職活動の反省・後悔

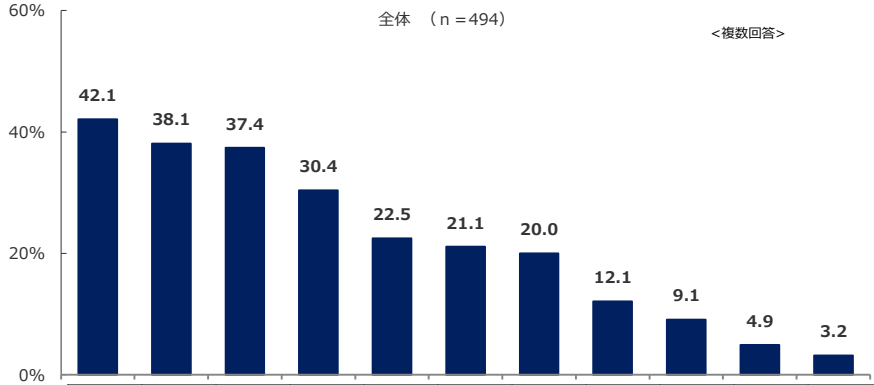
「　1　就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、就職活動における反省・後悔について聞くと、76.7%の学生には何かしらの反省・後悔があったようだ（図31.1）。

「ある」と回答した学生の具体的な内容を見ると、「面接対策が不十分だった」42.1%、「自己分析が不十分だった」38.1%、「企業・業界研究が不十分だった」37.4%が挙がっている。
男女別に見ると、女性は男性よりも業界・職種への固執が反省・後悔として挙がっている。
文理別に見ると、理系は活動時期の遅れやエントリー・応募社数の少なさに反省を感じた学生の割合が文系よりも高かった。
内定獲得状況別に見ると、「内定なし」の学生は「内定あり」の学生に比べて平均回答個数が多い。反省点としては、具体的な選考への対策不足に加え、エントリー・応募社数の少なさを挙げている（図31.2）。

【図31.1】就職活動の反省・後悔：前年調査、前々年調査との比較



【図31.2】就職活動の反省・後悔の内容：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

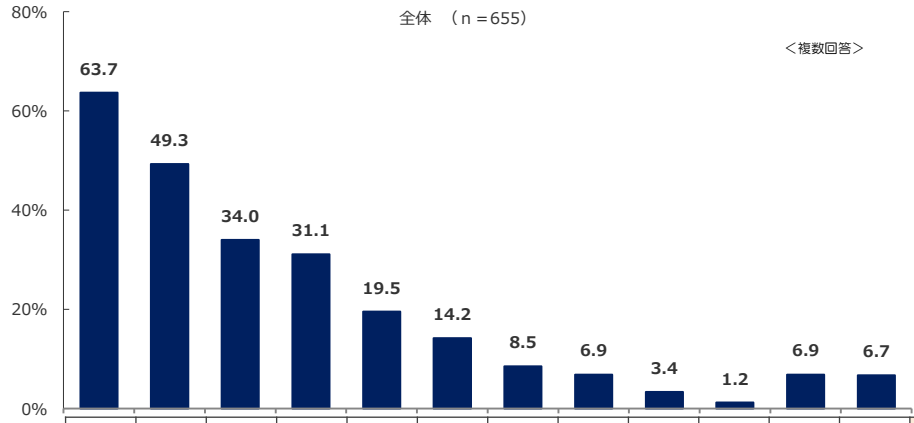
		面接対策が不十分だった (%)	自己分析が不十分だった (%)	企業・業界研究が不十分だった (%)	自PRに活かせる題材が少なかった (%)	就職活動を始める時期が遅かった (%)	希望の【業界】を限定しすぎた (%)	エントリー・応募社数が少なかった (%)	希望の【職種】を限定しすぎた (%)	希望の【業界】を広げすぎた (%)	希望の【職種】を広げすぎた (%)	その他 (%)	平均回答個数 (個)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝494）		**42.1**	**38.1**	**37.4**	**30.4**	**22.5**	**21.1**	**20.0**	**12.1**	**9.1**	**4.9**	**3.2**	***2.4***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝520）		43.3	37.7	38.3	26.9	22.5	22.9	20.0	15.4	8.8	4.6	4.6	*2.5*
【前々年】2016年卒 10月1日調査 全体(n＝503)		47.9	45.1	41.0	26.4	21.3	23.9	22.5	12.3	6.0	3.2	2.4	*2.5*
男女別	男性 (n＝209)	45.0	37.8	34.4	29.2	25.4	18.7	22.5	8.6	9.6	4.3	3.3	*2.4*
	女性 (n＝285)	40.0	38.2	39.6	31.2	20.4	22.8	18.2	14.7	8.8	5.3	3.2	*2.4*
文理別	文系 (n＝379)	42.7	39.1	37.7	31.1	20.6	22.4	18.7	13.5	9.5	5.0	3.2	*2.4*
	理系 (n＝115)	40.0	34.8	36.5	27.8	28.7	16.5	24.3	7.8	7.8	4.3	3.5	*2.3*
内定獲得状況別	内定あり (n＝438)	40.6	37.2	36.8	28.8	20.8	19.9	17.4	11.6	9.6	4.8	3.4	*2.3*
	内定なし (n＝56)	53.6	44.6	42.9	42.9	35.7	30.4	41.1	16.1	5.4	5.4	1.8	*3.2*
入社予定企業の従業員規模別	299人以下 (n＝125)	34.4	39.2	41.6	29.6	18.4	20.8	18.4	14.4	10.4	8.8	4.0	*2.4*
	300～999人 (n＝103)	47.6	37.9	31.1	32.0	20.4	17.5	13.6	7.8	12.6	2.9	1.0	*2.2*
	1,000～2,999人 (n＝86)	37.2	37.2	34.9	27.9	22.1	19.8	20.9	16.3	9.3	2.3	2.3	*2.3*
	3,000人以上 (n＝100)	45.0	36.0	38.0	25.0	21.0	21.0	19.0	8.0	5.0	3.0	6.0	*2.3*

32 就職活動における相談相手

学生に、就職活動に関する相談を誰にしたかを聞いた。全体では、「友人・知人」という回答が多く、63.7%だった。次いで「父親・母親」49.3%、「キャリアセンター職員」34.0%、「先輩」31.1%の順となっている。

男女別で見ると、女性は「友人・知人」や「父親・母親」「キャリアセンター職員」に相談している割合が男性よりも大幅に高い。
内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生の方が「内定なし」の学生よりも平均回答個数が多く、また内定獲得社数が多い学生ほど、より多くの人に相談し、アドバイスを得ている傾向がある。
就職活動を終了した月別に見ると、7月以降に就職活動を終了した学生の方が、平均回答個数が多い。特に、「キャリアセンター職員」や「新卒人材紹介サービスの担当者」でその回答割合が高くなっている（図32）。

【図32】就職活動に関する相談を誰にするか：属性別



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		友人・知人 (%)	父親・母親 (%)	キャリアセンター職員 (%)	先輩 (%)	大学の教授 (%)	新卒人材紹介サービスの担当者 (%)	OB・OG訪問先の社会人 (%)	親族 (%)	就活支援専門塾・予備校の講師 (%)	その他 (%)	誰にも相談しない (%)	就職活動で困った事はない (%)	平均回答個数 (個)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝655）		**63.7**	**49.3**	**34.0**	**31.1**	**19.5**	**14.2**	**8.5**	**6.9**	**3.4**	**1.2**	**6.9**	**6.7**	**2.3**
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝671）		66.8	59.2	42.6	34.1	22.7	17.0	6.9	11.9	3.9	1.6	4.6	6.0	2.7
男女別	男性（n＝288）	57.6	42.0	28.8	30.2	18.1	12.2	8.0	8.7	4.2	0.3	8.3	8.7	2.1
	女性（n＝367）	68.4	55.0	38.1	31.9	20.7	15.8	9.0	5.4	2.7	1.9	5.7	5.2	2.5
文理別	文系（n＝480）	65.6	50.2	35.4	31.3	17.1	15.0	8.1	7.7	3.8	1.7	6.9	5.4	2.4
	理系（n＝175）	58.3	46.9	30.3	30.9	26.3	12.0	9.7	4.6	2.3	0.0	6.9	10.3	2.2
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	65.5	49.5	35.1	34.4	19.6	14.9	9.0	6.9	3.5	1.4	5.9	6.8	2.4
	内定なし（n＝79）	50.6	48.1	26.6	7.6	19.0	8.9	5.1	6.3	2.5	0.0	13.9	6.3	1.7
内定獲得社数別	1社（n＝207）	59.9	47.3	30.4	26.6	18.8	14.0	3.9	7.2	2.9	1.9	7.7	9.7	2.1
	2社（n＝167）	70.7	51.5	37.7	37.1	19.8	14.4	11.4	6.0	4.2	0.0	6.0	3.6	2.5
	3社以上（n＝202）	66.8	50.0	37.6	40.1	20.3	16.3	12.4	7.4	3.5	2.0	4.0	6.4	2.6
入社予定企業の従業員規模別	299人以下（n＝172）	64.5	51.2	37.2	28.5	18.0	16.9	4.7	6.4	3.5	3.5	7.0	4.1	2.3
	300～999人（n＝122）	65.6	46.7	35.2	40.2	18.9	18.0	6.6	7.4	4.1	0.0	6.6	3.3	2.4
	1,000～2,999人（n＝103）	71.8	52.4	34.0	35.9	24.3	13.6	14.6	5.8	3.9	1.9	3.9	5.8	2.6
	3,000人以上（n＝135）	70.4	49.6	29.6	43.0	20.0	11.1	14.8	8.9	2.2	0.0	5.9	7.4	2.5
最初の内定を獲得した月別	解禁日前（5月以前）（n＝312）	65.1	48.1	30.4	36.5	22.4	12.8	9.0	6.7	3.5	1.0	5.4	7.1	2.4
	解禁日後（6月以降）（n＝264）	65.9	51.1	40.5	31.8	16.3	17.4	9.1	7.2	3.4	1.9	6.4	6.4	2.4
就職活動を終了した月別	6月以前（n＝271）	62.7	46.1	30.3	37.6	22.1	8.9	8.5	6.6	3.0	0.4	5.5	8.9	2.3
	7月以降（n＝242）	69.8	52.9	42.1	30.6	18.2	18.6	9.9	6.2	4.1	2.5	6.6	5.0	2.5

33 キャリアセンターの利用状況

学生に、大学のキャリアセンターの利用状況を聞いた。利用したことが「ある」学生は69.0%に上る（図33）。

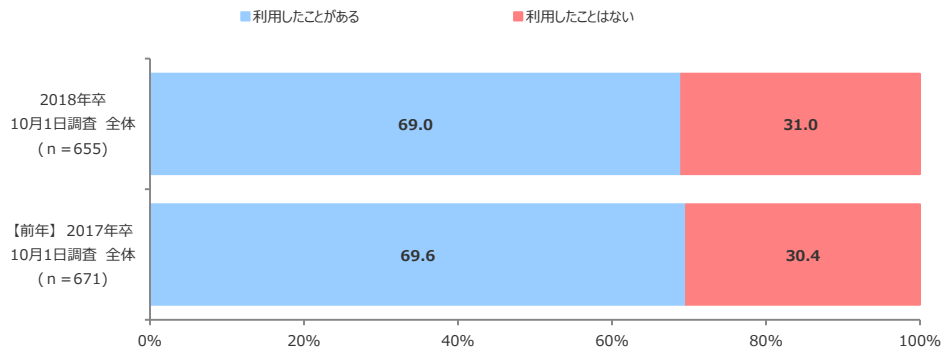
また、キャリアセンターを利用したことが「ある」学生の利用目的は、「エントリーシートや履歴書の添削」が43.6%で最も多くなっていた。

内定獲得状況別に見ると、「内定なし」の学生は、「業界研究や企業研究に関する相談」「ＯＢ・ＯＧ訪問に関する情報収集や相談」「インターンシップの情報収集や相談」「内定辞退やオワハラに関する相談」の割合が、「内定あり」の学生よりも大幅に低く、就職活動初期の準備での相談機会が少なかったことがうかがえる。また、「求人票の閲覧」が35.3%と高く、キャリアセンターを利用して引き続き企業探しをしているようだ。

最初の内定を獲得した月別に見ると、「解禁日後（6月以降）」に最初の内定を獲得した学生は、そうでない学生よりも「求人票の閲覧」の回答割合が高い。

就職活動を終了した月別に見ると、「7月以降」に就職活動を終了した学生は、「6月以前」に終了した学生よりも「求人票の一覧」「就職活動の悩みや愚痴」の回答割合が高くなっていた（表33）。

【図33】キャリアセンター等を利用したことはあるか



【表33】キャリアセンター等を利用した内容：属性別

＜複数回答＞

n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		エントリーシートや履歴書の添削 (%)	就職活動の悩みや愚痴 (%)	自己分析に関する相談 (%)	企業選びに関する相談 (%)	模擬面接等の選考の練習 (%)	就職活動の全体の流れや進め方に関する相談 (%)	求人票の閲覧 (%)	業界研究や企業研究に関する相談 (%)	グループワーク・ディスカッションの練習 (%)	ＯＢ・ＯＧ訪問に関する情報収集や相談 (%)	インターンシップの情報収集や相談 (%)	内定辞退やオワハラに関する相談 (%)	ビジネスマナーや立居振る舞いに関する相談 (%)	適性検査・筆記試験に関する相談 (%)	その他 (%)	平均回答個数 (個)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝452）		**43.6**	**29.2**	**28.8**	**25.0**	**24.6**	**24.3**	**22.3**	**17.0**	**15.0**	**13.7**	**13.7**	**11.1**	**11.1**	**10.6**	**1.5**	***2.9***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝467）		47.3	30.2	25.5	23.6	25.9	23.6	26.6	16.9	17.3	10.1	13.1	12.4	—	11.8	1.1	*2.9*
男女別	男性（n＝188）	37.8	22.3	29.8	29.3	20.2	23.4	26.1	21.8	11.7	10.6	14.4	9.0	12.8	11.2	1.6	*2.8*
	女性（n＝264）	47.7	34.1	28.0	22.0	27.7	25.0	19.7	13.6	17.4	15.9	13.3	12.5	9.8	10.2	1.5	*3.0*
文理別	文系（n＝343）	42.9	30.6	28.3	25.9	24.5	25.1	24.2	16.6	15.2	13.7	12.5	12.5	10.2	10.2	1.7	*2.9*
	理系（n＝109）	45.9	24.8	30.3	22.0	24.8	22.0	16.5	18.3	14.7	13.8	17.4	6.4	13.8	11.9	0.9	*2.8*
内定獲得状況別	内定あり（n＝401）	44.1	29.4	28.2	24.2	24.9	24.2	20.7	18.5	15.0	15.0	14.5	12.2	11.0	10.7	1.7	*2.9*
	内定なし（n＝51）	39.2	27.5	33.3	31.4	21.6	25.5	35.3	5.9	15.7	3.9	7.8	2.0	11.8	9.8	0.0	*2.7*
最初の内定を獲得した月別	解禁日前（5月以前）（n＝211）	44.5	27.0	25.1	22.3	23.7	23.2	14.7	16.1	15.2	16.6	15.2	13.7	13.3	13.3	1.9	*2.9*
	解禁日後（6月以降）（n＝190）	43.7	32.1	31.6	26.3	26.3	25.3	27.4	21.1	14.7	13.2	13.7	10.5	8.4	7.9	1.6	*3.0*
就職活動を終了した月別	6月以前（n＝172）	43.0	24.4	29.7	20.9	22.1	25.0	11.0	18.0	12.2	17.4	16.9	9.3	11.0	8.7	3.5	*2.7*
	7月以降（n＝186）	47.3	34.4	26.9	26.9	29.6	24.2	29.0	18.8	19.4	12.9	13.4	14.5	9.7	11.8	0.0	*3.2*

34

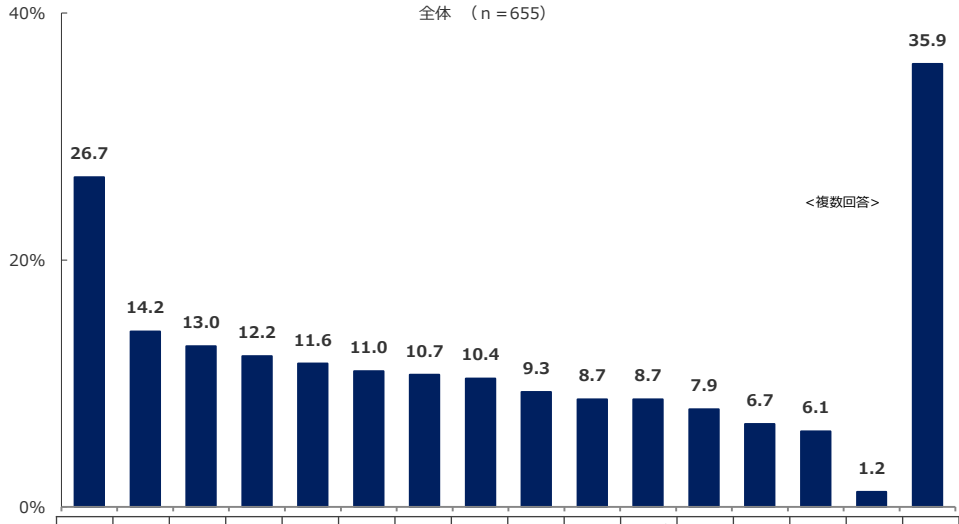
キャリアセンターに力を入れてほしいこと

学生に、キャリアセンターにもっと力を入れてほしいことを聞いた。「特になし」35.9%を除いて、1位は「相談のしやすい環境づくり」で、26.7%と突出していた。次いで、「企業選びに関する指導」14.2%、「求人票の獲得や積極的な紹介」13.0%、「エントリーシートや履歴書の添削」12.2%と続いている。

男女別に見ると、男性は「特になし」が42.0%と多い。女性の方が、キャリアセンターに対する要望はより多いようだ。

内定獲得状況別に見ると、「内定なし」の学生は「内定あり」の学生よりも、「特になし」の回答割合が高く、キャリアセンターへの要望が少ない。そのような中でも「相談のしやすい環境づくり」は、「内定あり」学生よりも回答割合が高く、期待している様子がうかがえる（図34）。

【図34】キャリアセンター等にもっと力を入れてほしいこと：属性別



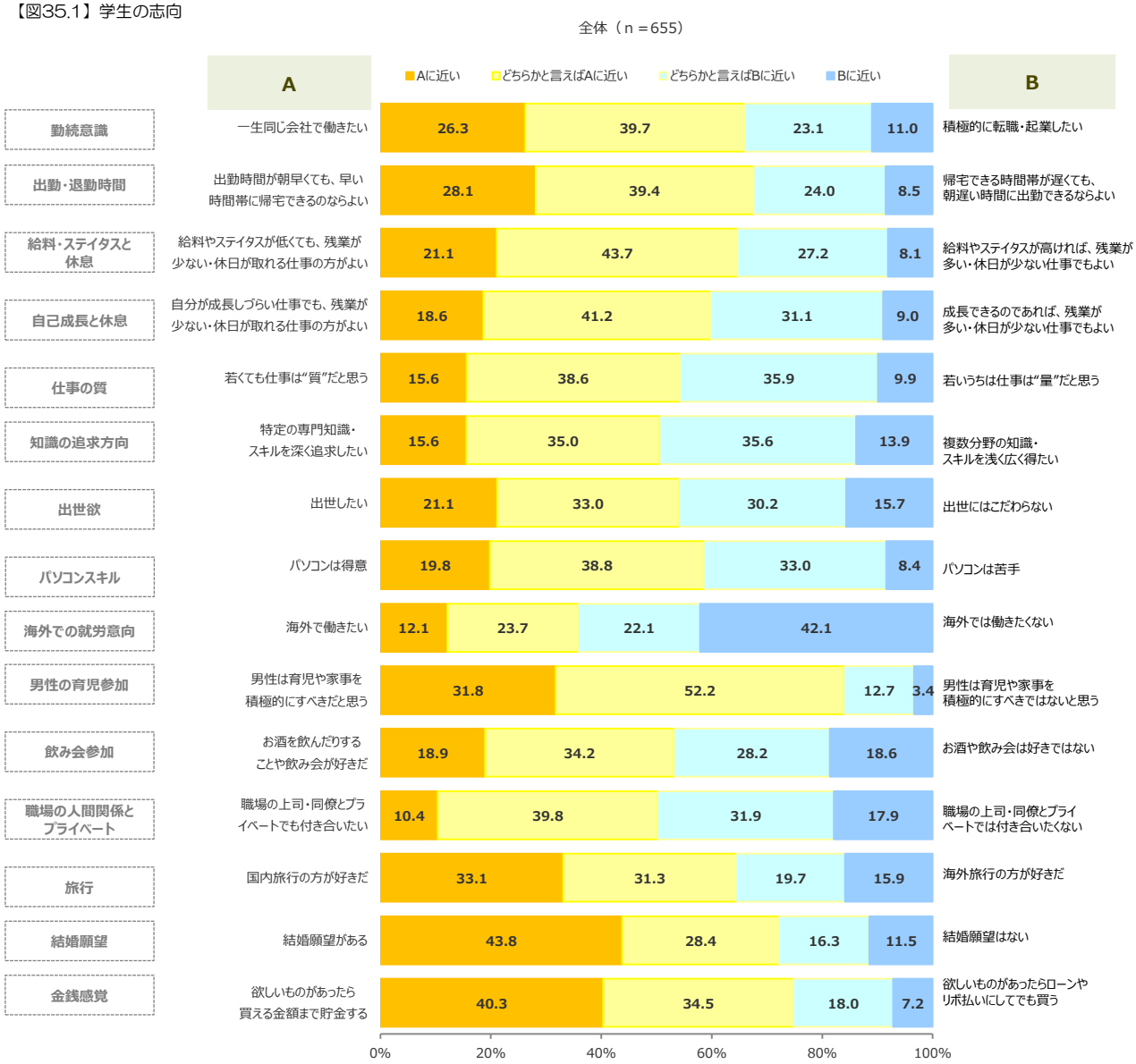
n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		相談のしやすい環境づくり (%)	企業選びに関する指導 (%)	求人票の獲得や積極的な紹介 (%)	エントリーシートや履歴書の添削 (%)	自己分析に関する指導 (%)	模擬面接等の選考の指導 (%)	OB・OG訪問先の積極的な紹介やアドバイス (%)	就職活動の全体の流れや進め方の指導 (%)	ビジネスマナーや立居振る舞いに関する指導 (%)	業界研究や企業研究に関する指導 (%)	グループワーク・ディスカッションの指導 (%)	インターンシップ企業の獲得 (%)	内定辞退やオワハラに関するアドバイス (%)	適性検査・筆記試験に関する指導 (%)	その他 (%)	特になし (%)	平均回答個数 (個)
2018年卒 10月1日調査 全体（n＝655）		**26.7**	**14.2**	**13.0**	**12.2**	**11.6**	**11.0**	**10.7**	**10.4**	**9.3**	**8.7**	**8.7**	**7.9**	**6.7**	**6.1**	**1.2**	**35.9**	***1.6***
【前年】2017年卒 10月1日調査 全体（n＝671）		26.2	10.3	12.7	12.7	12.1	12.8	11.8	11.3	—	8.5	8.6	9.7	7.3	7.3	2.1	38.3	*1.5*
男女別	男性（n＝288）	20.8	12.5	11.5	10.4	11.5	8.7	11.5	9.4	8.7	10.8	8.7	9.0	6.3	6.3	1.0	42.0	*1.5*
	女性（n＝367）	31.3	15.5	14.2	13.6	11.7	12.8	10.1	11.2	9.8	7.1	8.7	7.1	7.1	6.0	1.4	31.1	*1.7*
文理別	文系（n＝480）	29.4	15.6	14.4	12.3	11.7	11.9	11.3	10.2	10.8	8.8	7.7	8.3	7.1	6.5	1.7	33.1	*1.7*
	理系（n＝175）	19.4	10.3	9.1	12.0	11.4	8.6	9.1	10.9	5.1	8.6	11.4	6.9	5.7	5.1	0.0	43.4	*1.3*
内定獲得状況別	内定あり（n＝576）	25.9	14.8	12.3	13.0	12.0	11.5	11.6	10.4	9.2	8.5	9.0	8.9	7.1	5.7	1.2	35.1	*1.6*
	内定なし（n＝79）	32.9	10.1	17.7	6.3	8.9	7.6	3.8	10.1	10.1	10.1	6.3	1.3	3.8	8.9	1.3	41.8	*1.4*
入社予定企業の従業員規模別	299人以下（n＝172）	26.7	11.6	14.0	12.8	12.2	8.1	10.5	9.9	8.7	7.0	5.8	10.5	6.4	5.2	2.3	34.3	*1.5*
	300～999人（n＝122）	30.3	18.9	15.6	13.9	12.3	15.6	9.8	13.9	10.7	12.3	12.3	8.2	7.4	6.6	0.8	25.4	*1.9*
	1,000～2,999人（n＝103）	29.1	16.5	11.7	14.6	14.6	9.7	18.4	10.7	10.7	6.8	7.8	9.7	8.7	5.8	0.0	29.1	*1.8*
	3,000人以上（n＝135）	20.0	12.6	9.6	14.1	8.1	16.3	10.4	9.6	8.1	8.9	10.4	7.4	8.1	5.9	1.5	43.7	*1.5*

学生の志向

学生に、自身の考え方についてＡとＢの近いものを回答してもらった。
「勤続意識」は、「一生同じ会社で働きたい」の方が多数派となっており、6割を超えている。
「出勤・退勤時間」は、「出勤時間が朝早くても、早い時間帯に帰宅できるのならよい」と考えている学生の方が多い。
「給料・ステイタスと休息」は、「給料やステイタスが低くても、残業が少ない・休日が取れる仕事の方がよい」が約7割に上った。
「自己成長と休息」は、「自分が成長しづらい仕事でも、残業が少ない・休日が取れる仕事の方がよい」の方が回答割合が高い。給料やステイタス、自己成長と引き換えでも、残業の少なさや休日を大事にしたい意向があるようだ。
「海外での就労意向」「旅行」を見ると、「海外で働きたい」と「海外旅行の方が好きだ」はともに4割に満たず、学生は国内に目を向けている傾向が強い。
仕事や働き方に関しては“働きやすさ”を意識している学生らしく（P27　参照）、時間的・精神的に厳しさのない社会人生活を望んでいる傾向が見受けられる（図35.1）。
男女別に見ると、女性は男性よりも仕事での拘束（図35.3～図35.5）や変化（図35.1、図35.8）を求めていない印象を受ける。

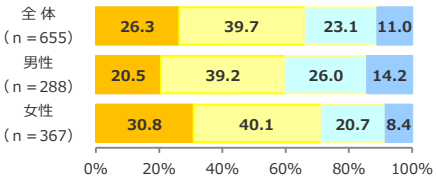
【図35.1】学生の志向



Aに近い　どちらかと言えばAに近い　どちらかと言えばBに近い　Bに近い

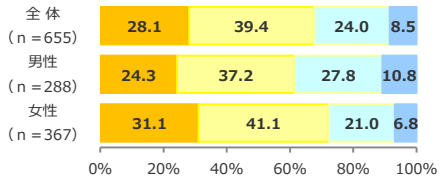
【図35.2】学生の志向／勤続意識

A：一生同じ会社で働きたい
B：積極的に転職・起業したい



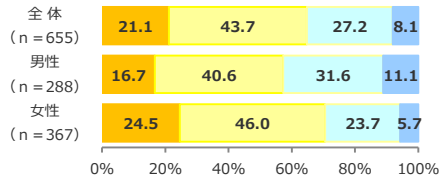
【図35.3】学生の志向／出勤・退勤時間

A：出勤時間が朝早くても、
早い時間帯に帰宅できるのならよい
B：帰宅できる時間帯が遅くても、
朝遅い時間に出勤できるならよい



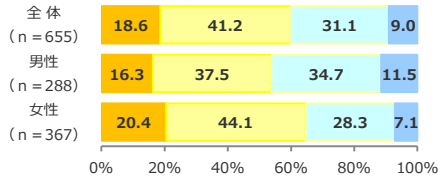
【図35.4】学生の志向／給料・ステイタスと休息

A：給料やステイタスが低くても、
残業が少ない・休日が取れる仕事の方がよい
B：給料やステイタスが高ければ、
残業が多い・休日が少ない仕事でもよい



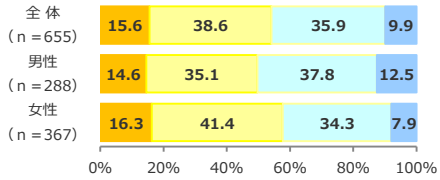
【図35.5】学生の志向／自己成長と休息

A：自分が成長しづらい仕事でも、
残業が少ない・休日が取れる仕事の方がよい
B：成長できるのであれば、
残業が多い・休日が少ない仕事でもよい



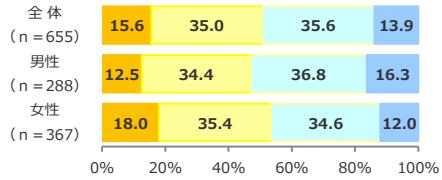
【図35.6】学生の志向／仕事の質

A：若くても仕事は“質”だと思う
B：若いうちは仕事は“量”だと思う



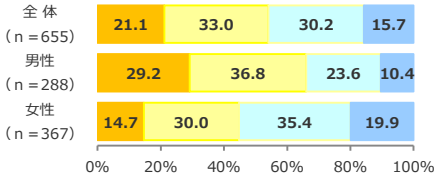
【図35.7】学生の志向／知識の追求方向

A：特定の専門知識・スキルを深く追求したい
B：複数分野の知識・スキルを浅く広く得たい



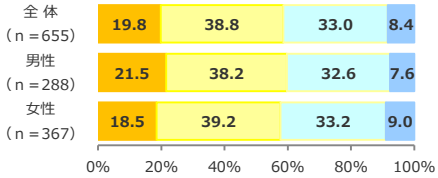
【図35.8】学生の志向／出世欲

A：出世したい
B：出世にはこだわらない



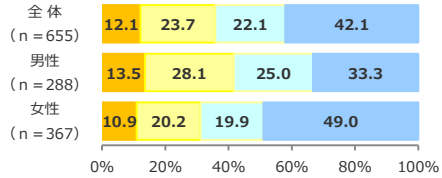
【図35.9】学生の志向／パソコンスキル

A：パソコンは得意
B：パソコンは苦手



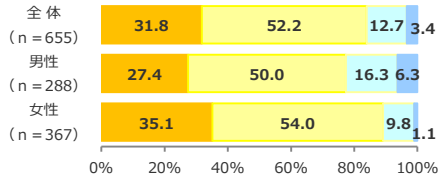
【図35.10】学生の志向／海外での就労意向

A：海外で働きたい
B：海外では働きたくない



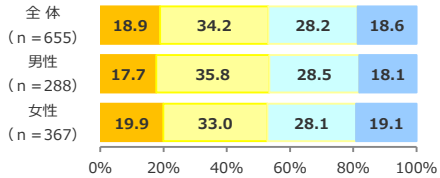
【図35.11】学生の志向／男性の育児参加

A：男性は育児や家事を積極的にすべきだと思う
B：男性は育児や家事を積極的にすべきではないと思う



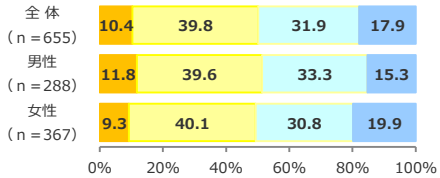
【図35.12】学生の志向／飲み会参加

A：お酒を飲んだりすることや飲み会が好きだ
B：お酒や飲み会は好きではない



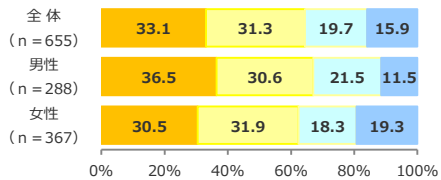
【図35.13】学生の志向／職場の人間関係とプライベート

A：職場の上司・同僚とプライベートでも付き合いたい
B：職場の上司・同僚とプライベートでは付き合いたくない



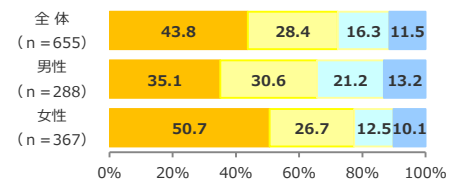
【図35.14】学生の志向／旅行

A：国内旅行の方が好きだ
B：海外旅行の方が好きだ



【図35.15】学生の志向／結婚願望

A：結婚願望がある
B：結婚願望はない



【図35.16】学生の志向／金銭感覚

A：欲しいものがあったら買える金額まで貯金する
B：欲しいものがあったらローンやリボ払いにしてでも買う